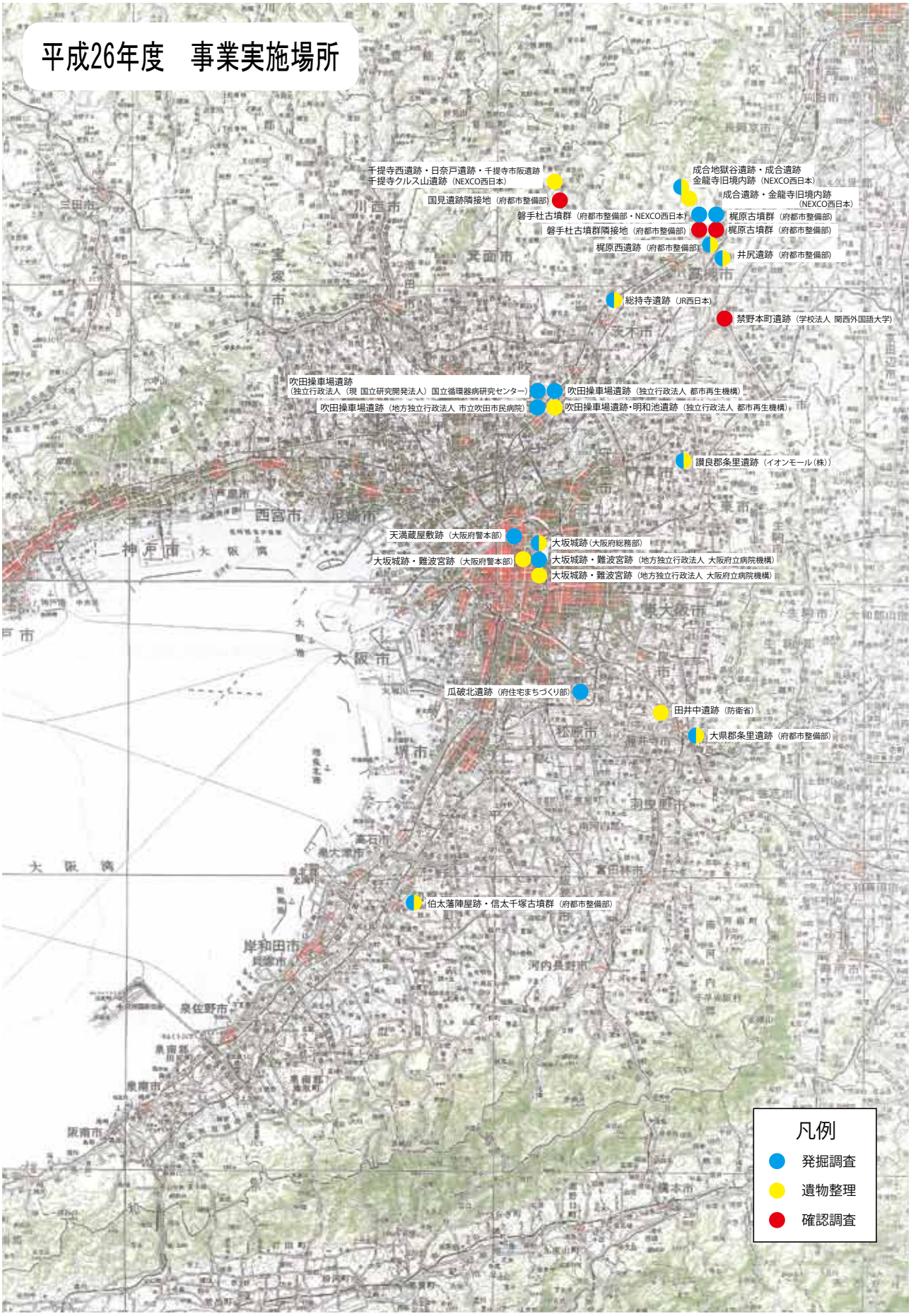
年　　報

平成26年度

公益財団法人　大阪府文化財センター

吹田操車場遺跡14-3　掘立柱建物群

梶原西遺跡13-1・14-1　方形周溝墓



平成26年度調査事業実施位置図

（地図は国土地理院平成11年８月１日発行１/20万　京都および大阪、和歌山を縮小した）

目　　次

巻頭カラー
平成26年度調査事業実施位置図

Ⅰ　公益財団法人大阪府文化財センター沿革と機構　1
1　沿　革　1
2　概　要　3
（1）目的　3
（2）事業　3
（3）出資者　3
（4）基本財産　3
（5）機構《施設所在地》　3
（6）役員・評議員及び職員　4

Ⅱ　平成26年度の理事会・評議員会の開催及び決算　7
1　理事会及び評議員会　7
2　役員・評議員の異動状況　8
3　決算　9

Ⅲ　埋蔵文化財調査事業　10
1　調査事業一覧　10
2　主な調査の概要　14
（1）中部調査事務所　14
（2）南部調査事務所　19
3　他府県調査技術支援　20

Ⅳ　文化財資料活用事業　21
1　文化財講演会事業　21
2　現地説明会等　22
3　文化財体験学習事業　23
4　文化財展示事業　24
5　文化財広報事業　25
6　文化財研究事業　25
7　文化財資料収集整理事業　25
（1）文献及び文化財情報の収集・整理　25
（2）発掘調査資料の管理　25
8　文化財資料提供事業　26
（1）発掘資料の出品、写真・映画等の貸出　26
（2）出版物の寄贈・交換　31
（3）図書の出版・販売　32
9　保存処理事業　33

Ⅴ　大阪府立弥生文化博物館事業　34
1　常設展示　34
（1）第１展示室　34
（2）第２展示室　34
（3）リニューアル　34
2　特展企画展事業　34
（1）春季企画展「縄文！岩手10000年の旅」　34
（2）夏季特別展「遥かなるメソポタミア−時空を超えた人の営み−」　35
（3）秋季特別展摂河泉シリーズ２「河内地寶」　35
（4）冬季企画展「河内の美・技・心−考古学研究と舟橋遺跡−」　35
（5）その他展示事業　36
3　講演会事業等　36
（1）春季企画展「縄文！岩手10000年の旅」関連　36
（2）夏季特別展「遥かなるメソポタミア」関連　36
（3）秋季特別展「河内地寶」関連　37
（4）冬期企画展「河内の美・技・心−考古学研究と舟橋遺跡」関連　38
（5）スポット展示　38
（6）弥生プラザ講演会＆シンポジウム　38
（7）弥生時代講座　聞いてなっとく弥生の世界（近畿弥生の会との共催）　39
（8）弥生博　木曜大学　39
（9）若き考古学徒、論壇デビュー！　39
（10）「めおと de 考古学」　2014　40
（11）常設展示室リニューアル関連　40
（12）弥生フェスティバル連続講演会「いま甦る卑弥呼の衣・食・飾」　40
（13）その他　41
4　「府民が参加する博物館」事業　41
（1）やよいミュージアムコンサート　41
（2）ミニギャラリー　43
（3）第19回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」　43
（4）ボランティア活動　43
5　「博物館 in school」事業－博学連携事業　45
（1）小学校の団体見学受け入れ　45
（2）大学・高等学校・中学校等の見学受け入れ　46
（3）小中学生団体の利用促進のため小学校教諭を対象に下見説明会を実施した　46
（4）体験ゾーンの活用　46
（5）出前授業　46
（6）博学連携　47
6　「どこでも博物館」事業　48
（1）出張展示　48
（2）出張体験学習　48
（3）講演・講座　49
7　「体験する博物館」事業　51
（1）体験学習・ツアー　51
（2）こどもファーストデイ企画「みんないっしょに考古楽！2014」　54
8　広報普及事業　55
（1）弥生フェスティバル開催　55
（2）要覧の作成　55
（3）特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布　55
（4）常設展リーフレット作成　55
（5）小学生用見学のしおり・ワークシート　55
（6）解説シート　55
（7）問合せ対応　55
（8）マスコミ・ミニコミへの資料提供　55
（9）インターネットホームページ　56
9　資料貸出　56
10　研究事業　56
11　資料製作事業　56
12　文化庁　地域と協働した美術館・歴史博物館活動支援事業　56
13　サービス事業　56
（1）アンケート調査の実施　56
（2）音声ガイド　56
（3）館内紹介ビデオ・ＤＶＤ　56
（4）設備　56
14　自主事業　57
15　入館者数および入館料一覧表　57

Ⅵ　大阪府立近つ飛鳥博物館事業　59
1　常設展示　59

2　特展企画展事業 59
（1）春季特別展「ヤマト王権と葛城氏－考古学からみた古代氏族の盛衰－」 59
（2）夏季企画展「大阪平野はむかし海だった－海に生きたおおさかの古代人－」 60
（3）秋季特別展「箸墓以降－邪馬台国連合から初期ヤマト政権へ－」 61
（4）　冬季特別展「歴史発掘　おおさか 2014 －大阪府発掘調査最新情報－」 62
3　「市町村と連携する博物館」事業 63
（1）連携展示事業 63
（2）スポット展示 63
（3）広報の強化 64
4　「府民が参加する博物館」事業 64
（1）　近つ飛鳥常設展示解説（入門講座）・土曜講座（オーサカ発　調査研究最前線） 64
（2）　風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」 65
（3）古墳の森コンサート 65
（4）博物館バックヤード探検ツアー 65
（5）こども近つ飛鳥風土記の丘古墳探検ツアー 65
（6）近つ飛鳥ギャラリー 65
（7）ボランティアの活用・募集、観光ボランティアへの支援 66
（8）その他の事業 66
5　「博物館 in school」事業－博学連携事業 67
（1）出前授業 67
（2）学校団体利用案内の作成 67
（3）学習用ワークシートの作成 67
（4）大学生博物館学実習および芸術大学実習・高校生学習 67
（5）大学生・高校生・中学生の職場体験学習 68
（6）教員の研修、研究団体の受け入れ 68
（7）一日館長の選定 68
（8）地元大学との連携 68
（9）2014 夏休み児童はにわ展 69
6　「どこでも博物館」事業 69
（1）れきしウォーク 69
（2）出張講座 69
（3）出張展示 71
（4）地元市町村との連携 71
（5）ホームページの充実 71
7　「体験する博物館」事業 71
（1）校外学習受入れ・体験学習 71
（2）海の日工作室　ハンセン「かわち丸」をつくろう！ 72
（3）夏休み子ども工作室 72
（4）こども勾玉つくり工房 72
（5）古代衣装着用体験 73
（6）こどもファーストデイ 73
8　企業との連携事業 73
（1）展示・広報・イベント等での協働 73
（2）遺跡見学ツアー 73
9　広報普及研究事業 74
（1）機関紙「アスカディア・古墳の森」（博物館だより）の発行 74
（2）近つ飛鳥博物館「館報」の刊行 74
（3）催し物案内の作成 74
（4）マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等 74
（5）広報の強化 74
（6）出版事業 74
10　研究事業 75
（1）他博物館などと連携した研究活動 75
（2）国内・海外の研究者との学術交流 75
（3）研究成果の発表 75
（4）客員学芸員の任命 75
11　資料調査収集製作事業 75
（1）図書購入 75
（2）館蔵資料の資料管理、学術的整理 75
12　サービス事業 75
（1）特別開館日の設定 75
（2）マーケットリサーチ、満足度調査の実施 75
（3）ミュージアムスタッフの人材育成研修 75
（4）設備の更新 75
13　自主事業 76
14　入館者数及び入館料一覧表 76
Ⅶ　日本民家集落博物館事業 78
1　展示事業 78
（1）常設展示 78
（2）市民展示 78
（3）企画展「越中五箇山茅葺きの技写真展」 78
2　各種催し開催事業 79
（1）季節行事 79
（2）参加体験型事業 80
（3）展示民家を活用しての催し 81
（4）特別企画事業 82
3　普及啓発事業 82
（1）民家解説等の開催 82
（2）囲炉裏体験 82
（3）連続講座 83
（4）企画展関連講座 83
（5）民俗芸能公演　「奄美の島唄と踊り」 83
（6）グリーンロハスフェスタ 83
（7）北大阪ミュージアムメッセ 83
（8）ジュニア自然大学「こどもゆめくらぶ」 84
（9）ONCC　公開文化講座「日本文化の再発見」 84
4　学校教育連携事業 84
（1）大学博物館実習 84
（2）中学生の職場体験学習 84
（3）こども囲碁クラブ 84
（4）むかしのくらし体験学習 84
（5）豊中マチカネ先生塾 85
5　ボランティア受入活動事業 85
6　施設整備事業 85
（1）国指定重要有形民俗文化財白川の合掌造り保存修理工事 85
（2）民家周辺排水溝等の整備 85
（3）危険木の伐採 85
7　広報事業 85
（1）広報リーフレットの作成 85
（2）外国人向けＤＶＤ及びパンフレットの作成 86
（3）インターネットによる広報 86
（4）ＤＶＤ・ビデオによる広報 86
（5）諸団体との連携 86
（6）資料の作成・頒布 86
8　資料収集・研究事業 86
9　入館者数及び入館料収入一覧表 87
事業所一覧

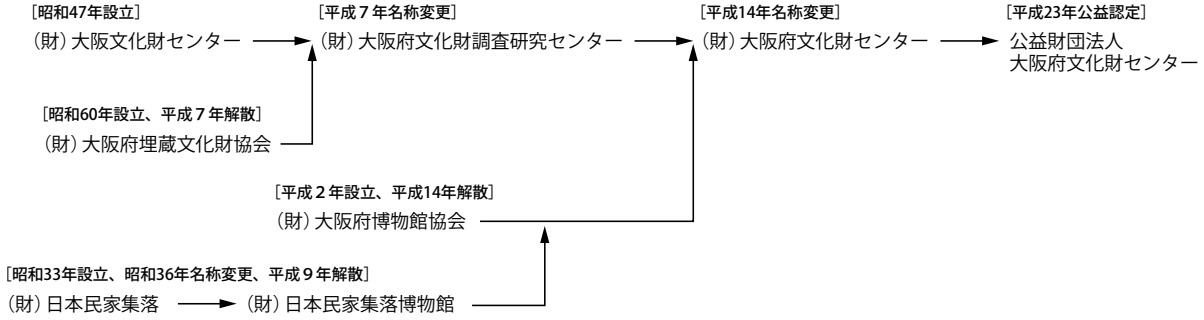
Ⅰ　公益財団法人大阪府文化財センター沿革と機構

1　沿　革

1970年代、高度経済成長によって急速に開発行為が増大、これに伴い自然環境や歴史的景観が大きく変貌することとなった。このようななか、大規模開発に伴う発掘調査に対応し、文化財を後世に伝えることを目的として、当財団は昭和47年11月、財団法人大阪文化財センターとしてその産声をあげた。

爾来、大阪府の埋蔵文化財行政の一翼を担い、埋蔵文化財の発掘調査のみならず様々な事業を展開し、現在までに40年の道のりを歩んできた。その間、平成７年には関西国際空港建設事業に関連して設立された財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、財団法人大阪府文化財調査研究センターに名称変更、さらには平成14年には財団法人大阪府博物館協会と統合し、新たに財団法人大阪府文化財センターとなった。

そして、平成23年４月、当財団は文化財の調査・研究・保存・公開展示及び普及啓発をより一層推進するために公益認定を受け、公益財団法人大阪府文化財センターとして新たなスタートを切った。



昭和 47．11．28	・	大阪府教育委員会の認可を受け、財団法人大阪文化財センター設立。
48．1．10	・	事務所を大阪市東区大手前之町 5-1 番地大阪府庁分館１号館内に設置。職員３名により事務、普及啓発、遺物整理、分布試掘調査を分担。 第二阪和国道発掘調査に伴う遺物整理事業に着手。
48．4．1	・	事務局を設置（職員数12名）。
48．5．25	・	第１回理事会において評議員を選出、評議員会を設置。
48．9．1	・	事務所を大阪府庁分館３号館内に移転。
51．7．26	・	近畿自動車道天理～吹田線内に所在する遺跡の発掘調査に着手。
51．9．7	・	事務所を大阪市城東区蒲生２丁目10番28号大阪府城東庁舎内に移転。
55．8．19	・	全国埋蔵文化財法人連絡協議会の設立に参画、副会長となる。
57．11．27	・	財団法人大阪文化財センター設立10周年記念式典を開催。
58．9．1	・	近畿自動車道天理～吹田線の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
59．6．1	・	都市計画道路と近畿自動車道和歌山線の併設区間の発掘調査に着手。
60．4．1	・	財団法人大阪府埋蔵文化財協会設立。
61．2．28 ～　3．4	・	近畿自動車道天理～吹田線発掘調査終了記念事業（写真パネル展、講演会、映画会）を開催。
平成 元．4．1	・	都市計画道路松原泉大津線と近畿自動車道和歌山線の併設区間の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
	・	大阪府恩智川治水緑地建設予定地内遺跡の発掘調査に着手。

	２．４．１	・大阪府新庁舎建設整備事業地内の大坂城跡発掘調査に着手。
	２．９．１	・財団法人大阪府博物館協会設立。
	３．３．１	・大阪府より委託を受け、安威川総合開発事業に伴う文化財総合調査に着手。
	４．11．27	・財団法人大阪文化財センター設立20周年記念式典を開催。
平成	７．４．１	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、財団法人大阪府文化財調査研究センターと名称変更。
		・本部事務所を大阪市城東区蒲生２丁目11番３号小森ビル内に設置。新たに北部調査事務所を茨木市横江１丁目17番34号に開設。旧財団法人大阪文化財センター長田分室を中部調査事務所とし、旧財団法人大阪府埋蔵文化財協会泉大津調査事務所を南部調査事務所とする。
		・組織の改正により、総務部、調査部の２部制とし、総務部に総務課、普及資料課を置き、調査部に調整課及び北部、中部、南部の３調査事務所を置く。
	７．10．３	・史跡整備事業に初めて着手（池上曽根遺跡）。
	７．12．15	・南部調査事務所を堺市熊野町西１丁２番22号に移転。
	８．６．６	・全国埋蔵文化財法人連絡協議会の会長に選任される。
	８．９．30	・北部調査事務所を箕面市今宮３丁目19番２号に移転。
	９．２．12	・泉佐野収蔵庫竣工。
	９．３．31	・泉ヶ丘資料室（堺市竹城台３丁21番４号）竣工。
	10．１．12	・南阪奈道路関連の調査事業に着手するため、南部調査事務所古市分室を羽曳野市 軽里３丁目１番13号に開設。
	10．３．31	・南部調査事務所泉北分室を閉鎖。
	12．８．21	・本部事務所を 堺市竹城台３丁21番４号に移転する。
	13．２．１	・南部調査事務所を 堺市南田出井町１丁１番10号に移転する。
	13．10．31	・泉佐野収蔵庫を泉佐野市に移管する。
	14．４．１	・財団法人大阪府博物館協会と統合し、財団法人大阪府文化財センターに名称変更。
		・組織の改正により、総務部、調査部、普及部の３部及び弥生文化博物館部、近つ飛鳥博物館部、日本民家集落博物館部の３博物館部を置く。
		・日本民家集落博物館の管理運営、並びに大阪府立弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館の管理運営の受託事業を財団法人大阪府博物館協会より引継ぎ、実施。
	14．11．１	・泉佐野収蔵庫（市に移管した収蔵庫の北西隣接地に）竣工。
	15．３．31	・北部調査事務所を閉鎖。
	15．４．１	・第二京阪道路建設の調査事業の増加に伴い、京阪支所を寝屋川市堀溝１丁目１番15号に開設、京阪支所交野分室を交野市藤が丘１丁目２に開設。
	16．４．１	・京阪支所を京阪調査事務所に、中部調査事務所池島分室を池島支所に名称変更。
	18．１．31	・泉佐野第二収蔵庫を泉佐野市高松西２丁目に竣工。
	18．４．１	・大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館及び近つ飛鳥風土記の丘の管理運営を指定管理者として受託。
	19．４．１	・京阪調査事務所交野分室を京阪調査事務所に、京阪調査事務所整理棟を寝屋川分室に名称変更。京阪調査事務所門真分室を門真市岸和田２丁目５番32号に開設。
	20．４．１	・組織の改正により、総務部を総務企画部に改め、普及部を廃止し、調査部に資料活用課を置く。
	20．７．31	・京阪調査事務所門真分室を閉鎖。
	21．３．31	・京阪調査事務所寝屋川分室を閉鎖。
	21．４．１	・組織の改正により、調査事務所及び係制を廃止。総務企画課に総務企画グループを置く。調整課を廃止して調査課を置き、調査課に調整グループ及び調査グループを置く（各調査事務所、分室、支所は施設名とする）。本部事務所に南部調査事務所を併設。
	21．５．31	・古市分室を閉鎖。
	23．３．31	・京阪調査事務所を閉鎖。
	23．４．１	・大阪府より公益認定を受け、「公益財団法人　大阪府文化財センター」に名称変更。
	25．３．29	・池島支所を閉鎖。
	25．４．１	・組織の改正により、総務企画部、調査部を廃止し、総務企画課、調整課、調査課の３課制とする。

2　概　要

（1）目　　的

大阪府下における文化財の調査、整理、保存、研究、整備及び活用をおこない、大阪府の文化財の保護並びに文化財に対する理解と認識を深めることに寄与する。

（2）事　　業

設立趣旨に基づき次の事業をおこなう

① 埋蔵文化財の調査、整理、保存、研究及び活用
② 史跡、名勝及び天然記念物の調査、保存、研究、整備及び活用
③ 有形・無形・民俗文化財の調査、保存、研究、整備及び活用
④ 文化財に関する資料、情報の収集及び管理
⑤ 文化財の普及啓発
⑥ 日本民家集落博物館の管理及び運営
⑦ 大阪府が設置する博物館の管理及び運営の受託
⑧ 大阪府立近つ飛鳥風土記の丘の管理及び運営の受託
⑨ その他目的を達成するために必要な事業

（3）出 資 者

財団法人大阪府博物館協会、大阪府、パナソニック株式会社、住吉大社、四天王寺、財団法人藤田美術館

（4）基本財産

116,700千円

（5）機　　構《施設所在地》

本部事務所	堺市南区竹城台３丁21番４号
中部調査事務所・資料室	東大阪市長田東１丁目９番16号
南部調査事務所	堺市南区竹城台３丁21番４号
高石収蔵庫	高石市綾園４丁目地先
岸和田収蔵庫	岸和田市磯上町１丁目地先
泉佐野収蔵庫	泉佐野市上之郷（地内）
泉佐野第二収蔵庫	泉佐野市高松西２丁目2430－１
大阪府立弥生文化博物館	和泉市池上町４丁目８番27号
大阪府立近つ飛鳥博物館	南河内郡河南町大字東山299番地
日本民家集落博物館	豊中市服部緑地１番２号

（6）役員・評議員及び職員

a　役員

（平成27年３月31日　現在）

役　　職	氏　　名	現　　職
理 事 長	田邉 征夫	公益財団法人　大阪府文化財センター　理事長
専務理事	秋山 芳廣	公益財団法人　大阪府文化財センター　事務局長
理　　事	荒井 大作	大阪府教育委員会事務局　文化財保護課長
	井藤 徹	日本民家集落博物館　館長
	今井 渉	公益財団法人　サントリー文化財団　専務理事
	興津 厚志	大阪商工会議所人材開発部　次長 大阪企業家ミュージアム事務局長
	河村 直樹	堺市文化観光局　文化部長
	黒崎 直	大阪府立弥生文化博物館　館長
	駒田 朝則	歴史街道推進協議会　メインルート推進部部長
	坂井 秀弥	奈良大学　教授
	白石 太一郎	大阪府立近つ飛鳥博物館　館長
	福永 伸哉	大阪大学　教授
監　　事	鳴澤 成泰	行政書士
	真川 正満	公認会計士・税理士
顧　　問	坪井 清足	公益財団法人元興寺文化財研究所　副理事長兼所長

b　評 議 員

（平成27年３月31日　現在）

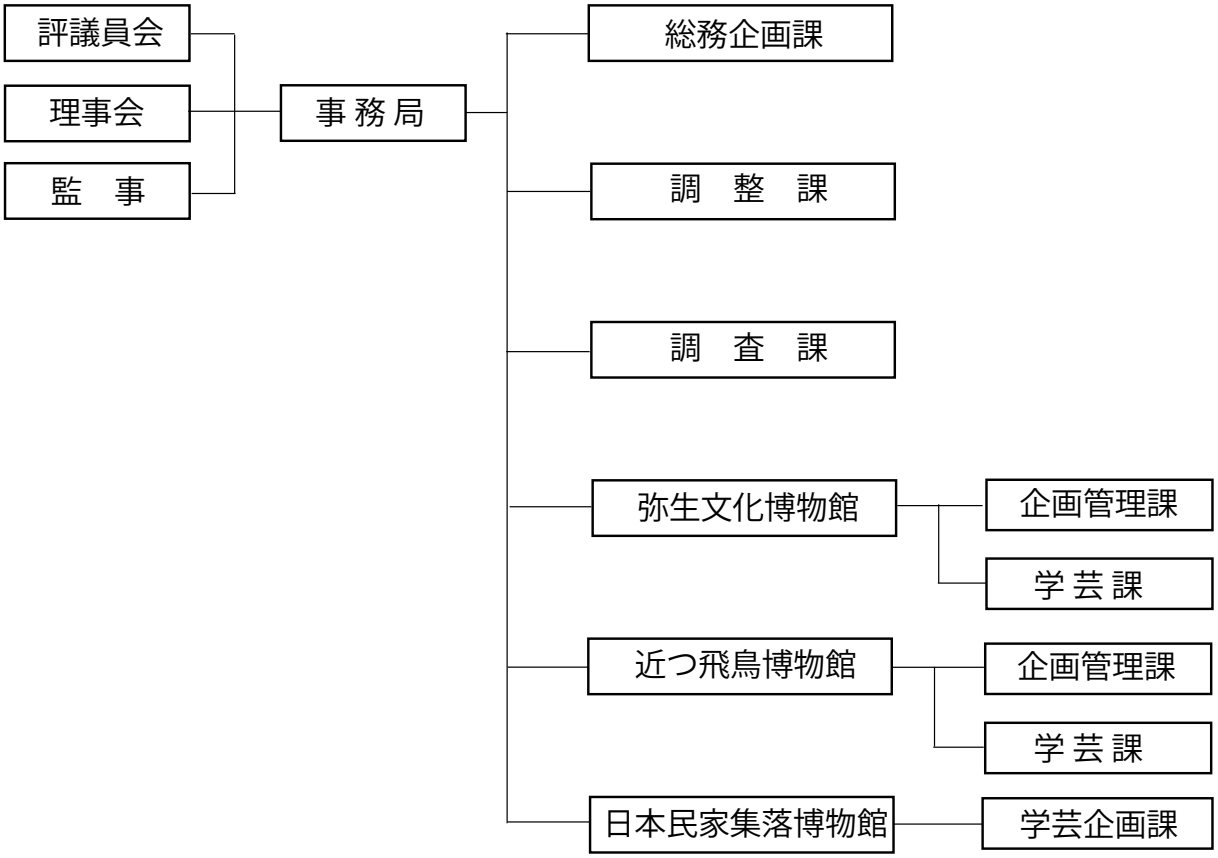
氏　　名	現　　職
池田 良治	池田良治法律事務所　弁護士
首藤 修一	大阪府都市教育長協議会　代表（守口市教育委員会　教育長）
須藤 健一	国立民族学博物館　館長
髙井 道弘	住吉大社　宮司
西野 裕久	有限責任あずさ監査法人　パートナー・ 公認会計士　監査第二事業部第一グループ長
西牧 研壯	大阪府町村教育長会　会長（熊取町教育委員会　教育長）
松村 恵司	奈良文化財研究所　所長
南谷 恵敬	和宗総本山　四天王寺　執事　法務部長兼勧学部長

c　職　　員

（平成27年３月31日　現在）

職　　名	氏　　名	職　　名	氏　　名
専務理事兼事務局長	秋山 芳廣	副主査	鹿野 塁
事務局次長兼総務企画課長	江浦 洋	技　師	新海 正博
課長補佐	市本 芳三	調査第二課長補佐	金光 正裕
主　査	宮本 哲男	主　査	合田 幸美
副主査	栗山 さよ子	副主査	三宮 昌弘
副主査	島谷 美穂	副主査	川瀬 貴子
主　事	新田 康博	副主査	後川 恵太郎
嘱　託	酒井 則和	技　師	笹栗 拓
調整課長	岡本 茂史	専門員	片山 彰一
副主査	田渕 紀江	専門員	山口 誠治
副主査	竹内 秀喜	専門員	小野 久隆
副主査	永野 仁	専門員	森屋 美佐子
調査課長	岡戸 哲紀	弥生文化博物館副館長兼学芸課長	秋山 浩三
調査第一課長補佐	三好 孝一	企画管理課長	中川 隆雄
主　査（和歌山市出向）	西村 歩	広報企画主任	宮城 芳典
主　査（鳥取県出向）	駒井 正明	総括学芸員	中尾 智行
副主査（鳥取県出向）	本間 元樹	総括学芸員	塚本 浩司
副主査（岩手県出向）	伊藤 武	教育専門員	山本 清
副主査（鳥取県出向）	正岡 大実	学芸員	柴田 妃三光
技　師（岩手県出向）	河本 純一	学芸員	北原 翔子
技　師（和歌山市出向）	福佐 美智子	学芸員	瀬尾 晶太
主　査	中村 淳磯	近つ飛鳥博物館副館長兼学芸課長	森本 徹
主　査	後藤 信義	企画管理課長	川中 秀樹
主　査	井上 智博	広報企画主任	神野 由希絵
主　査	佐伯 博光	総括学芸員	小島 久美
主　査	亀井 聡	総括学芸員	廣瀬 時習
副主査	岡本 圭司	総括学芸員	市村 慎太郎
副主査	若林 幸子	教育専門員	加藤 三郎
副主査	奥村 茂輝	学芸員	飯田 浩光
副主査	信田 真美世	学芸員	鈴 千夏
副主査	島崎 久恵	学芸員	永山 はるか
副主査	黒須 亜希子	日本民家集落博物館学芸企画課長	山城 統

d　機　　構


評議員会
理事会
監　事
事 務 局
総務企画課
調　整　課
調　査　課
弥生文化博物館
企画管理課
学 芸 課
近つ飛鳥博物館
企画管理課
学 芸 課
日本民家集落博物館
学芸企画課

Ⅱ　平成26年度の理事会・評議員会の開催及び決算

1　理事会及び評議員会

平成26年度中、下表のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認または可決された。

年　月　日	会議名称	場　　所	議　　案
平成26年６月６日	第１回 理事会	公益財団法人大阪府文化財センター １階講義室	１．平成25年度事業報告及び収支決算について ２．定時評議員会の招集事項について
平成26年６月20日	定時 評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター １階講義室	１．平成25年度事業報告及び収支決算について ２．理事の選任について
平成26年６月20日	第２回 理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター １階講義室	１．理事長（代表理事）の選定について ２．平成26年度 補正予算書（案）について
平成26年10月22日	第３回 理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター １階講義室	１．平成26年度　事業の進捗について ２．平成26年度 補正予算書（案）について ３．今後の経営戦略について ４．臨時評議員会の招集事項について
平成26年12月３日	臨時 評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター １階講義室	１．平成26年度　事業の進捗について ２．今後の経営戦略について
平成27年３月25日	第４回 理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター １階講義室	１．平成26年度　第三次補正予算書(案)について ２．平成27年度 事業計画書（案）及び 収支予算書（案）について ３．定款の変更について

2　役員・評議員の異動状況

年　月　日	就　任		辞　任	
平成26年６月20日			理事	岡﨑 尚喜
平成26年６月20日	理事	田邉 征夫		
平成26年６月20日	理事	荒井 大作		
平成26年６月20日	理事	井藤 徹		
平成26年６月20日	理事	今井 渉		
平成26年６月20日	理事	黒崎 直		
平成26年６月20日	理事	河村 直樹		
平成26年６月20日	理事	駒田 朝則		
平成27年１月27日			評議員	水野 正好
平成27年３月31日			理事	荒井 大作

3　決　　算

資金収支計算書　　総　括　表

（平成26年４月１日から平成27年３月31日まで）

（単位：円）

科　　目	公益目的事業会　計	法人会計	内部取引消去	合　　計
Ⅰ事業活動収支の部				
1．事業活動収入				
①基本財産運用収入	1,929,818	0	0	1,929,818
②特定資産運用収入	19,550,789	0	0	19,550,789
③会費収入	2,075,000	0	0	2,075,000
④事業収入	1,120,786,790	22,614,180		1,143,400,970
⑤補助金等収入	27,895,000	0	0	27,895,000
⑥寄附金収入	473,950	0	0	473,950
⑦雑収入	7,292,862	0	0	7,292,862
⑧他会計からの繰越金収入	0	3,634,407	△3,634,407	0
事業活動収入計	1,180,004,209	26,248,587	△3,634,407	1,202,618,389
2．事業活動支出				
①事業費支出	1,212,258,921	0	0	1,212,258,921
②管理費支出	0	26,248,587	0	26,248,587
③他会計への繰入金支出	3,634,407	0	△3,634,407	0
事業活動支出計	1,215,893,328	26,248,587	△3,634,407	1,238,507,508
事業活動収支差額	△35,889,119	0	0	△35,889,119
Ⅱ投資活動収支の部				
1．投資活動収入				
①特定資産取崩収入	104,678,800	0	0	104,678,800
②敷金・保証金戻り収入	136,000	0	0	136,000
投資活動収入計	104,814,800	0	0	104,814,800
2．投資活動支出				
①特定資産取得支出	114,091,871	0	0	114,091,871
②固定資産取得支出	4,496,670	0	0	4,496,670
投資活動支出計	118,588,541	0	0	118,588,541
投資活動収支差額	△13,773,741	0	0	△13,773,741
Ⅲ財務活動収支の部				
1．財務活動収入	0	0	0	0
2．財務活動支出	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
Ⅳ予備費支出				
当期収支差額	△49,662,860	0	0	△49,662,860
前期繰越収支差額	67,510,750	0	0	67,510,750
次期繰越収支差額	17,847,890	0	0	17,847,890

Ⅲ　埋蔵文化財調査事業

1　調査事業一覧

埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理を、事業施行者の委託を受けて、下記のとおり実施した。

管轄	NO.	遺跡名 ［内容］	調査地	受託事業名	調査名	委託名・報告書名 ○：工　　事 □：航空測量 ●：報 告 書	事業者	事業の種別
中部調査事務所	1	成合遺跡 金龍寺旧境内跡 ［整理］	高槻市 成合地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査遺物整理（高槻市域）	成合遺跡 11-1 金龍寺旧境内跡 11-2・12-2	●成合遺跡・ 金龍寺旧境内跡２	西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	2	成合地獄谷遺跡 成合遺跡 金龍寺旧境内跡 ［調査・整理］	高槻市 成合地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査（高槻市域）その５	成合地獄谷遺跡 13-1 成合遺跡 13-1 金龍寺旧境内跡 13-1	○事業者発注 □成合地獄谷遺跡（その２）発掘調査に伴う航空測量		
	3	成合地獄谷遺跡 成合遺跡 金龍寺旧境内跡 ［整理］	高槻市 成合地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査遺物整理（高槻市域）その２		—		
	4	磐手杜古墳群 ［調査］	高槻市下地内	近畿自動車道名古屋神戸線新設事業（補助車線事業）と主要地方道伏見柳谷高槻線バイパス（仮称高槻東道路）事業との同時施行に伴う埋蔵文化財調査（その２）	磐手杜古墳群 13-2	○事業者発注 □磐手杜古墳群（その２）発掘調査に伴う航空測量	大阪府都市整備部茨木土木事務所 西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	5	井尻遺跡 ［調査］	高槻市井尻１丁目地内	一般国道170号（十三高槻線）道路築造事業に伴う井尻遺跡埋蔵文化財調査業務委託（その１）	井尻遺跡 13-1	○事業者発注 □井尻遺跡発掘調査に伴う航空測量	大阪府都市整備部茨木土木事務所	道路建設
	6	井尻遺跡 ［整理］		一般国道170号（十三高槻線）道路築造事業に伴う井尻遺跡埋蔵文化財調査業務委託（その１）遺物整理		●井尻遺跡		
	7	梶原西遺跡 ［調査］	高槻市梶原５・６丁目地内	主要地方道伏見柳谷高槻線（高槻東道路　梶原工区）道路改良事業に伴う埋蔵文化財調査業務委託	梶原西遺跡 13-1	○事業者発注 □梶原西遺跡発掘調査に伴う航空測量	大阪府都市整備部茨木土木事務所	道路建設
	8	梶原西遺跡 ［調査・整理］	高槻市梶原５丁目地内	主要地方道伏見柳谷高槻線（高槻東道路　梶原工区）道路改良事業に伴う埋蔵文化財調査業務委託（その２）	梶原西遺跡 14-1	○事業者発注 □梶原西遺跡（その２）発掘調査に伴う航空測量		
	9	梶原古墳群 磐手杜古墳群隣接地 ［調査・試掘］	高槻市 萩庄地内外	主要地方道伏見柳谷高槻線（高槻東道路側道工区）道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託	梶原古墳群 14-1	○事業者発注 □梶原古墳群他発掘調査に伴う基準点測量	大阪府都市整備部茨木土木事務所	道路建設
	10	梶原古墳群 ［調査・整理］	高槻市 萩庄地内	主要地方道伏見柳谷高槻線（高槻東道路側道工区）道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査業務委託（その２）	梶原古墳群 14-2	○事業者発注 □梶原古墳群（その２）発掘調査に伴う航空測量		
	11	千提寺西遺跡 日奈戸遺跡 千提寺市阪遺跡 千提寺クルス山遺跡 ［整理］	茨木市 千提寺地内	高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査遺物整理（千提寺西他）	千提寺西遺跡11-1・12-1 日奈戸遺跡12-1 千提寺市阪遺跡 12-1 千提寺クルス山遺跡 12-1	—	西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設

受託契約期間	今年度事業費	今年度面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担　当　者	備考
H25.2.1 ～ H26.10.31	7,172,000	—	弥生～古代 集落・生産・墓域	竪穴建物・古墳・窯跡・土坑・溝・段状遺構 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・陶器・ 石器・石造物・鉄器	笹栗　拓	平成24～26年度
H25.6.3 ～ H26.12.26	17,352,000	1,639	弥生～中世 集落・生産・古墳・墓域	竪穴建物・掘立柱建物・棚田・古墳・土坑墓・ 土坑・ピット・溝 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・ 灰釉陶器・陶磁器・小玉・腰帯具・唐式鏡・ 銭貨・鉄釘・ガラス玉	金光正裕 笹栗　拓	平成25～26年度
H26.12.1 ～ H27.7.31	6,316,000	—			岡戸哲紀 金光正裕 笹栗　拓	
H26.2.3 ～ H26.4.25	770,000 330,000	—	弥生～中世 墓域	石組 弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・石製品か	金光正裕	平成25～26年度 航空測量残務のみ
H25.10.8 ～ H26.6.30	8,863,000	726	弥生～中世 集落・生産	井戸・畦畔・土坑墓・土坑・ピット・溝 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・ 陶磁器・木製品	岡本圭司 三宮昌弘	平成25～26年度
H26.6.2 ～ H27.3.20	15,648,000	—			三宮昌弘	
H26.1.6 ～ H26.8.25	20,393,000	2,020	弥生～中世 集落・生産・墓域	掘立柱建物・井戸・土坑・ピット・溝・ 方形周溝墓 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・ 瓦質土器・陶磁器・石器	川瀬貴子 若林幸子 信田真美世	平成25～26年度
H26.8.1 ～ H27.8.31	15,311,000	182	弥生～中世 集落・生産・墓域	掘立柱建物・土坑・ピット・溝・方形周溝墓 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦	川瀬貴子	平成26～27年度
H27.1.5 ～ H27.3.20	4,062,000	155	古墳 古墳・墓域	墓域 土師器・須恵器	三宮昌弘 後川恵太郎	
H27.3.2 ～ H27.4.30	1,618,000	49	古墳 墓域	土坑・ピット・溝 土師器・須恵器	三宮昌弘	平成26～27年度
H25.8.1 ～ H27.6.30	25,300,000	—	縄文～近世 集落・生産・墓域	掘立柱建物・墓・土坑・焼土坑・ピット・ 溝・棚田 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・ 黒色土器・瓦器・陶磁器・石器・石造物・ 木製品・鉄製品・ガラス製品・銭貨	合田幸美	平成25～27年度

管轄	NO.	遺跡名 ［内容］	調査地	受託事業名	調査名	委託名・報告書名 ○：工　　事 □：航空測量 ●：報 告 書	事業者	事業の種別
中部調査事務所	12	国見遺跡隣接地 ［試掘］	茨木市大岩地内	主要地方道茨木摂津線（(都）大岩線）道路築造事業に伴う埋蔵文化財調査業務委託（その２）	国見遺跡遺跡隣接地15-1	○事業者発注	大阪府都市整備部茨木土木事務所	道路建設
	13	総持寺遺跡 ［調査・整理］	茨木市西河原１丁目地内	摂津富田・茨木間新駅設置工事に伴う総持寺遺跡の埋蔵文化財発掘調査	総持寺遺跡 13-1	○事業者発注 □総持寺遺跡（新駅設置）発掘調査に伴う航空測量	西日本旅客鉄道株式会社	新駅設置
	14	吹田操車場遺跡 明和池遺跡 ［整理］	吹田市芝田町地内 摂津市千里丘４丁目・７丁目地内	吹田操車場跡地地区　平成 26 年度埋蔵文化財遺物整理業務	吹田操車場遺跡 09-3・10-2・11-1・12-1 明和池遺跡10-1・11-1・12-1	●吹田操車場遺跡 10 明和池遺跡３	独立行政法人都市再生機構西日本支社	土地区画整理
	15	吹田操車場遺跡 ［調査］	吹田市天道町 2128 番４　他	吹田操車場跡地地区　平成 26 年度埋蔵文化財発掘調査業務	吹田操車場遺跡 14-2	○事業者発注 □吹田操車場遺跡（区画整理その５）発掘調査に伴う基準点測量		
	16	吹田操車場遺跡 ［調査］	吹田市芝田町地内	国立循環器病研究センター建替整備事業に伴う吹田操車場遺跡発掘調査	吹田操車場遺跡 14-1	○吹田操車場遺跡（循環器病センター）発掘調査に伴う工事 □吹田操車場遺跡（循環器病センター）発掘調査に伴う航空測量	国立研究開発法人国立循環器病研究センター	国立循環器病研究センター建替え整備
	17	吹田操車場遺跡 ［調査］	吹田市芝田町地内	吹田市新市民病院移転建替事業に伴う吹田操車場遺跡発掘調査	吹田操車場遺跡 14-3	○吹田操車場遺跡（吹田市新市民病院）発掘調査に伴う工事 □吹田操車場遺跡（吹田市新市民病院）発掘調査に伴う航空測量	地方独立行政法人市立吹田市民病院	吹田市新市民病院移転建替
	18	禁野本町遺跡 ［確認］	枚方市御殿山南町 1511 番 2、3、4 地内	関西外国語大学計画策定に先立つ埋蔵文化財包蔵確認調査（その２）委託	禁野本町遺跡 15-1	○禁野本町遺跡（確認）発掘調査に伴う工事 □禁野本町遺跡（確認）発掘調査に伴う基準点測量	学校法人関西外国語大学	新キャンパス建設
	19	讃良郡条里遺跡 ［調査・整理］	四條畷市砂地内 寝屋川市新家２丁目・讃良東町地内	（仮称）イオンモール四條畷建設に伴う讃良郡条里遺跡発掘調査	讃良郡条里遺跡 11-1・13-1	○事業者発注 □事業者発注	イオンモール株式会社	大型店舗建設
	20	天満蔵屋敷跡 [調査]	大阪市北区西天満１丁目 12-12	大阪府天満警察署改築工事に伴う天満蔵屋敷跡発掘調査	天満蔵屋敷跡 14-1	○天満蔵屋敷跡発掘調査に伴う工事 □天満蔵屋敷跡発掘調査に伴う基準点測量	大阪府警察本部	大阪府天満警察署改築
	21	大坂城跡 [調査・整理]	大阪市中央区大手前２丁目２番１	大阪府庁舎本館耐震改修工事に伴う大坂城跡発掘調査	大坂城跡 14-1	○事業者発注	大阪府総務部	大阪府庁舎本館耐震改修工事
	22	大坂城跡 難波宮跡 ［整理］	大阪市中央区大手前３丁目地内	大手前立体駐車場建設工事に伴う大坂城跡発掘調査時の出土遺物整理	大坂城跡 13-1 難波宮跡 13-1	●大坂城跡５	大阪府警察本部	立体駐車場建設
	23	大坂城跡 難波宮跡 ［整理］	大阪市中央区大手前３丁目地内	大阪府立成人病センター整備事業に伴う大坂城跡発掘調査	大坂城跡 13-2 難波宮跡 13-2	●大坂城跡４	株式会社竹中工務店大阪本店	成人病センター建設
	24	大坂城跡 難波宮跡 ［調査］	大阪市中央区大手前３丁目地内	重粒子線がん治療施設整備運営事業に伴う大坂城跡発掘調査	大坂城跡 14-2 難波宮跡 14-2	○大坂城跡発掘調査（重粒子線がん治療施設）に伴う工事 □大坂城跡発掘調査（重粒子線がん治療施設）に伴う航空測量	地方独立行政法人大阪府立病院機構	重粒子線がん治療施設整備運営
南部調査事務所	25	瓜破北遺跡 ［調査］	大阪市平野区瓜破西１丁目地内	大阪府営瓜破西（第４期－６号棟）住宅（建て替え）建設工事に伴う瓜破北遺跡（その３）発掘調査	瓜破北遺跡 14-1	○瓜破北遺跡（その３）発掘調査に伴う工事 □瓜破北遺跡（その３）発掘調査に伴う航空測量	大阪府（住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課）	府営住宅建設

受託契約期間	今年度事業費	今年度面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担　当　者	備考
H26.3.17 ～ H27.5.22	—	—	—	—	井上智博	平成26～27年度 契約締結のみ
H25.8.1 ～ H26.10.31	9,385,000	219	弥生～中世 集落・生産	竪穴建物・土坑・溝・土器集積・流路 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・ 石器・木製品	奥村茂輝	平成25～26年度
H26.4.1 ～ H26.7.31	2,109,900	—	旧石器～中世 集落・生産	竪穴建物・掘立柱建物・流路・井戸・土坑・ ピット・畦畔・溝・落ち込み 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・墨書土器・ 黒色土器・緑釉陶器・灰釉陶器・瓦器・陶磁器・ 瓦・埴輪・土製品・石器・石製品・木製品	三好孝一	報告書刊行のみ
H26.7.1 ～ H26.10.24	4,691,000	421	古墳時代・古代・近世 生産	土坑・流路・ピット・落ち込み 土師器・須恵器・陶磁器・瓦	岡本圭司	
H26.3.4 ～ H28.6.30	238,673,000	18,862	縄文～中世 集落・生産	掘立柱建物・流路・井戸・土坑・ピット・畦畔・ 溝・落ち込み 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・ 陶磁器・土製品・瓦・石製品・木製品・ 金属製品・ガラス玉	亀井　聡 鹿野　塁 信田真美世	平成25～28年度
H26.8.25 ～ H28.1.29	74,435,000	3,100	弥生～中世 集落・生産	掘立柱建物・流路・井戸・土坑・ピット・池・ 畦畔・溝・落ち込み・土坑墓 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・ 陶磁器・土製品・石製品・金属製品	後藤信義 奥村茂輝	平成26～27年度
H26.9.22 ～ H27.1.23	5,866,000	435	弥生～中世 集落・近代化遺産	ピット・溝・落ち込み・禁野火薬庫関連施設 土師器・須恵器・レンガ	後川恵太郎	
H23.8.1 ～ H27.1.31	21,932,000	1,093	縄文～近世 集落・生産・神社	竪穴建物・掘立柱建物・流路・井戸・土坑・ ピット・水田・耕作溝・溝 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・ 瓦器・瓦質土器・陶磁器・瓦・石製品・ 石造物・鉄製品・銅鏡・銭貨・木製品	後川恵太郎 井上智博	平成23～26年度 四條畷市・寝屋川市と共同調査
H26.7.3 ～ H26.9.25	4,544,000	224	近世 その他の遺跡 （蔵屋敷跡）	礎石・土坑・溝 土師器・陶磁器・瓦・金属製品	奥村茂輝	
H26.4.11 ～ H28.11.30	26,738,000	1,978	古墳時代～近世 集落・城館	弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・土師質土器・ 陶磁器・瓦・木製品・漆器・銭貨・貝・骨	中村淳磯	平成26～27年度
H26.4.18 ～ H27.3.20	12,916,000	—	古墳時代～近世 集落・城館	掘立柱建物・柵列・柱穴・堀状遺構・井戸・ 土坑・ピット・鍛冶炉・溝 土師器・須恵器・瓦質土器・土師質土器・ 陶磁器・瓦・土製品・石製品・金属製品・鉄滓	島崎久恵	
H25.7.1 ～ H27.1.30	17,394,000	—	古墳時代～近世 集落	柱穴・堀・流路・井戸・土坑・ピット・炉跡・ 溝・落ち込み 土師器・須恵器・瓦質土器・土師質土器・ 陶磁器・瓦・石製品・木製品・金属製品・鉄滓	後藤信義	平成25～26年度
H26.4.8 ～ H28.4.28	179,019,000	381	縄文時代～近世 集落・官衙・城館・社寺	柱穴・堀・井戸・土坑・ピット・溝・ 落ち込み・石材 土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・瓦・石製品・ 木製品・漆器・木簡・金属製品生産遺物・ 骨格製品・食物残滓	佐伯博光 島崎久恵 新海正博	平成26～28年度
H26.7.15 ～ H27.3.31	51,372,000	2,316	弥生時代～中世 集落	竪穴建物・土坑・溝・方形周溝墓・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器	井上智博 岡本圭司	

管轄	NO.	遺跡名 ［内容］	調査地	受託事業名	調査名	委託名・報告書名 ○：工　　事 □：航空測量 ●：報 告 書	事業者	事業の種別
南部調査事務所	26	田井中遺跡 ［整理］	八尾市空港 1-81 陸上自衛隊八尾駐屯地地内	八尾（26）格納庫建替に伴う埋蔵文化財調査遺物整理	田井中遺跡 12-2	●田井中遺跡３	防衛省近畿中部防衛局	格納庫建替
	27	大県郡条里遺跡 ［調査］	柏原市法善寺４丁目地内	寝屋川水系改良事業（一般河川恩智川法善寺多目的遊水地）に伴う大県郡条里遺跡発掘調査（その２）	大県郡条里遺跡 12-1	○事業者発注 □大県郡条里遺跡（その２）発掘調査に伴う航空測量	大阪府都市整備部八尾土木事務所	治水緑地建設
	28	大県郡条里遺跡 ［整理］		寝屋川水系改良事業（一般河川恩智川法善寺多目的遊水地）に伴う大県郡条里遺跡発掘調査（その２）遺物整理		—		
	29	伯太藩陣屋跡 信太千塚古墳群 ［調査・整理］	和泉市伯太町４丁目地内	都市計画道路池上下宮線建設工事にかかる伯太藩陣屋跡・信太千塚古墳群発掘調査（その２）	伯太藩陣屋跡 13-1・14-1 信太千塚古墳群 13-1・14-1	○伯太藩陣屋跡（その２）発掘調査に伴う工事 □伯太藩陣屋跡（その２）発掘調査に伴う基準点測量	大阪府都市整備部鳳土木事務所	道路建設

2　主な調査の概要

（1）中部調査事務所

成合地獄谷遺跡　２号墳（横穴石室）

２・３．成合地獄谷遺跡13-1　成合遺跡13-1　金龍寺旧境内跡13-１［調査・整理］

成合地獄谷遺跡の今年度の調査では、新たに無袖式横穴式石室を埋葬施設とする径６ｍの円墳１基を確認しており（２号墳）、当遺跡では７世紀前半から中頃にかけて小規模な古墳群が営まれたことが判明した。

また、調査に引き続いておこなった整理作業から、平成25年度の調査で確認した古代墓群は、８世紀後半から９世紀にかけて存続し、唐式鏡をはじめとする多彩な出土遺物から周辺で活動した有力者層の奥津城とみなすことができる。

井尻遺跡　１トレンチ　第４－２面

５・６．井尻遺跡13-1［調査・整理］

高槻市東部に位置し、北西に北摂山地が迫り、南東に淀川が流れる。平成25年度に実施した試掘調査により新たに発見・周知された遺跡である。調査地は微高地の西側にあたる。

26年度５月に調査を終了し、整理作業に入ったが、なかでも、11世紀の遺構が多く、屋敷地区画溝出土の遺物群は、瓦器の出現期に、黒色土器と共伴する稀有な一括資料であり、その当時の土器様相を明らかにする良好な資料となる事が判明した。また、13世紀頃

受託契約期間	今年度事業費	今年度面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担　当　者	備考
H26.7.18 ～ H26.10.31	234,000	―	弥生～中世 集落・生産	土坑・ピット・水田・島畠・杭列・溝・落ち込み 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・石器・木製品・鉄製品	三好孝一	報告書刊行のみ
H24.12.3 ～H26.10.31	25,480,000	2,194	縄文～中世 生産・集落	竪穴建物・柱穴・流路・井戸・土坑・杭列・水田・溝・落ち込み 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶磁器・瓦・土製品・石製品・木製品・金属製品	佐伯博光 黒須亜希子	平成24～26年度
H26.9.1 ～ H27.7.31	14,023,000	―			黒須亜希子	平成26～27年度
H26.5.1 ～ H27.3.31	48,027,000	3,390	古墳時代・近世 古墳・集落・屋敷地	井戸・土坑・溝・ピット・古墳（周溝） 陶磁器・瓦・埴輪・石製品	若林幸子	

の、青磁・白磁を副葬した土壙墓も検出された。さらに、古墳時代前期から中期の遺構も検出されている。

このことから、三五郎川の左岸には梶原寺跡付近から派生する舌状台地があり、そこには弥生時代以降の集落域もしくは墓域が広がっていた可能性が指摘される。

７・８．梶原西遺跡13-1、梶原遺跡14-1［調査］

梶原西遺跡では、大きくは３つの異なる性質の遺構が検出された。

南部域では、古代の粘土採掘坑と考えられる群集土坑群を検出した。中央域では、古代末（９世紀後半～10世紀）の掘立柱建物や井戸などを検出し、居住域を確認した。

特筆すべきは、北部から中央北半の山裾部で、弥生時代中期前葉の方形周溝墓約10基を確認した。１辺10数ｍの大規模な方形周溝墓も含み、西に所在する安満遺跡と同時期のもので、当該地に弥生時代中期の墓域が広がっていたことが確認できた。

梶原西遺跡　周溝墓

９・10．梶原古墳群・磐手杜古墳群隣接地他14-1
梶原古墳群14-2［調査・試掘・整理］

梶原古墳群は高槻市東部に位置し、北摂山地ポンポン山山塊の南東山腹にある古墳時代後期の群集墳として知られる古墳群である。南東には幅１㎞ほどの狭隘な沖積平野を挟み、淀川が望める。調査地は南東に伸びる枝尾根上で、標高80ｍ強の地点である。

試掘調査で土器が出土し、調査地を拡大して本調査を行

梶原古墳群　第３面

った。尾根を切断するように掘られた溝や、平安時代の土師器坏が出土した焼土坑、焼土・炭の入ったピットなどが検出された。加飾垂下口縁壺の出土した溝は、方形台状墓の溝である可能性が高い。

調査地の西700 mほどにある古墳時代前期の安満宮山古墳との関係が注目される。

千提寺西遺跡　近世墓出土　土人形

11. 千提寺西遺跡11-1・12-1・日奈戸遺跡12-1・千提寺市阪遺跡12-1・千提寺クルス山遺跡12-1［整理］

25年度後半より継続して、報告書作成作業を実施した。遺構は、前年度に整理した図面をもとにデジタルトレースを行うとともに、レーザー計測による３次元データの座標をもったオルソ画像をもとに図化した。遺物は実測後デジタルトレースを行った。

墓については個別に報告するカード形式とし、１基ごとに表・図・写真をまとめて報告した。

原稿執筆後、編集・校正を経て、報告書としてまとめ、その後遺物・図面・写真等の収納作業を行った。

総持寺遺跡　古墳時代中期　竪穴建物カマド

13. 総持寺遺跡13-1［調査・整理］

弥生時代後期から古墳時代中期の遺物を包含する旧河川と、その河川の岸辺に位置する古墳時代中期の竪穴建物複数棟で構成される集落跡を検出している。旧河川はかつての安威川の支流と想定され、現在の安威川の流域よりも東側を流れていた。また今回検出した集落は、その西岸に立地していたものと考えられる。

これまでの調査成果もあわせて、旧安威川の東西両岸に古墳時代中期の集落が展開していたことがわかった。

吹田操車場遺跡　古墳時代後期の群集土坑群

16. 吹田操車場遺跡（循環器病センター建替）14-1　［調査］

現地調査では、弥生時代の土坑や溝、古墳時代後期と思われる群集土坑、飛鳥・奈良時代から平安時代にかけての掘立柱建物や土坑、古代から中世にかけての耕作地等を検出した。

遺構の中で記名したものは1702基に達し、掘立柱建物30基、群集土坑690基を数える。

特筆する遺物としては、尖頭器、緑釉瓦、新羅系土器、石製巡方、仿製海獣葡萄鏡、円面硯、土馬、ガラス玉等が挙げられる。

17. 吹田操車場遺跡14-3［調査］

今回の調査では、弥生時代に形成された流路状の谷とその周囲に展開する微高地上で、古代から中世の集落域と墓域を検出した。まず、古代の集落域では区画溝で囲まれた中に正方位を主軸にもつ掘立柱建物群と、その周辺に築かれた木棺墓や土壙墓が検出された。

一方、古代末から中世の集落域では、古代との建物とは方向を違えた掘立柱建物や木棺墓や土壙墓が検出された。

吹田操車場遺跡　掘立柱建物群

19. 讃良郡条里遺跡11-1・13-1［調査］

四條畷市教育委員会・寝屋川市教育委員会と共同で発掘調査を実施し、平成26年度には追加調査と、平成25年度から開始した整理作業を継続して行った。

発掘調査では、弥生時代の集落・水田、古墳時代の集落・水田、中世の集落・水田、近世から近代の神社（大将軍社）およびその参道を検出し、各時期の遺物が大量に出土した。

古墳時代の集落から出土した遺物には、陶質土器・U字形土製品・鍛冶関連遺物（鞴羽口や鉱滓）のほか、井戸枠に転用された扉板や準構造船の底板などがあり、特筆に値する。

低地に所在する遺跡であるため、調査した遺構面が20面を超える調査区が含まれており、整理作業では地層及び遺構面の連続性についても検討を行った。報告書は平成27年１月に刊行した。

讃良郡条里遺跡　溝から出土した土器

20. 天満蔵屋敷14-1［調査・整理］

17世紀後半に設置された弘前（津軽）藩蔵屋敷の遺構と、蔵屋敷の設置前に施された２m近い盛土、およびその盛土の直下で17世紀前半代の石材集積遺構を検出した。

なかでも、特筆されるのは蔵屋敷時代の遺構で、大量の瓦と壁材、炭化米が出土した土坑二基である。いずれの土坑も出土瓦や陶磁器の年代観から、18世紀前半代に開削された直後に埋め戻されたと考えられる。

絵図や文献史料に残る、著名な大規模火災「妙知焼け」（享保９年・1724）に関わる土坑と推定される。

天満蔵屋敷跡　18 世紀前半の大規模火災に関わる土坑

大坂城跡　掘削状況

21. 大坂城跡14-1［調査］

工事に伴う大阪府庁舎本館地下からの掘削土より遺物を回収する方法をとっている。建物内の地下１階床から既設の基礎底までの１次・２次掘削と下層に新設される免震階の３次・４次掘削に分かれる。平面で３分割したうち、北工区は掘削終了、中工区は３次・４次掘削中、南工区は１次・２次掘削中である。豊臣期～江戸時代初期の遺物が瓦を含めて多いほか、古墳時代～奈良時代の須恵器もみられる。調査は平成27年度も引き続きおこなわれる。

大坂城跡・難波宮跡　出土瓦

22. 大坂城跡・難波宮跡13-1［整理］

検出した徳川期の廃棄土坑からは、多数の陶磁器類の他、土人形や泥面子などの土製品、金属製品、石製品、羽口や坩堝といった金属器加工関連遺物、骨角器の未成品や素材、骨・貝類などの食物残滓など多種多様な遺物が出土し、土坑を４時期に分類した。

徳川初期では鍛冶炉周辺の鍛造剥片の分布から作業状況の復元を試みた。

豊臣期では大坂夏の陣に伴うと考えられる被熱を受けた瓦類や陶磁器、壁材に混じって土錘がまとまって出土した。

大坂城跡・難波宮跡　出土ミニチュア船

23. 大坂城跡・難波宮跡13-2［整理］

調査地は大坂城三の丸跡にあたり、上町台地上と西に開口する開析谷の北辺部に位置する。豊臣前期の遺構面では開析谷内で粘土採掘坑などを、豊臣後期の遺構面では大名屋敷の北辺を示す柵列を検出した。

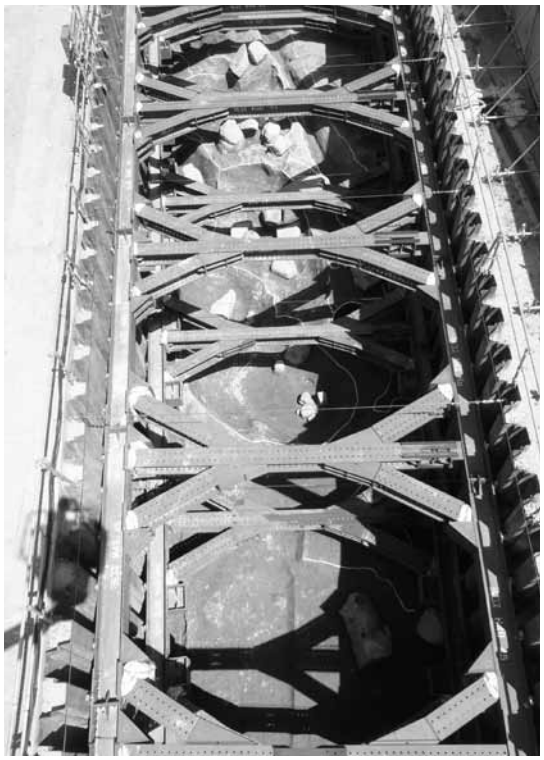
遺物は、国産陶器や輸入青花、青白磁をはじめ多数の土器や瓦のほかに、漆器椀や箸、下駄、ミニチュアの舟形木製品などの木製品、石製硯や石臼などの石製品、さらに小刀柄や笄といった金属製品など多岐にわたる。

近世には、大坂城の再築の際、開析谷は完全に埋められて平坦面となっていたが、18世紀後半に属する土坑には、瀬戸・美濃焼、京・信楽系陶器、肥前系磁器といった各地からもたらされた生活雑器類が多量に廃棄されており、当時の生活を復原するための良好な資料となった。

24. 大坂城跡・難波宮跡14-2［調査］

本調査は重粒子線がん治療施設整備運営事業に伴うもので、大阪市中央区大手前三丁目地内で実施した。現地調査を平成26年５月～平成27年５月まで行い、引き続き平成28年１月まで整理作業を実施、同年４月に報告書刊行予定である。

発掘調査では大坂冬の陣後に埋められ、その後に徳川期大坂城築城時の大規模な盛土に覆われた、豊臣期大坂城の二の丸大手口を逆コの字状に囲む堀を検出した。盛土からは、金箔押し軒瓦や家紋瓦、唐津焼・備前焼を代表とする国産陶器や中国製青花などの輸入磁器といった桃山陶磁器などが出土した。また、堀の西側では盛土で埋められた南から北へ下がる落ち込みが見つかり、豊臣期大坂城の築城石や大名屋敷に使われたと考えられる自然石、徳川期大坂城１期工事に用いられた石材の端石と考えられる割石が出土している。これらの中には、刻印や墨書き符号が記された石材がみられる。

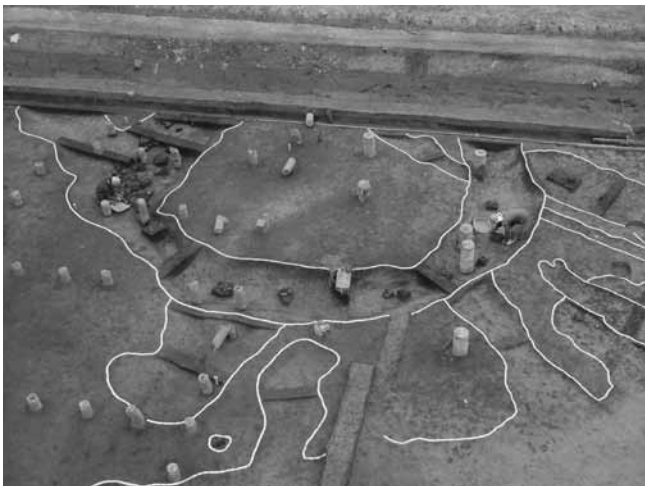


大坂城跡・難波宮跡　堀

（２）南部調査事務所

25. 瓜破北遺跡14-1［調査］

26年度は大阪府営瓜破西住宅のうち、６号棟建設予定地の調査をおこなった。調査地北部からは、古墳時代前期後半の竪穴建物と、弥生時代後期後半の土器がまとまって出土した土坑などが検出された。また、東部においては方形周溝墓１基を検出し、その周溝から弥生時代後期後半に属する土器が多数出土した。さらに、幅14～15m、深さ 1.4 mの大規模な溝も検出された。その埋土の層序と出土遺物から、この溝は、弥生時代後期に掘削され、古墳時代後期に埋没したと推定される。



瓜破北遺跡　弥生時代後期後半　方形周溝墓

27・28. 大県郡条里遺跡12-1［調査・整理］

本調査は寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺多目的遊水地）に伴うもので、調査地は柏原市法善寺４丁目地内に所在する。

平成25年４月～平成26年９月まで現地調査を行い、引き続き平成27年４月まで整理作業を実施、平成27年７月に報告書を刊行する予定である。

発掘調査では、奈良時代に営まれ始めた水田が平安時代後期以降に整備され、現在まで引き継がれる条里型

大県郡条里遺跡　弥生時代後期～古墳時代前期初頭面

の水田跡を検出したほか、弥生時代後期～古墳時代前期初頭の土坑や溝、縄文時代晩期～弥生時代前期の竪穴建物跡や土坑を検出した。

29. 伯太藩陣屋跡・信太千塚古墳群13-1・14-1
［調査・整理］

今回の発掘調査は25年度の調査地の西側に隣接している。全体としては、北西から南東を指向する細長い範囲を調査しており、整理作業は前年度分と今年度分を併せて行った。発掘調査の結果、近世に当地に拠点を置いた伯太藩の藩主の屋敷地の一部と、上級家臣から下級家臣までを含む、伯太藩陣屋に住んだ家臣の屋敷地を検出した。報告書の作成に際しては、陣屋の構造と変遷の把握に加え、屋敷の構造や出土遺物と、家禄とにどのような相関関係がみられるのか、さらに以前に行われた江戸屋敷の調査成果から、江戸と国元との生活様式の違いについても検討した。また、前年度の調査で検出した新出の古墳２基の調査成果についても言及した。

伯太藩陣屋跡・信太千塚古墳群　藩主屋敷跡

3　他府県調査技術支援

平成21～25年度に引き続き、公益財団法人　鳥取県教育文化財団からの依頼に基づき、一般国道９号（鳥取西道路）建設事業地内で実施された鳥取市　大桷遺跡・松原田中遺跡・常松菅田遺跡の発掘調査の技術支援のために職員３名を出向させた。

また、平成25年度に引き続き、公益財団法人　岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターからの依頼に基づき、東日本大震災復興関連事業（三陸沿岸道路建設）地内で実施された九戸郡野田村　伏津館遺跡・上泉沢遺跡、下閉伊郡山田町　沢田Ⅲ遺跡・間木戸Ⅰ遺跡の各発掘調査の技術支援のために職員２名、さらに、公益財団法人　和歌山市文化スポーツ振興財団埋蔵文化財センターからの依頼に基づき、都市計画道路松島本渡線建設事業地内で実施された井辺遺跡、伏虎小中一貫校設置事業地内で実施された鷲ノ杜遺跡の発掘調査の技術支援に職員２名をそれぞれ出向させた。

Ⅳ　文化財資料活用事業

文化財の資料活用を図るため、次の事業を実施した。

1　文化財講演会事業

（１）シンポジウム・講演会等

実施月日	内　　容	対象者	会　場	参加人数	備　　考
4月19日	「新たに見つかった須恵器の窯－成合遺跡の調査成果と平安京遷都前後の須恵器生産－」	一般	弥生文化博物館	90	弥生文化博物館スポット展示と関連して実施
10月２日	「シルクロードの終着点－古代の奈良と大阪－」	会員・一般	近鉄文化サロン阿倍野	36	近鉄文化サロンとの共催講座
10月19日	「大阪における古地理復元と中世史再構築の試み」	一般	大阪歴史博物館	87	大阪文化財研究所、大阪歴史博物館との共催シンポジウム
10月23日	「歴史ウォーク」「河内六寺を歩く」	会員・一般	近鉄文化サロン阿倍野	15	近鉄文化サロンとの共催講座
11月６日	「仏教文化の開花－河内にひろがる古代寺院－」	会員・一般	近鉄文化サロン阿倍野	39	近鉄文化サロンとの共催講座
11月19日	「歴史ウォーク」「大阪城400年の歴史を歩く」	会員・一般	近鉄文化サロン阿倍野	12	近鉄文化サロンとの共催講座
12月４日	「かつて大阪に都があった－難波宮跡発掘60年－」	会員・一般	近鉄文化サロン阿倍野	40	近鉄文化サロンとの共催講座
１月29日	「刻印石にみる天下普請－大坂城跡の発掘調査－」	会員・一般	近鉄文化サロン阿倍野	32	近鉄文化サロンとの共催講座 考古学セミナー シリーズ講座
２月５日	「北摂山中のキリシタン墓」	会員・一般	近鉄文化サロン阿倍野	29	近鉄文化サロンとの共催講座 考古学セミナー シリーズ講座
３月５日	「伯太藩陣屋における人々の生活」	一般	近鉄文化サロン阿倍野	28	近鉄文化サロンとの共催講座 考古学セミナー シリーズ講座

計 408 名

（２）講演会等（外部団体からの依頼）

実施月日	内　　容	対象者	会　　場	備　　考	参加人数
６月28日	「高槻市成合遺跡の調査 －中期末の丘陵上の集落－」	研究者	和歌山市立博物館	近畿弥生の会	74
７月３日	「女王卑弥呼と堺（大阪）」	一般	堺市立女性 センター	堺自由の泉大学	15
７月15日	「前方後円墳の築造とまつり」	一般	エル・おおさか	エル・おおさか 歴史セミナー	89
９月６日	「大坂冬の陣を掘る」	一般	しおんじやま 古墳学習館	しおんじやま古墳 学習館学び場	29
11月５日	「佐竹氏ゆかりの地を訪ねて」	一般	大坂城周辺	南海国際旅行	38
11月29日	「山間のキリシタン遺跡―茨 木市千提寺西遺跡の成果－」	一般	河内長野市	関西山城サミット in 烏帽子形城	140
３月14日	「弥生人の美 －土器の研究と船橋遺跡－」	一般	大阪府立弥生 文化博物館	冬季企画展関連講演会	155
３月20日	「卑弥呼の食卓」	一般	エル・おおさか	エル・おおさか歴史 セミナー	96

計　715 名

２　現地説明会等

平成26年度現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施月日	内　　容	対象者	場　　所	参加人数
5月10日	井尻遺跡 現地公開	一般	高槻市　井尻遺跡	89
８月21日	大県郡条里遺跡 現地公開	一般	柏原市　大県郡条里遺跡	26
10月４日	伯太藩陣屋跡 現地公開	一般	和泉市　伯太藩陣屋跡	91
1月17日	瓜破北遺跡（その３）現地公開	一般	大阪市　瓜破北遺跡	135
３月６日	吹田操車場遺跡 現地説明会（吹田市民病院、国立循環器病センター）	一般	吹田市　吹田操車場遺跡	104

445 名

3　文化財体験学習事業

（1）出前授業

実施月日	内　　容	対象者	場　　所	参加人数
10月１日	「豊臣大坂城の台所事情」	ライフデザイン総合学科 栄養士コース「食文化論」	大阪国際大学短期大学部	7
10月８日	「古墳時代の渡来人と食文化」	ライフデザイン総合学科 栄養士コース「食文化論」	大阪国際大学短期大学部	3

（2）子ども向け体験事業

実施月日	内　　容	対象者	場　　所	参加人数
4月19日	「まゆクラフト こいのぼりをつくろう」	一般（子ども向け）	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	4
6月21日	「紙すきで短冊づくり」	一般（子ども向け）	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	11
８月９日	「埴輪貯金箱を作ろう」	一般（子ども向け）	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	17
8月10～13日	キッズ考古学 「低融合金で 銅鐸をつくろう」	一般（子ども向け）	あべのハルカス	24
10月４日	キッズ★チャレンジ！ 考古楽「土器パズル」	一般（子ども向け）	あべのハルカス	2
11月１日	キッズ★チャレンジ！ 考古楽「鏡パズル」	一般（子ども向け）	あべのハルカス	4
11月８日	キッズ★体験考古楽 「鏡みがき」	一般（子ども向け）	あべのハルカス	2
12月６日	キッズ★体験考古楽 「銅鐸パズル」「勾玉消しゴムづくり」	一般（子ども向け）	あべのハルカス	2
2月21日	キッズ★体験考古楽 「和同開珎づくり」	一般（子ども向け）	あべのハルカス	2

（３）体験学習等の受け入れ

実施月日	内　容	対象者	場　所	参加人数
６月２日	遺跡と博物館	大阪学院大学　博物館学芸員課程	吹田操車場遺跡	3
７月15日	日本の発掘方法	独立行政法人国際協力機構ジャイカ（JICA）研修生	吹田操車場遺跡	4
８月４日～８月８日	夏季集中講座「考古学入門」	大阪府立今宮高校２年生	吹田操車場遺跡ほか	6
10月16日	古代日本史研究旅行「考古学体験」	和光高校２年生	吹田操車場遺跡ほか	22
12月12日	集中講座「考古学入門」	大阪府立大手前高校生	大坂城跡	5

（４）発掘現場等の見学等の受け入れ

実施月日	内　容	対象者	場　所	参加人数	備　考
８月１日	発掘現場見学	堅下北小学校生徒・教師・保護者	大県郡条里遺跡	42	「私の水辺 in 柏原」水辺遊び in 恩智川（大阪府八尾土木事務所主催）

４　文化財展示事業

（１）博物館等と連携した展示会等

実施年月日	内　　容	対象者	会　　場	備　　考
（３月４日）～４月６日	「難波宮跡出土柱材の年代－新たな年代測定法の誕生」	一般	近つ飛鳥博物館	近つ飛鳥博物館スポット展示
４月８日～4月29日	「成合須恵器窯の系譜」	一般	弥生文化博物館	弥生文化博物館スポット展示
7月15日～８月３日	「歴史街道でめぐる大阪の魅力再発見「城と陣屋」」	一般	大阪府立中央図書館	大坂城跡、麻田藩陣屋跡出土遺物の展示
11月５日～1月29日	「古墳が好き！埴輪が好き！！高石の古墳と埴輪の魅力を探る」	一般	高石市立図書館	巨摩第一号古墳、長原13号墳出土遺物の展示

5　文化財広報事業

（1）当センターの事業年報（25年度）の編集

（2）ホームページによる当センター情報提供

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。

当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地公開資料、展示会のリーフレット・ブックレット等をホームページに掲載公開した。また、報道機関にも積極的に情報提供した。

（3）「関西考古学の日」への参加

「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成20年度を初回として実施したものである。当センターは、パンフレットの編集・作成を行った。また、大阪府立弥生文化博物館と近つ飛鳥博物館の特別展情報を掲載した。

6　文化財研究事業

（1）近畿ブロック埋文研修会への参加

第20回の平成26年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、（公財）枚方市文化財研究調査会が開催法人となり、平成26年12月12日（金）に開催された。『古代遺跡の最新調査・研究成果』というテーマで10本の研究発表が行われ、当センターからは笹栗拓が「高槻市成合地区における古代遺跡の展開－火葬墓・須恵器窯跡・山林寺院をキーワードに－」と題して発表を行った。

7　文化財資料収集整理事業

（1）文献及び文化財情報の収集・整理

① 平成26年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	193 冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	1,643 冊
計	1,836 冊
累 計	87,560 冊

② 蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

蔵書データベースは総計 84,001 レコード。

（2）発掘調査資料の管理

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

8　文化財資料提供事業

（1）発掘資料の出品、写真、映画等の貸出

①　資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

貸出先／展示期間	展示等名称	資　料　名	点数
奈良県観光局 H26.10.18～12.14	特別展「語り継ぐココロとコトバ 大古事記展 －五感で味わう、愛と創造の物語－」	巨摩遺跡：竪櫛	1
柏原市立歴史資料館 H26.7.5～8.31	平成26年度夏季企画展「縄文から弥生へ－船橋遺跡の縄文絵画土器が語るもの－」	久宝寺遺跡：縄文土器2／田井中遺跡：縄文土器	3
近つ飛鳥博物館 H26.4.26～6.29	平成26年度 春季特別展	大庭寺遺跡：須恵器蓋2、須恵器はそう、須恵器高坏／讃良郡条里遺跡：木製輪鐙、木製鞘、木製鞍／太秦古墳群：円筒埴輪2、須恵器高坏2、須恵器はそう3、	14
高槻市立しろあと歴史館 H26.10.4～12.7	平成26年度 秋季特別展「戦国　大阪の城－動乱の時代と天下統一－」	佐保栗栖山砦跡：雁又鏃、三又鏃、鏃、刀子、瀬戸美濃鳥形水滴、碁石、瀬戸美濃皿2、備前擂鉢、瓦器香炉2、土壁	12
近つ飛鳥博物館 H26.7.19～9.15	平成26年度 夏季企画展 「大阪平野はむかし、海だった-海に生きたおおさかの古代人」	亀井遺跡：骨角製釣針、鹿角製釣針3、鹿骨製ヤス、木製ヤス／脇浜遺跡：須恵器坏3、蛸壺3、土師器、土錘3／三田古墳：鈴付高杯／新家遺跡：舟形木製品／西岩田遺跡：浮子状木製品、アカカキ、櫂／瓜生堂遺跡；アカカキ／箱作今池遺跡：真蛸壺、人骨片／下田遺跡：甕、製塩土器4、鉢、蛸壺11、舟形木製品、櫂／駒ヶ谷遺跡：製塩土器3／溝咋遺跡：製塩土器12、土錘5／小島北磯遺跡：製塩土器10、飯蛸壺、土錘２、鹿角製ヤス、碇石／亀川遺跡：須恵器4、土錘2、製塩土器7、土師器3、軽石、勾玉2、有孔円板、管玉2、剣形、鉄鏃2、鉄製釣針、鉄製穂摘具／久宝寺遺跡：舟形木製品2、弥生土器、飯蛸壺、棒状土錘、アカ取り、準構造船の復原模型／男里遺跡：弥生土器2、土錘、飯蛸壺10、真蛸壺形土器3、絵画土器、石錘、土師器、須恵器／山賀遺跡：サメ椎骨、タコ壺／上町東遺跡：蛸壺、土錘15／湊遺跡：製塩土器7、甕、土師器、土師質飯蛸壺／讃良郡条里遺跡：須恵器、製塩土器2、土師器、釣り針、鉄鏃2、滑石製紡輪、滑石製有孔円板2、滑石製模造品、滑石製管玉、ガラス製小玉、赤玉質流紋岩製臼玉、舟形木製品、準構造船舷側板	176
姫路市埋蔵文化財センター H26.9.7～12.14	平成26年度 企画展 「黒田官兵衛　成る」	大坂城跡：金箔押軒丸瓦2、金箔押軒平瓦、金箔押鯱瓦、金箔押十弁菊丸瓦、人骨	6
下関市立考古博物館 H26.9.27～11.24	平成26年度企画展 「青銅器と弥生人のまつり」	瓜生堂遺跡：銅戈／下田遺跡：木製柄、環付木製品／亀井遺跡：銅鐸形土製品3、分銅形土製品／山賀遺跡：赤彩文土器	8
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 H26.10.11～11.30	平成26年度 秋季特別展 「飛鳥宮・再見」	難波宮跡：柱材、須恵器蓋2、須恵器坏2、絵馬、漆容器15、漆漉し布4、	25
四條畷市立歴史資料館	平成26年度 第29回秋季特別展「まじないと人」	讃良郡条里遺跡：人面墨書土器甕4、人形3、斎串2／小路遺跡：人面墨書土器甕4、人面墨書土器長胴甕／高宮遺跡：烏帽子	15
吉野ケ里歴史公園 H26.9.20～11.9	吉野ヶ里歴史公園特別企画展 『よみがえる邪馬台国』	山賀遺跡：鳥形木製品／亀井遺跡：鳥形木製品	2
島根県立古代出雲 H26.7.25～9.15	平成26年度企画展 「倭の五王と出雲の豪族」	大庭寺遺跡：須恵器蓋、須恵器無蓋高杯、船形土製品、須恵器筒形器台、須恵器高杯形器台／伏尾遺跡：土師器長胴甕、土師器甑、土師器竈、土師器／長原城山遺跡：墨書土器	10
弥生文化博物館 H26.7.8～8.31	平成26年度 夏季特別展 「遥かなるメソポタミア －時空を超えたヒトの営み－」	大和川今池遺跡：器台上私部遺跡：器台亀井遺跡：分銅11、記号文土器7、土玉2、牙製垂飾友井東遺跡：権粟生間谷遺跡：ナイフ形石器8、石核私部南遺跡：動物形土製品大坂城跡：犬形土製品21新上小阪遺跡；布送具瓜生堂遺跡：紡織具巨摩廃寺遺跡：玉類16久宝寺：鼓形器台、獣形勾玉銅印大庭寺遺跡：山賀遺跡：イノシシ牙製装飾品、勾玉状石製品溝咋遺跡：滑石製品5亀川遺跡：滑石製品31	96
近つ飛鳥博物館 H25.10.４～12.7	平成26年度 秋季特別展「箸墓以後 －初期のヤマト王権の成立と展開」	船橋遺跡：直口壺2、二重口縁壺6／小阪合遺跡：特殊器台／久宝寺遺跡：加飾二重口縁壺、二重口縁壺7、直口壺7、割竹形木棺2	26

貸出先／展示期間	展示等名称	資　料　名	点数
弥生文化博物館 H26.9.17～12.14	平成26年度 秋季特別展 「河内地賓」	池内遺跡：打製石鏃15／瓜生堂遺跡：弓、杓子、須恵器、子供の足跡（石膏型）、弥生土器24、讃岐産壺2、阿波産壺、土佐産甕、石庖丁、土錘、／亀井遺跡：弥生土器10、イノシシ骨、ぼう製鏡、広鍬、銅鏃、蛸壺3、ミニチュア土器5／亀井北遺跡：吉備系甕／植松遺跡：須恵器／太秦遺跡：翡翠製勾玉／太秦古墳群：須恵器／上私部遺跡：新羅土器、鉄鏃、鞴羽口、鉄滓5／私部南遺跡：翡翠原石、滑石製品2、須恵器2、鉄鋌、土師器、鞴羽口3／久宝寺北遺跡：弥生土器／久宝寺遺跡：精製土器3、讃岐産壺、庄内式甕、布留式甕、石庖丁2、北陸産壺、東海産（系）高坏、絵画土器、吉備産壺、土製勾玉、阿波産甕、グリーンタフ製管玉4、銅鏃、石杵、石臼、垂飾、土偶、線刻画のある土師器／小阪合遺跡：吉備系甕、須恵質鳥形土製品2、東海産壺、韓式系土器、阿波産甕／巨摩遺跡：四脚付台形木製品、弥生土器3、銅釧、銅鏃、石斧、遠賀川系土器／讃良郡条里遺跡：滑石製勾玉3、人形3、絵馬2、人面墨書土器6、石皿、鉄鏃5、滑石製子持勾玉、輪鐙2、炭化米、須恵質鳥形土製品、縄文浅鉢、鉄製品3、鹿角装飾刀子、土馬、儀仗、韓式系土器／志紀遺跡：鉄製鋤・鍬先／大尾遺跡：鉄剣、打製石剣、打製石鏃5／田井中遺跡：ぼう製珠文鏡、土錘8、弥生土器2、土錘／高宮遺跡：鉄鋌／茄子作遺跡：須恵器／三宅西遺跡：陶質土器、須恵器3、／八尾南遺跡：絵画土器／山賀遺跡：ミニチュア土器3、弥生土器3、四脚合子2、石鏃5、勾玉状石製品、垂飾形木製品、イノシシ骨製弓弭状品、／大和川今池遺跡：蛸壺2／弓削ノ庄遺跡：縄文深鉢2／若江北遺跡：炭化米、弥生壺、土錘、鋤／成合遺跡：翡翠製勾玉	215
和歌山県立紀伊風土記の丘 H26.９.11～12.24	平成26年秋季特別展 「須恵器誕生－ 新しい土器は古墳時代をどう変えたか－」	大庭寺遺跡：須恵器把手付椀2、須恵器有蓋高杯、須恵器把手付高杯、須恵質当て具2、須恵器高杯形器台3、須恵器大甕、須恵器台付把手付壺、須恵器壺4、須恵器小型平底坩、須恵器ハソウ、須恵質紡錘車、軟質土器鍋、軟質土器平底鉢、軟質土器甑、軟質土器長胴甕、／TG232窯跡：須恵器杯身、須恵器把手付椀、須恵器蓋、須恵器高杯5、須恵器把手付高杯、須恵器ハソウ2、須恵器壺3、須恵器甕、土師器甕野々井西遺跡：須恵器蓋、須恵器杯身、須恵器高杯2、須恵器台付鉢、須恵器ハソウ、須恵器樽形ハソウ、須恵器鉢形器台3、須恵器二重口縁壺、須恵器甕茄子作遺跡：須恵器ハソウ、須恵器壺、須恵器器台4、須恵器甕4、勝部遺跡：須恵器高杯形器台、須恵器高杯蓋、須恵器高杯	63
大阪歴史博物館 H26.6.21～8.18	特別展「大阪遺産　難波宮」	大坂城跡：施釉陶器蓋、鳥足文タタキの土器、陶棺2、柱材2	6
高槻市立今城塚古代歴史館 H26.10.4～ 11. 30	平成26年度秋季特別展 「古墳時代の船と水運」	久宝寺遺跡：準構造船の復原船首、準構造船の復原模型、アカ、船形木製品、船舳先／讃良郡条里遺跡：船形木製品、船舷側版2／田井中遺跡：船形土製品	9
徳島市立考古資料館 H26.10.7～12.7	平成26年度秋季企画展 「馬、かける」	讃良郡条里遺跡：絵馬2、鞍／玉櫛遺跡：鞍	4
箕面市立郷土資料館 H26.10.17～12.1	企画展示 『小畑遺跡・止々呂美城址の遺物点』	小畑遺跡：瓦器椀3、青磁、東播系須恵器鉢3、瓦質甕2、古瀬戸小皿、常滑甕、磁器製紅皿、短刀、鉄釘3、板状鉄製品2、棒状鉄製品、銅製寛永通寶、サヌカイト製石鏃／止々呂美城跡：染付2、弥生甕、陶器擂鉢、釘5、土師器皿13、瓦器椀2、青白磁、寛永通寶3、石仏、須恵器甕、瓦質土羽釜2、至道元寶、祥符元寶、皇宋通寶、永楽通寶、伏鉦、寛永通寶2	60
尼崎市立田能資料館 H26.10.7～12.7	第44回特別展 「弥生の食べ物」	亀井遺跡：シカの落角、動物遺体9、クジラの骨、鹿骨製ヤス2、鹿角製釣針3／山賀遺跡：動物遺体3、黒漆塗丸木弓片／久宝寺遺跡：絵画／西岩田遺跡：木製浮子、舟形木製品／新家遺跡：舟片／東奈良遺跡：舟形土製品	25
狭山池博物館	特別企画展 「南河内台地の中世集落」	観音寺遺跡：翼状剝片、子持勾玉、窯壁付着須恵器片、盾形埴輪、中国製白磁椀、土師質ミニチュア竈、滑石製石鍋、瓦質片口鉢、相輪、灯明台2、五輪塔2、和同開珎3、石鏃8、黒色土器3、須恵器7、土師器37、瓦器49、丸瓦、平瓦4、鬼瓦3、軒丸瓦29、軒平瓦29、陶磁器59	245
神戸市文化財センター H26.10.18～12.7	平成26年度秋季企画展 「台地に刻まれた災害史」	美園遺跡：被熱変形土器4	4
滋賀県立安土城考古博物館 H26.12.20～H27.3.15	第50回記念企画展 「人ノ性、酒ヲ嗜ム」	大庭寺遺跡：須恵器把手付椀、須恵器はそう3、須恵器　壷	5
堺市立みはら歴史博物館	特別展「河内鋳物師の誇り－ 鍋・釜づくりの名人たち」	日置荘遺跡：備前すり鉢、飾り金具、中国製天目茶碗、灯明台台座2、瓦質土器6、常滑焼2、瀬戸内系陶器3、白磁5、青磁7、瀬戸・美濃焼2、鉄瓶、土師器皿5、軒丸瓦5、軒平瓦、陶磁器2	45
近つ飛鳥博物館	平成26年度冬季企画展 「歴史発掘おおさか」	止々呂美城跡：釘11、土師器3、縄文土器、凸基有茎石鏃、磨石、有舌尖頭器、叩石／福井遺跡：埴輪20 ／成合遺跡：環状土製品、須恵器13／弥生土器4、石包丁、石包丁未成品、打製石器、	74
鈴鹿市考古博物館 H27.1.24～3.8	平成26年度企画展 「鈴・鈴の音、鐘の音、太古の響き」	下田遺跡：袈裟襷文銅鐸／瓜生堂遺跡：銅鐸型土製品／亀井遺跡：銅鐸型土製品2／溝咋遺跡：銅鈴／粟生間谷遺跡：鈴鋳型	6
弥生文化博物館 H27.1.24～4.19	平成26年度 冬季企画展 「河内の美技心- 考古学研究と船橋遺跡」」	船橋遺跡：砥石2、ガラス小玉鋳型49、ミニチュア坏、坏8、ミニチュア高坏2、高坏2、皿2、棒状土製品2、石製品、製塩土器、小型壺2、直口壺3、羽釜鍔、甑把手、移動式竈、甕4、鍋、鉢2、鉄鉢、タタキ石、坏蓋7、蓋坏身10、はそう3、壺5、横瓶、こね鉢、炉壁、坩堝、鞴羽口4、硯、鉄滓6、塼状土製品3、鉈尾、石製巡方	132
奈良大学博物館 H27.3.中旬～5.中旬	企画展「発掘された古代国家」	難波宮跡：木簡（模造品）11、木簡（レプリカ）2、絵馬（模造品）、土師器3、須恵器7、漆容器（須恵器）9、漆容器（土師器）、濾し布2、柱根2	38
29件			1325

② 常設資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

貸出先	展示等名称	貸出期間	資料名	点数
和泉市いずみの国歴史館	常設展示	H26年4月1日 ～H27年3月31日	福瀬遺跡：墨書皿（寺）、木製弓2、下駄2、鉋台、桶底、椀、雁股式茎鏃、小刀／仏並遺跡：縄文土器（鉢）、縄文土器（深鉢）、土面レプリカ、パネル2／池田寺遺跡：縄文土器（深鉢）、文字瓦（池田・堂）2	16 パネル2
大阪府立弥生文化博物館	常設展示	H26年4月1日 ～H27年3月31日	新家遺跡／瓜生堂遺跡2／巨摩廃寺6／山賀遺跡6／亀井北遺跡／亀井遺跡26／田山遺跡47／西大路遺跡5／脇浜遺跡12／貝掛遺跡9	115
泉佐野市立歴史館いずみさの	常設展示	H26年4月1日 ～H27年3月31日	上町東遺跡；白磁椀2／若宮遺跡：檀波羅密寺銘平瓦8／日置荘遺跡；鉄瓶	11
堺市立みはら歴史館	常設展示	H26年4月1日 ～H27年3月31日	真福寺遺跡：梵鐘鋳型等8、鋳型（外型）用途不明、鋳型（外型）馨、瓦器椀2、東播こね鉢、土師器羽釜、鋳型（外型）鍋2、鞴羽口2、円面硯、梵鐘鋳造遺構切り取り／余部遺跡：馨鋳型2、釜鋳型／太井遺跡：鞴羽口2、統一新羅印花文陶器、延喜通寶3、坩堝4、鞴羽口2、須恵器高杯、丸鞆／さば山古墳：円筒埴輪2、朝顔形埴輪2／丹上遺跡：巡方	1 41
大阪府立狭山池博物館	常設展示	H26年4月1日 ～H27年3月31日	城山遺跡：韓式土器5／日置荘遺跡：青磁椀	6
大阪府立近つ飛鳥博物館	常設展示	H26年4月1日 ～H27年3月31日	久宝寺遺跡6／美園古墳6／小阪遺跡40／日置荘遺跡2	54
吹田市立博物館	常設展示	H26年4月1日 ～H27年3月31日	吹田操車場遺跡：須恵器大甕	1
舞鶴市立赤れんが博物館	常設展示	H26年4月1日 ～H27年3月31日	旧大阪府庁舎跡：煉瓦2	2
太子町立竹内街道 歴史資料館	常設展示	H26年4月1日 ～H27年3月31日	椋谷石切場：土師器杯2、黒色土器鉢、石製品／楠木石切場：須恵器杯、土師器・長頸壺、瓦器椀3、石製品3／田須谷古墳群：土師器皿4、土師器杯4、須恵器蓋3、須恵器杯7、須恵器壷2、須恵器平瓶、鉄釘9、骨製品、銭貨（和同開珎）、石製品5、須恵器杯蓋4、土師器甕、模型	55
堺市博物館	常設展示	H26年4月1日 ～H27年3月31日	大庭寺遺跡TG231：須恵器把手付椀2、須恵器有蓋高坏蓋、須恵器有蓋高坏、須恵器脚台付鉢、須恵器器台、須恵器壺3、軟質系土器平底鉢、軟質系土器甑、船形土器、須恵器坏、須恵器蓋2、須恵器無蓋高坏2、須恵器筒形器台、須恵器高坏形器台、須恵器壺2、須恵器大型甕2、軟質系土器平底鉢、焼き台2／大庭寺遺跡393-OL：甕／須恵器蓋4、須恵器坏身、須恵器有蓋高坏3、須恵器コップ2、須恵器鉢、須恵器有蓋大鉢蓋、須恵器有蓋大鉢、須恵器はそう、須恵器樽形はそう、須恵器筒形器台2、須恵器有蓋付壺、須恵器広口壺、須恵器壺、須恵器中型甕、須恵器用途不明品2／小阪遺跡：土師器甑、土師器高坏、須恵器当て具、須恵器蓋2、須恵器坏身2／日置荘遺跡：円筒埴輪人物埴輪2	60
11 件				364

③ 写真資料の貸出

出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

貸　出　先	使用目的・展示等名称	資　料　名	点数
（株）洋泉社	『歴史REAL　古代天皇陵と巨大古墳の謎』	大庭寺遺跡：TG232号窯　出土土器	1
ランチプレス	浜松商工会議所報「ニューイング」	吹田操車場跡：汽車土瓶2	2
奈良県観光局	「大古事記展」	巨摩遺跡：堅櫛	1
柏原市立歴史資料館	平成26年度夏季企画展 「縄文から弥生へ－船橋遺跡の 縄文絵画土器が語るもの－」	久宝寺遺跡：縄文土器3／田井中遺跡：縄文土器／池島・福万寺遺跡：浮線文系土器／向出遺跡：石棒出土状況	6
朝日新聞出版	週刊朝日百科「新発見・日本の歴史」	讃良郡条里遺跡：縄文土器	1
（公財）八尾市文化財調査研究会	『考古資料からみる八尾の歴史 －旧石器時代～中世まで』	八尾南遺跡：竪穴建物2	2
桃山学院大学　梅山秀幸	『桃山学院大学総合研究所紀要』	仏並遺跡：土製仮面	1
下関市立考古博物館	特別企画展 「青銅器と弥生人のまつり－ 祭具からみた祭にすがた	瓜生堂遺跡：銅戈／下田遺跡：木製柄、環頭付木製品／亀井遺跡：銅鐸形土製品4、分銅形土製品、冠状木製品／山賀遺跡：赤彩文土器	9
大阪大学　市大樹	『飛鳥の木簡』韓国語版	難波宮跡：戊申年木簡（裏表）2	2
寝屋川の歴史と文化を考える会	史跡散策パンフレット	高宮遺跡：総柱掘立柱建物群	1
NHK制作局	「探検バクモン」副題：潜入！ 女の園　メークの奥義	仏並遺跡：土製仮面	1
高槻市立しろあと歴史館	戦国大阪の城	佐保栗栖山砦跡：全景2、土壁、現地説明会風景、竪堀3、通路、砦の出入口、石垣2、建物、礎石建物	13
明石書店	服部静尚著「須恵器編年と前期難波宮」 『古代に真実を求めて 古田史学論集第十七集』	難波宮跡：谷部16層	1

貸　出　先	使用目的・展示等名称	資　料　名	点数
奈良大学入学センター	平成26年度オープンキャンパス事業に伴う講演会・シンポジウム「おしよせる古墳時代の渡来文化」	太秦古墳群：全景、出土遺物集合	2
兵庫県まちづくり技術センター	ひょうごの遺跡　89号	伏尾遺跡：竈・甕・甑使用想定図	1
赤穂市教育委員会	赤穂市立有年考古館 平成26年度特別展『蟻無山古墳の時代－播磨に渡来人きたる－』	大庭寺遺跡：TG232号窯　灰原出土土器、器台	2
枚方市教育委員会市史編さん室	郷土枚方の歴史	讃良郡条里遺跡：突帯文土器、突帯文土器（実測図）、遺構実測図／津田遺跡：深鉢形土器実測図／私部南遺跡：竪穴住居平面図、竪穴住居／上の山遺跡：大型掘立柱建物、大型掘立柱建物平面図、大型掘立柱建物イメージ図／茄子作遺跡：初期須恵器実測図、木器実測図	11
近つ飛鳥博物館	成26年度 夏季企画展「大阪平野はむかし、海だった-海に生きたおおさかの古代人」	久宝寺遺跡：アカ取り、舟形模造品、準構造船の復元模型、準構造船出土状況、準構造船の復原船首、溝に設置された船／湊遺跡：製塩土器、遠景、土器群／下田遺跡：製塩土器、大溝／讃良郡条里遺跡：鉄鏃と釣針、遠景、流路／駒ヶ谷遺跡：製塩土器出土状況／溝咋遺跡：出土製塩土器／小島北磯遺跡：遠景、近景、全景、炉2／亀川遺跡：臼玉出土土坑検出状況／男里遺跡：遠景、大溝、絵画土器／脇浜遺跡：土坑／三田古墳：全景、出土土器、遺物出土状況／大庭寺遺跡：船形土器／田井中遺跡：船形土製品／箱作今池遺跡：蛸壺／西岩田遺跡：タモ枠	33
橿原考古学研究所附属博物館	難波宮と大津宮	難波宮跡：柱穴列2、木簡が出土した谷、木簡4、古代の土器、絵馬、漆容器、漆漉し布	11
姫路市埋蔵文化財センター	企画展「黒田官兵衛　成る」	大坂城跡：調査地と大阪城、人骨、堀83出土瓦	3
株式会社ディーケイ（日本橋三越）	ジャパンセンセス「日本の仮面」	仏並遺跡：土製仮面	1
株式会社　ﾍﾞｽﾄｾﾗｰｽﾞ	歴史人別冊　古代史の謎	巨摩遺跡：堅櫛／亀井遺跡：鉄鏃／瓜生堂・巨摩・西岩田遺跡：木製品集合写真（田下駄、鎌、穂摘具）	3
株式会社　mado	ロジュマン阿倍野文の里（分譲マンション）説明資料	大和川今池遺跡：難波大道の復元	1
葛城歴史博物館	第15回特別展「葛城とヤマトタケル白鳥伝説」	池島福万寺遺跡：コウノトリの足跡2	2
（公財）八尾市文化財調査研究会	やおの古墳時代	久宝寺遺跡：墳墓群の遠景、前方後方墳、石皿・石杵と朱塊、全景、墳墓群、1号墳2、木棺検出状況	8
弥生文化博物館	平成26年度秋季企画展 河内地寶	讃良郡条里遺跡：絵馬2、人面墨書土器、人形3、勾玉3、子持勾玉1／山賀遺跡：木製品、弥生土器、三日月形石製品、勾玉形石製品、鳥形木製品／亀井遺跡：赤色顔料塗布土器、小形ぼう製鏡・貨泉、卜骨、水差形土器、牙製勾玉、壺形土器、細頸壺形土器、水差形土器、蓋、無頸壺形土器、高坏形土器2、鹿角製釣針／瓜生堂遺跡：手焙形土器、貝2、貝化石およびカニ類、／久宝寺遺跡：下段櫃、鼓形器台、土偶、獣形勾玉、手焙形土器／私部南遺跡：ハソウ、把手付平底壺／大和川今池遺跡：筒形器台	40
近つ飛鳥博物館	平成26年度 秋季特別展「箸墓以後　－初期のヤマト王権の成立と展開」	久宝寺遺跡：古墳時代初頭の墳墓群／小阪合遺跡：特殊器台形埴輪	2
茨木市 市史編纂室	新修茨木市史第七巻史料編考古	玉櫛遺跡：全景3、1013土坑2、木製鞍出土状況、鞍／福井遺跡：出土埴輪2／溝咋遺跡：土器集合2、全景4、人面線刻土器、土器棺、柱2、水田跡、水田面足跡2、0面西半部上宮跡、1面西半部上宮跡、2面西半部上宮跡／宿久荘西遺跡：出土遺物、全景西半部、建物31／徳大寺遺跡：遺構検出状況、4、5区最終面検出状況、鋳造土坑全掘状況、鋳造土坑底部近接、遺物出土状況、土坑完掘状況、出土遺物／栗栖山南墳墓群：古墳群全景、石室3、火葬墓、石組全景、墓溝壙全景／佐保栗栖山砦跡：全景、曲輪2、建物2／千提寺西遺跡：縄文土器出土状況	48
箕面市立郷土資料館	小畑遺跡・止々呂美城跡の遺物展	小畑遺跡：調査地遠景2、調査区空中写真、2Ａ・3Ａトレンチ近景2、2Ａトレンチ第3期　1号墓検出状況、32号墓検出、32号墓断面、32号墓遺物出土状況、32号墓完掘、80号墓検出、80号墓木炭検出状況、80号墓完掘、143号墓検出、143号墓断面、143号墓遺物出土状況、143号墓完掘、147号墓4、94号墓3／止々呂美城跡：調査区垂直写真、下止々呂美より余野方面を望む、近景、全景、29土坑炭層検出状況2、29土坑完掘、29土坑近景、29土坑検出状況、29土坑炭層土師皿器出土状況、29土坑上層断面、炭層断面、29土坑骨片・炭化材検出状況、29土坑被熱痕跡、3土坑2、3土坑断面、2土坑遠景3、2土坑土師器皿等出土状況、2土坑石組検出状況3、2土坑土師器皿出土状況2、2土坑下層部断面、2土坑完掘	54
徳島市立考古資料館	馬、かける	讃良郡条里遺跡：鞍、絵馬2	3
NHKエンタープライズ	歴史秘話ﾋｽﾄﾘｱ「真田幸村の激闘～最新研究から探る 大阪夏の陣」	大坂城跡：動物の骨	

貸　出　先	使用目的・展示等名称	資　料　名	点数
和歌山県立紀伊風土記の丘	秋季特別展「須恵器誕生」	大庭寺遺跡：谷底付近の遺物出土状態、大甕、船形土器、TG232号窯、TG232号窯出土土器、遺跡の遠景、灰原の細部の状況、TG232号窯灰原直下層の遺物出土状況、小開析谷393－OL土層断面、全景、TG232号窯灰原遺物出土状況・第Ⅱ層の下層／野々井西遺跡：ON231号窯出土初期須恵器、ON231号窯出土初期須恵器／茄子作遺跡：出土初期須恵器、第2調査（2－1区）北半部／勝部遺跡：調査区遠景、緑地調査区北東部第2面全景	17
カトリック大阪大司教区	「高山右近が導いたキリシタン信仰」	千提寺西遺跡：ハカノマル中世墓の全景、マエノヤマの全景、長方形土坑の石組遺構、長方形土坑の完掘状況、28・30・61土壙出土 土人形、中近世墓の全景、64土壙出土 土人形、中近世墓の全景	8
茨木市教育委員会	シンポジウム発掘! 検証!キリシタン墓- 高山右近とキリシタン-	千提寺西遺跡：3・4区ハカノマル中世墓の全景、中世墓における石仏の出土状況、長方形土坑の人骨出土状況、マエノヤマの全景、長方形土坑の石組遺構、長方形土坑の完掘状況、近世墓の朱塗木棺と人骨、近世墓の出土遺物、28・30・61土壙出土 土人形,人骨・染付の出土状況、中近世墓の全景2、中世墓の遺物出土状況、長方形土坑の遺物出土状況、近世墓の出土遺物（ガラス玉）、中近世墓の重複状況	16
大阪大谷大学　長友朋子	考古調査ハンドブック　弥生土器	亀井遺跡：Cトレンチ	1
松江市スポーツ振興財団	松江城下町遺跡(南田町104-3外) 現地説明会資料	大坂城跡：堀83南西コーナー	1
新泉社	古代をみる眼	美園遺跡：家形埴輪のヘッド状施設部分	1
光文書院	社会科資料集６年	亀井遺跡：臼	1
大阪民主新報社	連載「大坂の陣四○○年『戦国ゲルニカ』が語るもの	大坂城跡：金箔瓦集合	1
国立歴史民俗博物館	平成26年度国際企画展示「文字がつなぐ-古代の日本列島と朝鮮半島-」	大坂城跡：戊申年木簡（表裏）	2
藤沢市 郷土歴史課	大地に刻まれた藤沢の歴史Ⅴ～古代～	地機の部材名称図解	1
日本芸術文化振興会 国立劇場	国立劇場平成27年初春歌舞伎 「南総里見八犬伝」公演解説書	大坂城跡：犬形土製品集合写真	1
太閤なにわ夢募金	豊臣石垣公開プロジェクト・太閤なにわ夢基金の豊臣石垣コラム（ホームページ）	大坂城跡：「僊台武鑑」の大阪冬の陣図、大阪府警本部で発見された堀、発掘された堀断面	3
共同通信 大阪支社	広島県福山市の御領遺跡で出土した構造船の絵画土器に記事の補足資料として	久宝寺遺跡：準構造船復原模型	1
吉川弘文官	仁木宏・福島克彦編『近畿の名城を歩く』 大坂・兵庫・和歌山編	日置荘遺跡：空から見た城郭	1
田原本町教育委員会	唐古・鍵考古学ミュージアム 常設展示室において 「田原本ギャラリー」の解説パネル	八尾南遺跡：南東隅梯子検出状況	1
雄山閣	津軽海峡圏と縄文社会 第Ⅳ章	八尾南遺跡：竪穴建物	1
堺市にぎわい歴史文化プラザ	千利休茶の湯館の常設展示 パネル、タッチパネル	堺環濠都市遺跡：堀濠全景、濠西側断面	2
鈴鹿市考古博物館	平成26年度企画展 「鈴 - 鈴の音、鐘の音、太鼓の響き	下田遺跡：袈裟襷文銅鐸／瓜生堂遺跡：銅鐸形土製品、粟生間谷遺跡：鈴鋳型	3
島根県埋蔵文化財センター	第6回青谷上寺地遺跡フォーラム予稿集 『人・もの・心を運ぶ船青谷上寺地遺跡の交流をさぐる』	久宝寺遺跡：準構造船出土状況、準構造船復原模型	2
箕面市教育委員会	冊子　箕面市民ガイド	小畑遺跡：調査区遠景、1号墓検出状況／止々呂美城址：遠景	3
吉川弘文館	仁木宏・福島克彦編 『近畿の名城を歩く』 大坂・兵庫・和歌山編	佐保栗栖山砦跡：全景	1
弥生文化博物館	常設展示リニューアル	池島福万寺遺跡：人の足跡列2	2
ＮＨＫ大阪放送局	ニューステラス関西 『残したかんさい企画』	亀井遺跡：ガラス玉・管玉	1
戒光祥出版株式会社	図解　近畿の城郭Ⅱ	日置荘遺跡：全景、城郭の内部	2
堺市にぎわい歴史文化プラザ	常設展示・図録	堺環濠都市遺跡：堀濠全景、濠西側断面	2
松戸市博物館	松戸市史 上巻(改訂版)原始・古代・中世	大庭寺遺跡：灰原出土土器集合	1
株式会社雄山閣	『季刊考古学』第131号	八尾南遺跡：竪穴建物	1
新潮社	豊臣大坂城（仮）	大坂城：木樋を用いた仮設道路、埋戻し公使に使役されたと思われる牛馬の骨、放り込まれた人骨、ムシロにくるまれた老女の遺体、大坂城垂直写真、軒丸瓦、大阪府庁周辺の築城期からの返還、木簡（実測図）、全景、豊臣前期の礎石建物、堀底の畝障子、木簡、	12
ＫＫベストセラーズ	月刊『歴史人』H27年４月号	大坂城跡：堀83南半部、堀83（堀の底は凸凹）	2
（株）フィフス・ディメンションン	『EPTA』71号	讃良郡条里遺跡：絵馬	1

貸　出　先	使用目的・展示等名称	資　料　名	点数
近つ飛鳥博物館	平成26年度冬季企画展 「歴史発掘おおさか　2014」	止々呂美遺跡:近景、全景／千提寺南遺跡:全景、土坑出土縄文土器、出土石器、215土坑検出状況／福井遺跡:出土埴輪2／成合遺跡:成合西王寺山窯跡、窯跡出土須恵器集合、刻書須恵器／田井中遺跡:全景、土器検出状況	13
弥生文化博物館	平成26年度 冬季企画展 「河内の美・技・心- 考古学研究と船橋遺跡」」	船橋遺跡:出土遺物、飛鳥時代工芸生産遺物、住居出土遺物、住居床面検出、住居周辺、、住居最上層除去後2、ガラス小玉鋳型出土状況、ガラス小玉鋳型2、壺2	12
同成社	古代王権の形成と埴輪生産	勝部遺跡:流路、壺形土器／久宝寺遺跡:壺型土器／亀井遺跡:壺形土器	4
奈良大学博物館	奈良大学企画展 『発掘された古代国家』パネル・図録	大坂城跡:柱列190	1
堺市文化財課	史跡黒姫山古墳歴史の広場　説明板掲載	太井遺跡:I調査区と黒姫山古墳、黒姫山古墳周辺の古墳と地形(図)、さば山古墳(図)	3
株式会社メディアックス	徳川家康の生涯と真田一族～宿命～	大坂城跡:「僊台武鑑」の大阪冬の陣図	1
新風書房	季刊誌『大阪春秋』158号	大坂城跡:墓2	2
ぎょうせい	(仮)やさしい八尾市史	久宝寺遺跡:出土した準構造船	1
三猿舎	洋泉社刊『邪馬台国の実像』	亀井遺跡:石製分銅集合	1
新泉社	倭国乱とは何か』	巨摩遺跡:木製穂積具2	2
有限会社 キュー	わたしたちのくらしとエネルギー	瓜生堂遺跡:甕	1
小学館	『日本の美術全集』第１巻	山賀遺跡:彩文壷形土器／亀井遺跡:冠状木製品	2
四條畷市立歴史資料館	第29回特別展「まじないと人」	讃良郡条里遺跡:遠景、全景、人面墨書土器集合、絵馬出土状況、人形出土状況3、獣骨出土状況、人面墨書土器2、絵馬2、人形3、斎串2／小路遺跡:人面墨書土器7、第2面、遺物出土状況、人面墨書土器集合／高宮遺跡:土壙墓2	29
高槻市立今城塚古代歴史館	平成26年度秋季特別展 「古墳時代の船と水運」	久宝寺遺跡:準構造船復元船首、準構造船復原模型、アカ取り、船形木製品、船舶先、船材検出状況／田井中遺跡:舟形土製品	7
尼崎市立田能資料館	第44回特別展 「弥生の食べ物」	山賀遺跡:竹製筌出土状況、黒漆塗丸木弓片、中にイネ科の植物がびっしりと付着した壺、中にイネ科の植物がびっしりと付着した壺の頸部内面、中にイネ科の植物がびっしりと付着した壺の炭化物、動物遺体／亀井遺跡:動物遺体2、ウニ、クジラの骨、鹿骨製ヤス2、鹿角製釣針、シカの落角／西岩田遺跡:木製浮子、舟形木製品／新家遺跡:舟片、舟形木製品／東奈良遺跡:舟形土製品／久宝寺遺跡:絵画土器／池島・福万寺遺跡:コウノトリの足跡(石膏型)	20
堺市立みはら博物館	特別展 「河内鋳物師の誇り－ 鍋・釜づくりの名人たち」	日置荘遺跡:空から見た余部日置荘遺跡、空から見た城郭、中世の村と萩原寺、溝に囲まれた屋敷2、炉跡がみつかったＩ地区、鉄を溶かす炉の跡、トレンチ東半分土坑群、トレンチ全景、磬の鋳型、飾り金具、中国製天目茶碗、僧形像頭部、常滑焼こね鉢、常滑焼甕、瀬戸・美濃焼水滴、羽釜の鋳型、鉄瓶2、瀬戸内系陶器壺3、福弁蓮華文梵字軒丸瓦3、福弁蓮華文梵字軒平瓦、南無阿弥陀仏軒丸瓦2／余部遺跡:全景／真福寺遺跡:鉄鍋の鋳型と鉄鍋複製品	30
大阪歴史博物館	特別展 「大坂－考古学が語る近世都市－」	大坂城跡:木簡2、桿秤、箱・桿、瓶	5
安土城考古博物館	第50回記念企画展 「人ノ性、酒ヲ嗜ム－神を招き、人を結ぶ」	大庭寺遺跡:川から出土した初期須恵器	1
神戸市教育委員会	大地に刻まれた災害史	美園遺跡:全景、遺物出土状態細部、高熱で変形した土器2	4
80件			497

（２）出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

（３）図書の出版・販売

① 発掘調査報告書等の出版

平成26年度は、下記の図書を出版した。

1 吹田操車場遺跡10・明和池３遺跡
2 田井中遺跡３
3 総持寺遺跡３
4 成合遺跡・金龍寺旧境内跡２
5 讃良郡条里遺跡
6 大坂城跡４
7 大坂城跡５
8 井尻遺跡
9 大阪文化財研究 第44号
10 大阪文化財研究 第45号
11 大阪文化財研究 第46号
12 芹生谷遺跡Ⅳ
13 寺田遺跡 Ⅳ
14 東奈良遺跡
15 安威城跡Ⅲ
16 和泉寺跡・府中遺跡Ⅲ
17 狭山藩陣屋跡 Ⅱ
18 鳩原遺跡他発掘調査概要
19 鳩原東端遺跡発掘調査概要
20 大阪府教育委員会文化財調査事務所年報18

※ 12から20については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

② 発掘調査報告書等の販売

平成26年度は、次のとおり販売した。

販売総数 963 冊

9　保存処理事業

（1）平成26年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺　跡　名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連	木製品	整理・点検	200点
大坂城跡	木製品	整理・点検	200点
池島福万寺遺跡	木製品	整理・点検	200点
讃良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD 処理	100点
大坂城跡13	木製品	PEG-FD 処理	120点
大坂城跡Ⅲ	木製品	PEG-FD 処理	50点
私部南遺跡	木製品	PEG-FD 処理	50点
玉櫛遺跡	木製品	PEG-FD 処理	40点
池島福万寺遺跡	木製品	PEG-FD 処理	20点
総持寺遺跡	木製品	PEG-FD 処理	10点
大坂城跡13	金属遺物	アクリル樹脂処理	10点
成合地獄谷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	100点
千提寺西遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	600点
花屋敷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	5000点
明和池遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ５箱
吹田操車場遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ５箱
大県郡条里遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ５箱
田井中遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
Ｘ線調査	各種遺物	Ｘ線透視撮影	金属・有機遺物　100 点

PEG: ポリエチレングリコール　FD: 真空凍結乾燥を示す。

Ⅴ　大阪府立弥生文化博物館事業

１　常設展示

（１）第１展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米づくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「交流」、「死とまつり」、「弥生人」の６つのテーマゾーン、全国各地の弥生文化を紹介する弥生プラザの３つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示した。

弥生プラザは、各地の弥生文化を代表する遺跡から出土した注目される資料を展示するコーナー。

＜弥生プラザ展示＞

「雁屋遺跡　北河内の弥生時代拠点集落」

平成26年３月４日（火）～平成27年１月30日（金）

（２）第２展示室

「池上曽根ワールド」という名称で、池上曽根遺跡から出土した資料を展示した。

（３）リニューアル

常設展示室のリニューアルを実施し、平成27年３月、「卑弥呼と出会う博物館」をコンセプトとしてリニューアルオープンした。第１展示室には、鏡を掲げ持つ卑弥呼像をシンボルとして展示し、卑弥呼の時代前後の鏡、卑弥呼ゆかりの復元品とあわせて ”卑弥呼と出会う” コーナーとした。第２展示室には、博物館周辺の弥生遺跡マップを設置し、池上曽根遺跡のガイダンス機能をさらに高めた。その他、デジタル情報端末の増設、サロン、エントランスホールの展示模様替え等を行い、全国唯一の弥生時代専門博物館として、最新の調査や研究成果を取り入れ、展示を充実させた。

２　特展企画展事業

（１）春季特別展「縄文！岩手 10000 年のたび」　【入館者数：12,122名　242名／日】

ア．開催概要　岩手県教育委員会所蔵資料を通じて１万年をタイムトラベル！土器、土偶、アクセサリーなど、ユニークなものばかり。震災復興にともなう発掘、調査についても紹介した。

イ．開催期間　平成26年５月３日（土祝）～６月29日（日）　【会期：50日間】

ウ．印刷物　図録、リーフレット

エ．展示解説　特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

実施日：５月17日（土）90名、５月31日（土）68名、６月14日（土）75名、
６月28日（土）68名　【参加者数：計301名】

（２）夏季特別展「遥かなるメソポタミアー時空を超えたヒトの営みー」

【入館者数：9558名　203名／日】

ア．開催概要　長年にわたってシリアでの発掘調査を進めてきた古代オリエント博物館（東京

都池袋）の協力を得て、紀元前のメソポタミアの考古資料、模型類を展示した。
また、国内の考古資料を合わせて展示することで、洋の東西をこえた物質文化の比較を行った。

イ．開催期間　平成26年７月８日（火）～８月31日(日)　【会期：47日間】

ウ．印 刷 物　図録、リーフレット、解説シート

エ．展示解説　特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。
７月12日（土）64名、７月19日（土）52名、７月26日（土）50名、
８月２日（土)25名、８月23日（土）48名、８月24日（日）50名、
８月31日（日）43名　【参加者数：332名】

（３）秋季特別展　摂河泉シリーズ２「河内地寶」　【入館者数：15,248名　201名／日】

ア．開催概要　古代王権の揺籃の地、大阪を考古学的に読み解く摂河泉シリーズ第２弾。古くは瀬戸内海・大阪湾とつながった沿岸部であり、人びとが集い、文化が交差する場であった河内。
「地の宝」である考古資料を、当時の生活の情景ごとに切り取って紹介した。
本展は、「日本発掘－発掘された日本列島2014－」の地域展として開催した。

イ．開催期間　平成26年９月17日（水）～12月14日（日）　【会期：76日間】

ウ．印 刷 物　図録

エ．展示解説　特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。
９月27日（土）22名、10月11日（土）25名、10月18日（土）36名、
11月15日（土）41名、11月29日（土）23名、12月13日（土）23名
【参加者数：合計170名】

（４）冬季企画展「河内の美・技・心－考古学研究と船橋遺跡－」

【入館者数：13,432名　249名／日】

ア．開催概要　現大和川の河床に散らばるたくさんの土器が発見されたのは、20世紀前半のこと。柏原市と藤井寺市にまたがるこの地点は船橋遺跡と呼ばれるようになり、その後の探索や発掘によって、旧石器時代から室町時代までの多種多様な遺物が良好な状態でみつかった。本展では、当館が所蔵する船橋遺跡の資料を中心に、船橋遺跡の学史的意義やそこに生きた人々の「美・技・心」に迫った。

イ．開催期間　平成27年１月24日（土）～４月19日（日）　【会期：57日間】
※入館者数、会期日数は平成27年３月31日（火）迄の集計

ウ．印 刷 物　図録

エ．展示解説　特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。
１月31日（土）40名、２月14日（土）31名、２月28日（土）29名、
３月14日（土）18名　【参加者数：合計118名】

（５）その他展示事業

①　春季企画展示「炎・炭・土の芸術－信太窯20年の歩み－」　【参加者数：5,842名　292名／日】

ア．開催概要　和泉市の信太山丘陵で20年にわたり作陶活動を続けている、陶芸家・坂上竹造氏の炭で焼き締める手法によって作られた作品を展示した。

イ．開催期間　　平成26年４月５日（土）～４月27日（日）　　【会期：20日間】

３　講演会事業等

（１）春季特別展「縄文！岩手10000年のたび」関連

①　考古学セミナー

・５月17日（土）　「縄文の世界」　【参加者数：198名】
　　國學院大學名誉教授　小林達雄氏

・５月31日（土）　「岩手の縄文遺跡を掘って考えた」　【参加者数：190名】
　　(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター　高木　晃氏

・６月14日（土）　「縄文時代後期の遺跡と社会」　【参加者数：241名】
　　盛岡大学文学部教授　熊谷常正氏

・６月28日（土）　「岩手県での発掘調査－震災復興のために－」　【参加者数：169名】
　　(公財)大阪府文化財センター　課長補佐　三好孝一氏
　　大阪府立近つ飛鳥博物館総括学芸員　廣瀬時習氏

（２）夏季特別展「遥かなるメソポタミア」関連

①　考古学セミナー

・７月12日（土）　「時の積層－シリアでテルを掘る－」　【参加者数：140名】
　　古代オリエント博物館研究員　下釜和也氏

・７月19日（土）　愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター　研究報告会【参加者数：273名】
　　古代ユーラシア大陸のアイアン・ロード－鉄の歴史を探る－
　　「ユーラシアにおける鉄の起源と伝播」
　　「中国漢代の製鉄遺跡を掘る－蜀の遺跡を中心に－」
　　愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター・センター長　村上恭通氏
　　「トルコ・カマンカレホユック発掘調査参加記－最古の鉄との遭遇－」
　　愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター講師　槙林啓介氏
　　「匈奴と鉄－モンゴルの発掘成果を中心に－」
　　愛媛大学法文学部准教授　笹田朋孝氏

・７月26日（土）　日本西アジア考古学会　特別講演会　【参加者数：134名】
　　「メソポタミアへの再接近－遺跡調査の現場から－」
　　東京大学総合研究博物館特任研究員　小髙敬寛氏

・８月９日（土）　メソポタミア展開催記念講演会＆ミニシンポジウム　【参加者数：121名】
　　古代オリエント－その叡智と文化－
　　「ハムラビ法典作成の目的とその現代的意義」
　　古代オリエント博物館館長　中田一郎氏
　　「トルコ・キュルテペ遺跡の世界遺産登録に向けて」
　　ノートルダム清心女子大学教授　紺谷亮一氏
　　「シリア・パルミラの死生観」
　　奈良県立橿原考古学研究所技術アドバイザー　西藤清秀氏

② 関連ワークショップ

・８月３日（日）　「シリアの民族衣装を着てみよう！」
「オリエントの彩文土器×弥生土器　土器パズル」
「円筒印章をおしてみよう」　【参加者数：88名】

・８月23日（土）　「民族衣装を着てみよう！」
「オリエントの彩文土器×弥生土器　土器パズル」
「円筒印章をおしてみよう」「恐竜「アンズーワイリエイ」を知ろう！」
「メソポタミアな！プラ板キーホルダーづくり」　【参加者数：567名】

・８月24日（日）　「民族衣装を着てみよう！」
「オリエントの彩文土器×弥生土器　土器パズル」
「円筒印章をおしてみよう」「恐竜「アンズーワイリエイ」を知ろう！」
「メソポタミアな！プラ板キーホルダーづくり」「石をみがこう！」
「大昔の生き物のおはなしと化石レプリカづくり」　【参加者数：848名】

（３）秋季特別展「河内地寶」関連

① 考古学セミナー　「オールネイティブでおとどけする河内文化の魅力」

・９月27日（土）　「〈河内の土器〉のちから、縄文～平安－ミステリー・マジック・ミラクル３題－」
当館副館長兼学芸課長　秋山浩三　【参加者数：117名】

・10月11日（土）　「河内の弥生文化」
大阪大谷大学准教授　長友朋子　【参加者数：150名】

・10月18日（土）　「古市古墳群と河内の古墳時代」
大阪国際大学国際コミュニケーション学部教授　笠井敏光氏
【参加者数：161名】

・11月15日（土）　「河内の古代寺院・官衙と交通路」
近畿大学文芸学部教授　網　伸也氏　【参加者数：160名】

・11月29日（土）　「発掘された村・町・城からみた河内の中世」
大阪樟蔭女子大学学芸学部教授　佐久間貴士氏　【参加者数：124名】

・12月13日（土）　「河内から世界遺産を！－文化遺産と考古学を楽しもう－」
元大阪国際大学教授／
（公財）向日市埋蔵文化財センター理事長　杉原和雄氏【参加者数：111名】

② 関連ワークショップ

・11月16日（日）　「描いて、つけて、古代人になろう！」　【参加者数：86名】

・12月６日（土）　講座＆制作体験「古代の技に学ぶ石器づくり」　【参加者数：26名】

（４）冬季企画展「河内の美・技・心－考古学研究と船橋遺跡－」関連

① 考古学セミナー

・１月31日（土）　「考古学・古代学史にかがやく船橋遺跡」　【参加者数：161名】
柏原市立歴史資料館館長　安村俊史氏

・２月14日（土）　「新展開をみせる船橋遺跡の発掘」　【参加者数：160名】
（公財）鳥取県教育文化財団文化財主事　正岡大実氏

・２月28日（土）　「縄文人の心－土偶の研究と船橋遺跡－」　【参加者数：163名】
大阪府立狭山池博物館学芸課長　大野　薫氏
・３月14日（土）　「弥生人の美－土器の研究と船橋遺跡－」　【参加者数：155名】
(公財)大阪府文化財センター調査第一課長補佐　三好孝一氏
・４月４日（土）　「古代人の技－帯金具の研究と船橋遺跡－」　【27年度実施予定】
当館副館長兼学芸課長　秋山浩三
・４月18日（土）　「仏教の美・技・心－寺院・屋瓦の研究と船橋遺跡(廃寺)－」
【27年度実施予定】
藤井寺市教育委員会教育部文化財保護課課長　上田　睦氏

（５）スポット展示

「変革期の須恵器窯－成合遺跡の調査結果－」　４月８日（火）～４月29日（火・祝）
【参加者数：5,980名】

講演会＆ミニシンポジウム「成合須恵器の系譜」　４月19日（土）
「新たに見つかった須恵器の窯－成合遺跡の調査成果と平安京遷都前後の須恵器生産－」
(公財)大阪府文化財センター　笹栗　拓氏
「須恵器から現代陶器まで」　当館学芸員　瀬尾晶太
「成合窯で焼かれた須恵器はいつどこで使われたか－長岡京・山城地域窯の製品との比較検討から－」　当館副館長兼学芸課長　秋山浩三　【参加者数：90名】

（６）弥生プラザ講演会＆シンポジウム

講演会＆ミニシンポジウム「雁屋遺跡の研究成果〈再発見〉」　４月26日（土）
「雁屋遺跡　四條畷高校の発掘調査」　大阪府教育委員会　辻本　武氏
「弥生研究に大きく貢献した雁屋遺跡の成果総覧」　四條畷市立歴史民俗資料館　野島　稔氏
「弥生土器の色とマツリ－雁屋遺跡から追究する「赤い器台」「白い器台」「黒い器台」－」
当館副館長兼学芸課長　秋山浩三　【参加者数：131 名】

（７）弥生時代講座　聞いてなっとく弥生の世界（近畿弥生の会との共催）

・５月10日（土）　「弥生文化は渡来文化か」
(独法)奈良文化財研究所都城発掘調査部研究員　庄田慎矢　【参加者数：93名】
・８月30日（土）　「井泉のまつり」
(公財)京都府埋蔵文化財調査研究センター主任　高野陽子氏【参加者数：85名】
・11月８日（土）　「青銅器生産からみる弥生社会」
彦根市教育委員会文化財課副主査　戸塚洋輔氏　【参加者数：62名】
・１月17日（土）　「播磨における古墳時代前夜の集落」
姫路市教育委員会文化財課技術主任　福井　優氏　【参加者数：71名】
【４回参加者数　計311名】

（８）弥生博　木曜大学

前半講義テーマ　「世界のなかの縄文・弥生～東西の新石器文化を訪ね、考え、比較する～」
講師　当館館長　黒崎　直（◇印）、当館副館長　秋山浩三（◇印以外）

・６月５日（木）　「なぜ世界史と比べるのか－特別展《遥かなるメソポタミア》へ向けて－」
【参加者数：140名】
・６月12日（木）　「英国・イングランド」　【参加者数：145名】
・６月19日（木）　「英国・スコットランド」　【参加者数：148名】
・６月26日（木）　「愛国（アイルランド）・ボイン川流域」　【参加者数：156名】
・７月３日（木）　「仏国・ブルターニュ地方」　【参加者数：128名】
・７月10日（木）　「中国・黄河流域」　【参加者数：123名】
・７月17日（木）　「中国・長江流域」　【参加者数：153名】
・７月24日（木）　「考古学者チャイルドの〈都市革命〉と弥生都市論」　【参加者数：134名】
・７月31日（木）　「世界のなかの縄文・弥生文化」　◇　【参加者数：176名】
後半講義テーマ　「陰陽道・安倍晴明ブームを考える
～弥生博ご当地・信太山（信太の森）からお届けする特殊講義～」
講師　当館館長　黒崎　直（◇印）、当館副館長　秋山浩三（◇印以外）
・８月21日（木）　「古代の呪的遺品－おどろおどろし考古資料の世界－」【参加者数：181名】
・８月28日（木）　「安倍晴明・陰陽道ブームの光と影」　【参加者数：191名】
・９月４日（木）　「今に残る陰陽道のマツリ」　【参加者数：181名】
・９月11日（木）　「考古学から追究する陰陽道の歴史性」　【参加者数：191名】
・９月18日（木）　「その後の陰陽道にかかわる動向」　【参加者数：163名】
・９月25日（木）　「特別展《河内地寶》の陰陽道木簡・呪術的遺物を極める」　◇
【参加者数：157名】

（９）若き考古学徒、論壇デビュー！

第１回　２月７日（土）　【参加者数：70名】
「古代エジプトの聖牛崇拝について」
近畿大学大学院修士課程２年　中井健太氏
「技術的変化からみた竪穴式石槨の定型化と分布的検討」
関西大学大学院博士課程後期課程３年次　山田　暁氏
第２回　２月21日（土）　【参加者数：96名】
「弥生時代中期後葉～後期における尾張の社会変化と周辺地域への伸張」
大阪市立大学大学院前期博士課程１年　佐藤梨花氏
「古墳時代成立期における太平洋沿岸ルートの検討－西日本を中心に－」
大阪大学大学院博士前期課程２回生　竹内裕貴氏
「四国東部の積石塚と葺石を持つ古墳－大和の事例との関連性－」
関西大学４回生　吉田あかね氏
第３回　３月21日（土）　【参加者数：79名】
「近畿地方における後期旧石器時代後半期の小型ナイフ形石器について」
関西大学大学院博士課程前期課程２年次　渡邊貴亮氏
「円筒埴輪からみた古市・百舌鳥古墳群における階層性」
大阪大学４回生　木村　理氏

(10) 「めおと de 考古学」2014

第１回　11月22日（土）　【参加者数：49名】

「弥生時代のマツリ」　寺前夫妻

（駒澤大学文学部准教授　寺前直人／国分寺市教育委員会　寺前めぐみ）

第２回　２月22日（日）　【参加者数：75名】

「邪馬台国時代の土器と集落」　青木夫妻

（天理市教育委員会　青木勘時／奈良県文化振興課　小池香津江）

(11) 常設展示室リニューアル関連

・３月３日（火）　常設展示室リニューアル記念式典・同展示解説　【参加者数：99名】

・３月３日（火）　特別展示室（冬季企画展）展示解説　【参加者数：28名】

・３月７日（土）　記念シンポジウム「卑弥呼と出会う博物館」　【参加者数：208名】

「弥生時代研究と弥生博」　当館名誉館長　金関　恕

「弥生博と卑弥呼」　文化庁文化財部記念物課　禰冝田佳男氏

「なぜいま卑弥呼なのか」　大阪府立近つ飛鳥博物館館長　白石太一郎氏

「謎のベールを脱ぐ卑弥呼」　当館館長　黒崎　直氏

「弥生博と邪馬台国」　(公財)大阪府文化財センター　江浦　洋氏

年間パスポート所持者限定「バックヤードツアー」

・３月５日（木）16名、３月12日（木）７名、３月21日（土）７名　【参加者数：30名】

(12) 弥生フェスティバル連続講演会　「いま甦る 卑弥呼の衣・食・飾」

・３月27日（金）　「卑弥呼の宝石箱－弥生のかざり－」　【参加者数：87名】

大阪府立狭山池博物館　渡邊昌宏氏

・３月28日（土）　「卑弥呼の食卓－弥生のたべもの－」　【参加者数：76名】

大阪府教育委員会　宮野淳一氏

・３月29日（日）　「卑弥呼の衣装－弥生のきもの－」　【参加者数：68名】

天理大学　酒野晶子氏

(13) その他

①５月22日（木）　新旧学芸員承継ミニシンポジウム　【参加人数：62名】

「東日本における弥生時代の武器形石器」　瀬尾晶太（新任学芸員）

「文化財をまもり、伝える－建造物彩色修理を中心に－」

北原翔子（新任学芸員）

「お世話になった皆様へ－東北の大地から－」《ビデオレター》

佐藤直紀氏（(公財）岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター、

元当館学芸員）

「「学芸員」10年の区切り」角南なつみ（当館学芸員）

《トーク》コーディネーター　：柴田妃三光（当館学芸員）

②11月３日（月祝）　文化の日特別企画　水野正好さん講演会「倭国王卑弥呼と女王国」

奈良大学名誉教授　水野正好氏　【参加者数：293名】

4　「府民が参加する博物館」事業

（1）やよいミュージアムコンサート

エントランスホールでコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会が行った。

運営委員：安井柾雄（ヴァイオリン）、稲本　直（コンサート企画）、田中寛治（社会教育）

・4月13日（日）　「箏・三弦・尺八による春爛漫コンサート」　【参加者数：171名】
邦楽合奏団「地湧」（箏・三弦・尺八）

・5月11日（日）　「音楽で奏でるロシアおとぎ話の世界」　【参加者数：177名】
目　華子（ピアノ）、小阪和美（フルート）

・5月18日（日）　「初夏に聴く幻想の調べ」　【参加者数：195名】
chouchou ：農頭奈緒（ヴァイオリン）、佐々木美香（ハープ）、
中右奈美（フルート）

・5月25日（日）　「83歳アマチュアテナー人生を歌う」　【参加者数：302名】
杉原良二(テノール)

・6月1日（日）　「L'harmonieRecital～フルートとピアノ、魅惑の音色～」　【参加者数：211名】
樋口　藍（フルート）、小幡文香（ピアノ）

・6月29日（日）　「フルートパーティー」　【参加者数：226名】
フルートアンサンブル　エスカル（フルート）

・7月13日（日）　「音楽物語～夏のまぼろし～」　【参加者数：188名】
大城梨花（フルート）、大城杏花（ピアノ）

・7月27日（日）　「テューバ・セレナーデ」　【参加者数：167名】
山家谷憲司（テューバ）、比果沙織（ピアノ伴奏）

・8月17日（日）　「夏の日、燦燦コンサート～古典からビートルズまで珠玉の音楽万華鏡～」
【参加者数：206名】
デュオ・インティモ PLUS ：米倉典子（ピアノ）、
水藻俊明（フルート）、中澤　保（バスーン）

・8月31日（日）　「癒し音たまて箱～風に乗って～」　【参加者数：249名】
びばる～ん：井谷清子（カリンバ）、高橋公世（オカリナ）、
堀内徹三（チェロ）

・9月7日（日）　「Musik Blomster～音楽の花々～フルート＆ピアノデュオコンサート」
【参加者数：156名】
前田みさと（フルート）、黒木　舞（ピアノ）

・9月21日（日）　「バイオリンVSフィドル　クラシックと Russian'Traditionalを
同時に楽しむ方法」　【参加者数：265名】
アンサンブル大阪とアンサンブルバラノチカと井阪あゆみ

・9月28日（日）　「うきうき楽しいオカリナアンサンブル－弥生の音色にのせて－」
【参加者数：146名】
オカリナアンサンブル『ぴくにっく』：竹田正俊・野田佳子・
西岡昭彦・田中理子・小川知子

・10月4日（土）　トワイライトコンサート　「シャンソンコンサート～秋、今宵あなたと～」

豊岡厚惠（歌手）、粟田清隆（ピアノ）　【参加者数：108名】

・10月19日（日）　「風と木の調べ」　【参加者数：116名】

KCO室内アンサンブル：高橋夏樹（フルート）、政次知己（オーボエ）、大沼正史（クラリネット）、西島直子（ファゴット）、石谷亮介（ホルン）

・11月９日（日）　「２台のピアノによるコンサート「My Favorite　Things」Piano×Piano」　【参加者数：179名】

武田友子・佐々木美絵・豊田佳代子・吉田　薫・仲西洋子（ピアノ）

・11月23日（日）　「秋の午後のひととき～心に響く鐘の音～」　【参加者数：171名】

田中慈子（ピアノ）

・12月14日（日）　「天使の響き～ハンドベルコンサート～ part８」　【参加者数：143名】

ドリーム21ハンドベル教室

・12月21日（日）　「ロマンスⅢ～前田みねりヴァイオリンコンサート～」【参加者数：226名】

前田みねり（ヴァイオリン）

・１月11日（日）　「春を呼ぶ津軽の弦と歌声」　【参加者数：219名】

亀谷英明・亀谷達也・亀谷千香子・柴田雅朗・太田志乃（津軽三味線・民謡）

・１月25日（日）　「ピアノでめぐる世界の旅へようこそ！～Piano　Duo　Concert～」　【参加者数：188名】

増成春奈・川添衣利（ピアノ連弾）

・３月８日（日）　「Guten　Appetit～どうぞ召し上がれ～」　【参加者数：156名】

浅野純加・西尾有加・野口　歩（ソプラノ）、竹田奈津（ピアノ）

・３月15日（日）　「いにしえの風～17世紀イタリア音楽の夜明け～」　【参加者数：192名】

IL FIORE（イル・フィオーレ）：笹山晶子（ソプラノ）、上田浩之（ヴァイオリン）、河内知子（ヴァイオリン）、太田賀之（ヴィオラ・ダ・ガンバ）、山下佐智子（チェンバロ）

・３月22日（日）　「魅惑のピアノクインテット」　【参加者数：203名】

リバールジュピアノ五重奏：植田祐加里（ピアノ）、田久保友妃（ヴァイオリン）、福本聖子（ヴァイオリン）、小間久子（ヴィオラ）、竹中裕深（チェロ）

（２）ミニギャラリー

エントランスホールで絵画等の展示を行った。

①　７月15日（火）～７月26日（土）　「潮見満英　ぼく画展－祇園祭と大阪の干支－」　【入館者数：1,924名】

②　８月２日（土）～８月16日（土）　「第19回卑弥呼の時代を描こう絵画コンテスト優秀作品展」　【入館者数：2,226名】

③　10月21日（火）～11月３日（月祝）「川上通夫個展「島旅の絵＋島だより」」　【入館者数：6,882名】

④　11月11日（火）～11月22日（土）　「やよいず絵画展」　【入館者数：1,645名】

⑤　12月２日（火）～12月13日（土）「過去（むかし）を甦らせる遺跡イラスト画の力－

佐野喜美　原画展－」　【入館者数：1,009名】

⑥　12月７日（日）　講演会＆ミニシンポジウム　【参加者数：89名】

「過去（むかし）と現在（いま）をつなぐ遺跡イラスト画の世界」

「遺跡イラスト画でみる畷の歴史」

四條畷市教育委員会　村上　始氏

「私がかかわった北河内の遺跡イラスト画、そして、池上曽根」

当館副館長兼学芸課長　秋山浩三

「遺跡の保存活用と遺跡イラスト画～妻木晩田遺跡の事例から～」

関西外国語大学英語国際学部教授　佐古和枝氏

《トーク》「過去と現在をつなぐ遺跡イラスト画の世界」　司会：当館学芸員　北原翔子

⑦　１月14日（水）～１月24日（土）「佐藤未知子個展「いにしえの雪」」【入館者数：687名】

（３）第19回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

小中学生から弥生時代をイメージした絵を募集し、優秀作品を当博物館エントランスホールで８月２日（土）から８月16日（土）まで展示した。　【入館者数：2,226名】

審査員：小灘一紀氏（画家・日展評議員）、上田正克氏（元泉大津市立浜小学校校長）

①　応募期間：５月27日（火）～６月29日（日）

②　応募点数：493点

③　表 彰 式：８月２日（土）

金賞「神のおつげ」　谷　承子（豊中市立西丘小学校５年）

金賞「やよいじだい」　吉田椿裟（和泉市立鶴山台南小学校６年）

銀賞２点、銅賞２点、佳作10点を含む入賞63点

（４）ボランティア活動

ワークショップ協力、展示室巡回、書庫整理、障がい者来館補助、翻訳等の分野で活動を行った。

【活動日数：120日　協力者数：238名】

４月「道具作り」、「団体にむけてのワークシートや展示室解説」、「展示室巡視」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもＦＤ（米つき体験）」　【活動日数：13日　協力者数：42名】

５月「道具作り」、「展示室巡視」、「土器・銅鐸パズル」、「ボランティア春季特別展の特別解説」　【活動日数：12日　協力者数：22名】

６月「道具作り」、「展示室巡回」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもFD（弓矢体験）」、「講演会準備作業」　【活動日数：11日　協力者数：17名】

７月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもＦＤ（火おこし）」、「絵画コンテスト準備」、「ボランティア夏季特別展の特別解説」

【活動日数：11日　協力者数：20名】

８月「音☆楽市　土器・銅鐸パズル」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもＦＤ(鳥形紙ひこうき)」、「夏休みフェスタ！土器パズル」、「道具作り」　【活動日数：８日　協力者数：12名】

９月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「大阪府立中央図書館　土器・銅鐸パズル」、「ボランティア秋季特別展の特別解説」　【活動日数：９日　協力者数：17名】

10月「道具作り」、「土器・銅鐸パズル」、「音☆楽市　土器・銅鐸パズル」、

「和泉市商工まつり　土器・銅鐸パズル」、「子どもＦＤ（米つき体験）」、
「絵画コンテスト返却準備」　【活動日数：11日　協力者数：15名】

11月「道具づくり」、「土器・銅鐸パズル」、「まが玉をみがこう」、
「子どもＦＤ（石器を使ってみよう）」、「関西文化の日　土器・銅鐸パズル」、
「JAいずみの農業まつり　土器・銅鐸パズル」　【活動日数：７日　協力者数：13名】

12月「Let's弥生体験準備／実施」、「土器・銅鐸パズル」、「子どもＦＤ（弓矢）」、
「秋季特別展 WS 講座＆製作体験「古代の技に学ぶ石器づくり」
【活動日数：８日　協力者数：11名】

１月「道具作り」、「Let's弥生体験」、「子どもＦＤ（火おこし）」、「道具づくり」、
「ちらし逓送準備」、「冬の弥生ミュージアム！土器・銅鐸パズル等体験サポート」
【活動日数：９日　協力者数：20名】

２月「考古学カードに関する業務」、「土器・銅鐸パズル」、「道具づくり」、
「ボランティア冬季企画展の特別解説」、
「冬のやよいミュージアム！土器・銅鐸パズル等体験サポート」、
「Let's弥生体験・子どもＦＤ（土器に触れてみよう）サポート」、
「団体利用案内の逓送準備」
【活動日数：10日　協力者数：21名】

３月「弥生フェスティバル準備／実施」、「土器・銅鐸パズル」、
「Let's弥生体験・子どもＦＤ（火おこし）サポート」、「道具作り」、
「ボランティア活動総括の会」、「逓送準備」
【活動日数：11日　協力者数：28名】

＜ボランティア活動の内容＞
翻訳ボランティア：開催要項等の英語訳等
平日ボランティア：展示室巡回、書庫整理、体験学習素材の作成等
土曜ボランティア：土器パズル等体験学習の補助

5　「博物館 in school」事業－博学連携事業

（１）小学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しを行うことで事前学習の一助とした。また、見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上にワークシート８種類を用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員や教育専門員が展示解説を行い、展示室での学習を支援した。　【入館者数：9,903名】

＜堺市＞浜寺石津小学校、金岡南小学校、南八下小学校、新浅香山小学校、神石小学校、竹城台東小学校、三国丘小学校、東三国丘小学校、浅香山小学校、福泉小学校、福泉東小学校、市小学校、安井小学校、上野芝小学校、鳳小学校、深井小学校、日置荘小学校、錦綾小学校、原山台小学校、原山台東小学校、浜寺昭和小学校、深井西小学校、桃山台小学校、新湊小学校、三宝小学校、土師小学校、西百舌鳥小学校

＜和泉市＞国府小学校、光明台北小学校、光明台南小学校、信太小学校、幸小学校、芦部小学校、

和気小学校、南松尾小学校、青葉はつが野小学校、黒鳥小学校、鶴山台北小学校、鶴山台南小学校、横山小学校、南横山小学校

＜泉大津市＞上條小学校、条東小学校、旭小学校、浜小学校、条南小学校、楠小学校

＜高石市＞羽衣小学校、清高小学校、高陽小学校、高石小学校

＜忠岡町＞忠岡小学校、東忠岡小学校

＜岸和田市＞太田小学校、新条小学校、山直北小学校、常磐署小学校

＜貝塚市＞二色小学校、北小学校

＜泉佐野市＞大木小学校、日新小学校、北中小学校

＜泉南市＞新家小学校、東小学校

＜田尻町＞田尻小学校

＜大阪市＞遠里小野小学校、生野小学校、新平野西小学校、栄小学校、喜連西小学校、萩之茶屋小学校、桑津小学校、築港小学校、宝栄小学校、住吉小学校、上福島小学校、福島小学校、大開小学校、天王寺小学校、山之内小学校、平林小学校、成育小学校、加美東小学校、住之江小学校、大成小学校、南住吉小学校、東小橋小学校、依羅小学校、弁天小学校、苅田北小学校、千本小学校、玉出小学校、安立小学校、喜連小学校、生野南小学校

＜守口市＞下島小学校

＜東大阪市＞西堤小学校

＜松原市＞天美南小学校、松原南小学校、松原北小学校

＜羽曳野市＞古市小学校

＜八尾市＞美園小学校、大正北小学校

＜大阪府立＞堺聴覚支援学校、和泉支援学校

＜和歌山県和歌山市＞名草小学校、藤戸台小学校、西佐和小学校、有功小学校、中之島小学校、小倉小学校、貴志小学校

＜和歌山県橋本市＞柱本小学校

＜和歌山県海南市＞大東小学校、黒江小学校

＜和歌山県紀ノ川市＞池田小学校

＜奈良県五條市＞阪合部小学校

＜兵庫県伊丹市＞鴻池小学校

＜私立＞仁川学院小学校、建国小学校、近畿大学附属小学校

（２）大学・高等学校、中学校等の見学受け入れ

小学校以外に大学、高等学校、中学校、その他団体を受け入れ、学芸員や教育専門員が展示解説等を行い、博物館における学習を支援した。【入館者数：1,726名】

①　大学・高等学校・中学校等

近畿大学、京都橘大学

大阪府立信太高校

大阪市立加賀屋中学校、大阪市立上町中学校、大阪市立平野北中学校、

大阪府立佐野支援学校（中学部）、大阪府立和泉支援学校（中学部）、富秋中学校（研修会）

②　その他団体

たけのこ子ども会、不二銀杏会、デイセンターせんなん、和泉市文化協会老人会、

ボーイスカウト堺11団カブ隊、４市１町要約筆記奉仕員養成講座、貝塚市教育委員会、

いずみの里、高齢者大学「日本の起源と文化」「大阪の史跡探訪科」「自然文化を楽しむ科」、
有田川町教育委員会、堺探訪会、和泉消防本部予防課、障友会堺みなみ、東大阪文化財を学ぶ会、
ＴOSS大阪天馬子ども観光大使、大阪府老人大学歴史考古学科、JICA、川西・古代学友の会、
大阪市青少年活動協会、泉州・紀北ミュージアムネットワーク、泉大津市ボランティア研修会、
岸和田市立教育研究所教育相談室、すばる児童館、伊丹市博物館友の会、和泉市立芦部保育園、
和泉市立国府第二保育園、和泉市立鶴山台第一保育園、泉佐野市・東佐野台支部福祉委員会、
社会福祉法人清光会、菊丘ゴールドクラブ、和泉市立幸幼稚園、
コープこうべコープカルチャー西宮、障友会わららか草部、和泉市小学校校長会、
藤井寺市教育委員会、伊勢町自治会、太子町立歴史資料館、世界遺産研究セミナー（MP トラベル）

（３）小中学生団体の利用促進のため小学校教諭を対象に下見説明会を実施した。

４月２日（水）　18校　【参加者：52名】
４月３日（木）　９校　【参加者：27名】
４月４日（金）　８校　【参加者：21名】

（４）体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。　【利用者数：6,359名・189回】

（５）出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業を行った。

【実績：4,114名・132回】

＜堺市＞宮山台小学校、日置荘西小学校、熊野小学校、市小学校、深井小学校、三原台小学校、
竹城台東小学校、浜寺石津小学校、深阪小学校、庭代台小学校、上神谷小学校、福泉東小学校
＜泉大津市＞戎小学校、条南小学校、楠小学校
＜和泉市＞光明台北小学校、鶴山台南小学校、みなまつ保育園
＜熊取町＞熊取東小学校
＜泉佐野市＞佐野台小学校
＜岬町＞深日小学校、淡輪小学校
＜豊中市＞野田小学校
＜茨木市＞葦原小学校放課後子ども教室
＜大阪市＞宮原小学校、福小学校、東中川小学校、栄小学校、野中小学校、南市岡小学校、
千本小学校、弁天小学校、歌島小学校、生魂小学校、視覚支援学校（小学部）、光陽特別支援学校
大阪市立総合医療センター分教室、喜連中学校、平野支援学校（小学部）
＜枚方市＞川越小学校、藤阪小学校、枚方第二小学校
＜交野市＞第四小学校
＜八尾市＞大正北小学校、美園小学校、古市南小学校
＜松原市＞天美南小学校、松原小学校
＜羽曳野市＞白鳥小学校、丹比小学校放課後子ども教室、埴生南放課後子ども教室、
古市南小学校、駒ヶ谷小学校
＜河南町＞白木小学校
＜大阪府立＞和泉支援学校

＜和歌山市＞宮北小学校、四箇郷北小学校
＜その他＞大阪「勉強ワクワク」フォーラムⅡ出前授業の紹介展示（会場：大阪府教育センター）

（６）博学連携

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、小学校から大学までを対象に、展示解説やバックヤードツアーを行ったほか、教員を対象に博学連携セミナーを実施し、意見交換の場を設けた。

① 大学生（博物館学実習等）

実習生を受け入れ、博物館の実務について指導した。

・６月14日（土）	桃山学院大学学芸員課程研修	【３名】
・６月29日（日）	大阪観光大学　館内・ＢＹ見学	【63名】
・７月３日（木）・７月４日（金）	弘前大学（資料調査）	【１名】
・７月６日（日）	関西大学博物館実習	【47名】
・７月11日（金）	京都教育大学（博学連携に関する問合わせ）	【１名】
・７月29日（火）～８月３日（日）	博物館実習	【10大学・21名】
・８月６日（水）・７日（木）	奈良大学通信教育部学生	【45名】
・８月８日（金）	大阪教育大学（見学・講義）	【20名】
・９月９日（火）	大阪府教育委員会インターンシップ（同志社大学生）	【１名】
・11月30日（日）	神戸女子大学文学部史学科　博物館学資料保存論研修	【38名】
・１月25日（日）	神戸女子大学文学部史学科　考古学特講研修	【76名】

② 中学生・高校生（職場体験学習等）

中学生を１～２日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。

また、高校生の入門講座・バックヤードツアー等をとおして、学習機会を提供した。

・４月１日（火）～４月６日（日）	大阪府立泉大津高校（日本史Ｂ古代分野の予習）	【52名】
・７月８日（火）～８月31日（日）	大阪府立登美丘高校日本史Ａ夏休みレポート	【259名】
・７月８日（火）～８月31日（日）	大阪府立山本高校日本史Ａ夏休みレポート	【69名】
・７月10日（木）	大阪府立成美高校（各種体験・ＢＹツアー）	【17名】
・８月８日（金）	大阪府立今宮高校考古学入門講座	【７名】
・８月15日（金）	高校生博物館ツアー	【６名】
・９月18日（木）～19日（金）	高石市立取石中学校	【２名】
・９月25日（木）～26日（金）	高石市立高石中学校	【５名】
・11月11日（火）～12日（水）	和泉市立信太中学校	【５名】
・11月12日（水）～13日（木）	和泉市立郷荘中学校	【５名】
・11月18日（火）～19日（水）	和泉市立石尾中学校	【３名】
・11月19日（水）～20日（木）	忠岡町立忠岡中学校	【５名】
・１月29日（木）～30日（金）	高石市立高南中学校	【４名】
・２月３日（火）	和泉市立南松尾中学校（職業意識調査）	【10名】

③ 教員等研修

教員等の研修を行い、連携を深めた。

・７月30日（水）	全国歴史教育協議会第55回大阪大会 第４分科会「高等学校と弥生文化博物館との連携促進」	【50名】
・８月１日（金）	全国歴史教育研究協議会	【30名】

・８月12日（火）　　大阪府教育センター研修（カリナビ研修）　【24校・24名】
・８月15日（金）　　高校教員セミナー　【16校・16名】
・８月19日（火）・20日（水）大阪府初任者研修　【３校・９名】
・８月22日（金）　　小中教員セミナー　【17校・21名】
・10月18日（土）　　和泉市教育センター社会科の会　【６名】

④　子ども一日館長　３月14日（土）　泉大津市立楠小学校２名
（任命式、講演会挨拶、ＢＹツアー）　【９名】

⑤　中学生フレッシュコンサート　３月25日（水）
和泉市立郷荘中学校・高石市立取石中学校　【152名】

６　「どこでも博物館」事業

（１）出張展示

他館や他団体と連携し、当館資料やパネル等を展示した。

①　大阪府立狭山池博物館　【入館者数：12,145名】
ア．開催期間　　平成26年４月26日（土）～５月25日（日）
イ．内　　容　　「くらべてみよう、最後の縄文土器と最初の弥生土器」

②　泉大津市池上曽根弥生学習館　【入館者数：13,383名】
ア．開催期間　　平成26年４月１日（火）～平成27年３月31日（火）
イ．内　　容　　当館所蔵の資料を展示

③　和泉市池上曽根弥生情報館　【入館者数：68,697名】
ア．開催期間　　平成26年４月１日（火）～平成27年３月31日（火）
イ．内　　容　　当館所蔵の資料を展示

④　大阪府立中央図書館
ア．開催期間　　平成26年８月26日（火）～９月21日（日）
イ．内　　容　　「卑弥呼御膳」「卑弥呼の時代を描こう優秀作品展」

⑤　壱岐市立一支国博物館　【入館者数：26,439 名】
ア．開催期間　　平成26年11月１日（土）～平成27年３月31日（火）
イ．内　　容　　弥生博紹介展示

（２）出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出店した。

①　ふれあいまつり2014　【参加者数：95名】
ア．開催日　　５月５日（月祝）
イ．内　容　　「土器・銅鐸パズル」
ウ．連携先　　池上曽根弥生学習館

②　まなぼスタジオ　【参加者数：11名】
ア．開催日　　６月21日（土）
イ．内　容　　「紙すきで短冊づくり」
ウ．連携先　　あべのハルカス近鉄本店まなぼスタジオ

③　うえろくこどもワークショップ　【参加者数：10名】

ア．開催日　　７月31日（木）

イ．内　容　　「ミニチュア竪穴住居」「勾玉アクセサリー」

ウ．連携先　　近鉄百貨店上本町店

④　関西大学博物館キッズミュージアム　【参加者数：893名】

ア．開催日　　８月１日（金）

イ．内　容　　「狩人きぶん」

ウ．連携先　　関西大学

⑤　音☆楽市　【参加者数：69名】

ア．開催日　　８月２日（土）

イ．内　容　　「土器・銅鐸パズル」

ウ．連携先　　和泉市、和泉市文化財活性化推進実行委員会

⑥　ハスフェスタ　【参加者数：64名】

ア．開催日　　８月８日（金）

イ．内　容　　「消しゴムまが玉を作ろう」

ウ．連携先　　泉南市埋蔵文化財センター

⑦　あべの☆こども博覧会　【参加者数：206名】

ア．開催日　　８月10日（日）～８月13日（水）

イ．内　容　「低融合金で銅鐸をつくろう」「銅鐸パズル」

ウ．提携先　　近鉄文化サロン阿倍野

⑧　夏のいろいろ体験塾　【参加者数：24名】

ア．開催日　　８月16日（土）

イ．内　容　　「たて穴住居を作ろう！」

ウ．提携先　　西宮阪急

⑨　ミニ実習　　弥生博物館がやってきた！　【参加者数：27名】

ア．開催日　　８月17日（日）、１月12日（月祝）

イ．内　容　　「石膏でつくった銅鐸に色をぬろう」

「オリジナル考古楽カードで遊ぼう！学ぼう！－オリジナル勾玉も作れちゃう－」

ウ．提携先　　きしわだ自然資料館

⑩　卑弥呼の時代の絵を描こう優秀作品展関連　【参加者数：70名】

ア．開催日　　９月13日（土）、９月20日（土）

イ．内　容　　「土器・銅鐸パズル」

ウ．提携先　　大阪府立中央図書館

⑪　高校軽音フェスタin弥生の森2014　【参加者数：140名】

ア．開催日　　10月４日（土）・10月５日（日）

イ．内　容　　「土器・銅鐸パズル」

ウ．提携先　　和泉市文化財活性化推進実行委員会

⑫　第36回和泉市商工まつり　【参加者数：258名】

ア．開催日　　10月25日（土）、10月26日（日）

イ．内　容　　「土器・銅鐸パズル」

ウ．連携先　　和泉市商工会議所

⑬　全国古代体験フェスティバル　【参加者数：200名】

ア．開催日　　11月１日（土）

イ．内　容　　「弥生の布のコースターづくり」、「考古楽カルタ」

ウ．提携先　　兵庫県立考古博物館

⑭　JAいずみの農業まつり　【参加者数：75名】

ア．開催日　　11月16日（日）

イ．内　容　　「土器・銅鐸パズル」

ウ．提携先　　JAいずみの

（３）講演・講座

当館学芸員が、各所から依頼を受け、出張講演・解説を行った。

①　八尾市立しおんじやま古墳学習館

・４月５日（土）　「古代吉備のまじない文化と河内・大和」
当館総括学芸員　中尾智行　【参加者数：47名】

②　古代学研究会４月例会

・４月19日（土）　「吉備の呪的文様～その非対称性～」
当館総括学芸員　中尾智行　【参加者数：30名】

③　近鉄文化サロン　考古学からみる古代の生活２

・６月19日（木）　「東北、縄文時代の土器文化」当館総括学芸員　塚本浩司【参加者数:42名】

・８月21日（木）　「最古の分銅が物語るもの」当館総括学芸員　中尾智行　【参加者数：49名】

・11月20日（木）　「ナベの古今東西－中世石鍋の生産と流通－」当館学芸員　柴田妃三光
【参加者数：49名】

・２月19日（木）　「妊娠・出産・後産の考古学」当館副館長兼学芸課長　秋山浩三
【参加者数：58名】

・３月19日（木）　「日本の貨幣のはじまり－富本銭と和同銭－」当館館長　黒崎　直
【参加者数：67名】

④　桃山学院大学出張講義

・６月25日（水）　「博物館の現状と展望－歴史博物館の立場から－」　【参加者数：52名】
当館総括学芸員　塚本浩司

⑤　柏原市立歴史資料館　文化財講演会

・７月26日（土）　「土偶と石棒からみた弥生の始まり」　【参加者数：43名】
当館副館長兼学芸課長　秋山浩三

⑥　奈良大学・皇學館大学　洋上実習

・８月19日（火）　「博物館学講義」　【参加者数：50名】
当館総括学芸員　中尾智行

⑦　大阪計量士会　９月例会講演

・９月１日（月）　「弥生分銅－国内最古の分銅発見と古代ロマン－」　【参加者数：59名】
当館総括学芸員　中尾智行

⑧　岡山県古代吉備文化財センター開所30周年記念事業シンポジウム

・９月13日（土）　「三世紀の吉備を読み解く」　【参加者数：500名】
当館副館長兼学芸課長　秋山浩三

⑨　考古学講座　最新考古学事情2014年度後期（よみうり伊丹文化センター）

・10月４日（土）　「東日本の弥生石器－石鏃を中心に－」　【参加者数：６名】

当館学芸員　瀬尾晶太

⑩　枚方古代史友会10月度研修会

10月19日（日）　「弥生文化の特質－稲・金属・戦争－」　【参加者数：20名】

当館学芸員　瀬尾晶太

⑪　講演会・シンポジウム「ヤマト王権はいかにして始まったかPartⅡ」

（田原本町青垣生涯学習センター）

・11月22日（土）　「土器類の移動・交流からみた吉備と近畿」　【参加者数：421名】

当館副館長兼学芸課長　秋山浩三

⑫　考古学研究会関西例会

・11月22日（土）研究報告「東日本における磨製石鏃の成立に関する一試案」【参加者数：22名】

当館学芸員　瀬尾晶太

⑬　高齢者大学校　自然文化を楽しむ科

・１月14日（水）　「古代の「食」を考える」　【参加者数：56名】

当館学芸員　柴田妃三光

7　「体験する博物館」事業

（1）体験学習・ツアー

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、特別展・企画展関連以外にもワークショップ等を行った。夏休み弥生歴史クラブ

①　夏休み弥生歴史クラブ

・７月26日（土）　「弥生時代の住居を学ぼう」　【参加者数：90名】

・７月27日（日）　「弥生人の食べ物を学ぼう」　【参加者数：148名】

・８月３日（日）　「弥生土器を学ぼう」　【参加者数：73名】

②　夏休みフェスタ　【参加者数計：1,793人】

・８月23日（土）　「カイトくんはどこ？」、「民族衣装を着てみよう！」、
「オリエント彩文土器×弥生土器　土器パズル」、
「円筒印章をおしてみよう」、「恐竜「アンズーワイリエイ」を知ろう！」、
「「カラムシ」ミニポシェットをつくろう！」、
「メソポタミアな！プラ板キーホルダーづくり」　【参加者数計：741名】

・８月24日（日）　「カイトくんはどこ？」、「民族衣装を着てみよう！」、
「オリエント彩文土器×弥生土器　土器パズル」、
「円筒印章をおしてみよう」、「恐竜「アンズーワイリエイ」を知ろう！」、
「メソポタミアな！プラ板キーホルダーづくり」、
「大昔の生き物のおはなしと化石レプリカづくり」、「石をみがこう！」
【参加者数計：1,052名】

③　ナイトミュージアム

・11月３日（土）　【参加者数：６名】

・11月15日（土）　【参加者数：２名】

・11月30日（日）　【参加者数：16名】

④　関西文化の日ワークショップ　【参加者数計：1,041名】

・11月15日（土）　「カイトの挑戦状！」、「海渡をさがせ！」、「土器・銅鐸パズル」、「まが玉をみがいてつくろう」、「土器でお米を炊いてみよう」、「狩人キブン」、「まゆ玉サンタをつくろう」　【参加者数計：330名】

・11月16日（日）　「カイトの挑戦状！」、「海渡をさがせ！」、「土器・銅鐸パズル」、「土器でお米を炊いてみよう」、「狩人キブン」、「描いて、つけて、古代人になろう！」、「計量クイズ」大阪府計量検定所、「家庭用計量器無料診断」大阪府計量検定所、「健康器具体験」大阪府計量検定所、「計量ひろば」大阪府計量検定所　【参加者数計：711名】

⑤　Let's弥生体験

・11月23日（日）　「火おこし・弓矢体験・まが玉つくり」　【参加者数：60名】

・11月30日（日）　「火おこし・弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう(かるた)」【参加者数：46名】

・12月７日（日）　「火おこし・弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう(かるた)」【参加者数：35名】

・12月14日（日）　「火おこし・脱穀・米炊き」　【参加者数：34名】

・12月20日（土）　「弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう（バトル）」　【参加者数：37名】

・１月11日（日）　「火おこし・弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう(かるた)」【参加者数：33名】

・１月17日（土）　「弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう（バトル）」　【参加者数：15名】

・１月25日（日）　「火おこし・まが玉つくり・考古楽カードで遊ぼう（バトル）」　【参加者数：30名】

・２月１日（日）　「火おこし・脱穀・米炊き」　【参加者数：44名】

・２月15日（日）　「火おこし・弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう（トランプ）」　【参加者数：33名】

・２月21日（土）　「火おこし・弓矢体験」　【参加者数：33名】

・３月１日（日）　「火おこし・弓矢体験・まが玉つくり」　【参加者数：41名】

・３月15日（日）　「火おこし・弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう(かるた)」【参加者数：10名】

・３月21日（土）　「弓矢体験・考古楽カードで遊ぼう（バトル）」　【参加者数：18名】

⑥　冬のやよいミュージアム！

・１月31日（土）　「土器・銅鐸パズル」、「古銭ワークショップPart１　こすって、うつそう！」、「古銭ワークショップ　鋳造体験」、「チリメンモンスターを探せ！」きしわだ自然資料館、「脱穀＆土器でお米を炊こう！」、「カイトとリュウさんの弥生ツアー」、「考古楽カード属性バトル大会」　【参加者数計：936名】

・２月１日（日）　「土器・銅鐸パズル」、「古銭ワークショップPart２　こすって、うつそう！」、「古銭ワークショップ　鋳造体験」、「丸玉つくり」池上曽根弥生学習館、「古墳ストラップづくり」しおんじやま古墳学習館、「考古楽カード属性バトル大会VSハニワこうてい」

しおんじやま古墳学習館、
「カイトとリュウさんの弥生ツアー」、「考古楽カードかるた大会」
【参加者数計：1,163名】

⑦　館内体験

・４月12日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：８名】
・４月26日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：６名】
・５月10日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：６名】
・５月24日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：３名】
・６月14日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：15名】
・６月28日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：８名】
・７月12日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：10名】
・７月26日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：15名】
・８月９日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：15名】
・９月13日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：10名】
・９月27日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：13名】
・10月11日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：13名】
・10月25日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：35名】
・11月８日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：８名】
・11月22日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：５名】
・12月13日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：８名】
・１月10日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：５名】
・１月24日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：18名】
・２月14日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：11名】
・２月28日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：８名】
・３月14日（土）　「土器・銅鐸パズル」　【参加者数：52名】

⑧　弥生フェスティバル

・３月25日（水）　「土器・銅鐸パズル」、「土器をさわろう」、「カイトの挑戦状」、
「竪穴住居で写真撮影」、「花のしおりをつくろう」大阪府立花の文化園、
「ハニワこうていとカードバトル」しおんじやま古墳学習館、
「竪穴住居をたてよう」、「カイトとリュウさんの弥生ツアー」
「弥生博のカイトとリュウさん登場！」（フルル・ハニワこうてい）
【参加者数計：693名】

・３月26日（木）　「土器・銅鐸パズル」、「土器をさわろう」、「竪穴住居で写真撮影」、
「カイトの挑戦状」、「ヤヨイなハンコでポストカードづくり」
泉南市埋蔵文化財センター、
「マーブル勾玉グッズをつくろう」近つ飛鳥博物館、
「あがれ　弥生の空に！連凧プロジェクト」、「鏡を型取りしてみよう」、
「考古楽カードを使って遊ぼう－カルタ編－」、
「やぁ！ヤァ！弓矢体験」、「ギャラリートーク　「弥生博の新しい魅力」
【参加者数計：814名】

・３月27日（金）　「土器・銅鐸パズル」、「土器をさわろう」、「カイトの挑戦状」、
「竪穴住居で写真撮影」、「丸玉つくり」池上曽根弥生学習館、
「貝殻でアクセサリーをつくろう」きしわだ自然資料館、
「竪穴住居をたてよう」、「消しゴムでつくろう、弥生の飾り」、
「考古楽カードを使って遊ぼう－トランプ編－」　【参加者数計：810名】
・３月28日（土）　「土器・銅鐸パズル」、「土器をさわろう」、「カイトの挑戦状」、
「竪穴住居で写真撮影」、「考古楽カードを使って遊ぼう－カルタ編－」、
「ギャラリートーク　弥生博の新しい魅力 」、
「貝殻で見る・知る、弥生の食」、「切ってなっとく、石器体験」、
「やぁ、ヤァ、弓矢体験」、「体験！弥生の台所」　【参加者数計：706名】
・３月29日（日）　「土器・銅鐸パズル」、「土器をさわろう」、「カイトの挑戦状」、
「竪穴住居で写真撮影」、
「むすぶ・たたく・ひらく～弥生から宇宙への算数～」小谷城郷土館、
「つくろうアナタだけの弥生の服」、
「織ってつくる－ブレスレット編－」、
「考古楽カードを使って遊ぼう－バトル編－」　【参加者数計：469名】

（２）子どもファーストデイ企画「みんないっしょに考古楽！2014」

大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第３土曜日の「子どもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習を行った。

・４月19日（土）　「弥生のこめつき体験」　【参加者数：20名】
・５月17日（土）　「石器を使ってみよう」　【参加者数：８名】
・６月21日（土）　「土器に触れてみよう」　【参加者数：23名】
・７月19日（土）　「火おこし」　【参加者数：28名】
・８月16日（土）　「鳥形かみひこうき」　【参加者数：14名】
・９月20日（土）　「土器に触れてみよう」　【参加者数：17名】
・10月18日（土）　「脱穀」　【参加者数：24名】
・11月15日（土・関西文化の日）　「石器をつかってみよう」　【参加者数：32名】
・12月20日（土）　「弓矢体験」　【参加者数：37名】
・１月17日（土）　「火おこし」　【参加者数：15名】
・２月21日（土）　「土器に触れてみよう」　【参加者数：49名】
・３月21日（土）　「火おこし」　【参加者数：31名】

8　広報普及事業

（１）弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くＰＲするとともに、地元の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、弥生フェスティバルを実施した。堺市・和泉市・泉大津市・高石市・岸和田市の各教育委員会に依頼し、各市全児童にチラシを配付した。

ア．開催期間　平成27年３月25日（水）～29日（日）　５日間　【入館者数：5,322名】
イ．入館料　無料

ウ．イベント　　前掲

（２）要覧の作成

『平成25年度弥生文化博物館要覧』（平成27年３月31日発行）を作成し、関係諸機関に配付した。

（３）特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

（４）常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介したＡ４三折りのリーフレット（日本語・英語・中国語・韓国語）を配布した。

（５）小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配布した。また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート（８種）を用意し、ホームページからダウンロードして利用いただけるようにした。

（６）解説シート

常設展示の解説シート（７種）及びボランティアが作成した常設展示点字解説シート、特別展示点字解説シート、また、マンガによる解説シート、外国語解説シート等を用意した。

（７）問合せ対応

マスコミ、出版社等からの弥生文化を中心とする質問についての回答や、参考文献の紹介をすることで、弥生文化に関する情報を発信した。

（８）マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。

また、新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。

（９）インターネットホームページ

ホームページおよびフェイスブックによる情報提供を行った。　　【年間アクセス件数：348,253 件】

また、当館の展示物、催しを紹介する四コマ漫画をホームページで情報提供した。

９　資料貸出

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。　　【資料 ９件・79点／写真64件・167点】

10　研究事業

国内外の研究者との学術交流

国内大学、教育委員会等研究者　【96名】

海外研究者　【２名】

11　資料製作事業

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。

12　文化庁 地域と協働した美術館・歴史博物館活動支援事業

館キャラ連携プロジェクト実行委員会の中核館として、マンガ、解説シート、考古楽カード、キャラクター音声ガイド、パペット、着ぐるみの製作を行った。　【補助事業費：5,020,000円】

13　サービス事業

（１）アンケート調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

（２）音声ガイド

展示資料に対する理解をより深めてもらうため、日本語による音声ガイドと英語版音声ガイド及び館キャラクター・カイトとリュウさんによる音声ガイド（いずれも常設展示）を用意し、無料で貸し出しを行った。

（３）館内紹介ビデオ・ＤＶＤ

主に学校団体ご利用に向けて、館内ならびに体験ゾーンの紹介と見学に際しての注意を盛り込んだ映像ソフトの貸し出しを行った。

（４）設備

来館者の便宜供与あるいは省資源化を目的として、下記の設備を設置ないしは更新した。

- 経年劣化による空調機能低下を防ぐため、冷温水発生機の部分的更新を行った。
- 特別展示室の展示ケースの一部にＬＥＤ電球を導入した。
- 使いやすさ等の機能が向上したＡＥＤを購入した。
- 防水機能を充実させるため、屋上防水補修工事を実施した。
- コンサート出演者が演奏時に使用する椅子を購入した。
- 展示室での解説シートの設置及びポスター、チラシによるさらなる情報提供を図るため、大型イーゼルとチラシスタンドを購入した。

14　自主事業

ミュージアムショップの整備、オリジナルグッズや受託販売商品の充実に努めた。また、図録を販売した。

15　入館者数及び入館料一覧表

区　　分	入館者数（名）			入　館　料（円・税込）	備　　考
	有　料	無　料	合　計		
常　設　展	1,444	3,395	4,839	220,900	53日間
割合％	9.4	7.4	7.9		
春季企画展示	651	5,191	5,842	125,400	20日間
割合％	4.3	11.4	9.6		
春季特別展	4,847	7,275	12,122	1,836,340	50日間
割合％	31.7	15.9	19.8		
夏季特別展	3,843	5,715	9,558	1,322,620	47日間
割合％	25.1	12.5	15.7		
秋季特別展	3,297	11,951	15,248	1,081,280	76日間
割合％	21.6	26.1	25.0		
冬季企画展	1,204	12,228	13,432	369,100	57日間
割合％	7.9	26.1	22.0		
合　　計	15,286	45,755	61,041	4,955,640	303日間
割合％	100.0	100.0	100.0		

〈年度比較〉

平成25年度実績	61,024	4,957,480	303日間
平成24年度実績	57,612	3,956,580	305日間
平成23年度実績	63,223	4,555,000	307日間

春季特別展（縄文！岩手10000年の旅）

夏季特別展（遥かなるメソポタミア）

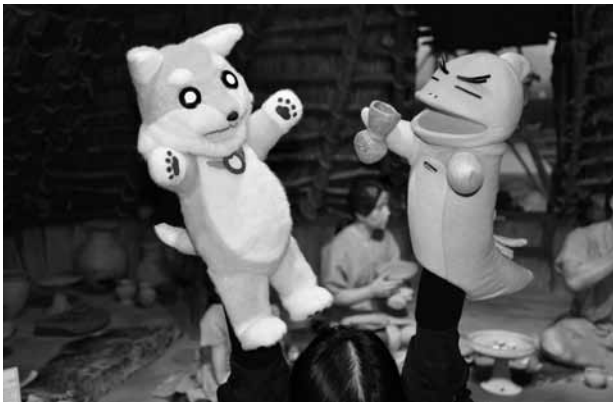
リニューアル式典（３月３日）

夏休み歴史クラブ（もみすり）

関西文化の日（土器パズル）

着ぐるみ（文化庁支援事業）

木曜大学



パペット（文化庁支援事業）

Ⅵ　大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1　常設展示

第１ゾーンで「近つ飛鳥と国際交流」、第２ゾーンで「古代国家の源流」、第３ゾーンで「現代科学と文化遺産」のテーマで展示。

2　特別展企画展事業

（1）春季特別展「ヤマト王権と葛城氏－考古学からみた古代氏族の盛衰－」

【総入館者数28,402 名・特展入館者数：11,072 名・展示室194名／日】

ア．開催概要　百舌鳥・古市古墳群が形成されたころ、大王家と婚姻関係を結び活躍したとされる葛城氏は、奈良県西部の葛城地域を拠点とした大豪族です。馬見丘陵に多数築かれた大型前方後円墳や、御所市に所在する古墳群からは、豊富な副葬品の出土が知られており、葛城地域を基盤とした豪族たちの、その勢力の大きさをうかがい知ることができます。

また近年、首長居館や生産遺跡の調査が大規模に進められ、首長祭祀の実態や、渡来人による先進技術を用いた生産活動についても検討が進められています。

今回の展覧会では葛城地域の古墳とその出土品を中心に、大豪族葛城氏の盛衰を考古学資料からあとづけ、ヤマト王権を支えた古代氏族の実像を探ります。

イ．開催期間　平成26年４月26日（土）～６月29日（日）　【会期：57日間】

ウ．特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布　　図録の詳細は９（６）参照

エ．講演会等

春季特別展講演会

・５月11日（日）　「葛城の地と尾張氏・葛城氏」水野正好氏（奈良大学名誉教授）　【367名】

・５月25日（日）　「文献からみた葛城氏の実態とヤマト王権」
加藤謙吉氏（成城大学・中央大学兼任講師）　【335名】

・６月22日（日）　「古墳からみた葛城氏の実像」白石太一郎（当館館長）　【460名】

考古学セミナー

・６月15日（日）　『最新の調査成果が語る、葛城の遺跡と古墳』　【325名】
「巣山古墳と葬送儀礼」井上義光氏（広陵町教育委員会）
「葛城を掘る」岡田憲一氏（奈良県立橿原考古学研究所）
「葛城氏の地域開発戦略と渡来人」青柳泰介氏（奈良県立橿原考古学研究所）

ミニシンポジウム　「葛城とヤマト王権」

・５月18日（日）　『葛城とヤマト王権の政治拠点をさぐる』　【356名】
「考古学からみた豪族居館」森本　徹（当館）
「葛城氏王族論－４・５世紀の倭王権－」古市　晃氏（神戸大学）

・６月８日（日）　『出土品からみた葛城の古墳とヤマト王権』　【295名】
「銅鏡からみた葛城の古墳」森下章司氏（大手前大学）
「埴輪からみた葛城の古墳」和田一之輔氏（奈良文化財研究所）

オ．展示解説　特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。
実施日：４月27日（日）、５月６日（火　振）、５月10日（土）、５月31日（土）、
６月14日（土）、６月29日（日）　【６回・計224名】
カ．音声ガイドによる展示解説　特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。
キ．現地見学会　６月１日（日）　「南葛城の古墳と遺跡－葛城氏の遺跡をめぐる－」　【57名】
６月21日（土）　「南葛城の古墳と遺跡－葛城氏の遺跡をめぐる－」　【40名】
ク．広報　インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたＰＲやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動を行った。
ケ．開会式　４月26日（土）　地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し実施した。

（２）夏季企画展「大阪平野はむかし海だった－海に生きたおおさかの古代人－」

【総入館者数15,575名・特展入館者数：5,389 名・展示室 104 名／日】

ア．開催概要　大阪平野はかつて、縄文時代には海でした。この海は河内湾と呼ばれ、次の弥生時代には河内湖となり、やがて平野へと姿を変えていきました。

このようなうつり変わりは、遺跡から見つかる魚骨や貝の種類などから明らかにされてきました。この独特な環境の変化と、その中で生きた人々について考えることをきっかけに、海からおおさかの古代にせまってみます。海にのぞむおおさかでは、弥生時代や古墳時代においても、海と人との関わりは深く、魚やタコをとり、海水から塩をつくることは、コメづくりとならび重要な生活の営みでした。

また、現代のように鉄道や道路が発達していない時代には、海はもっとも重要な交通路でもありました。一度に多くの品物を運べることから、船はたびたび利用され、また多くの渡来人が、大陸や朝鮮半島から船でおおさかの地にたどり着き、新しい文化をもたらしました。

海をたくみに利用しながら生きた、おおさかの古代人の知恵を出土品からさぐります。

イ．開催期間　平成26年７月19日（土）～９月15日（月　祝）　【会期：52日間】
ウ．小冊子の作成・発行、ポスター・ちらし・招待券の作成配布　小冊子の詳細は９（６）参照
エ．講演会・体験学習
展示に即した講演会、セミナーを実施。小・中学生を対象とした船づくり、勾玉づくりなど体験学習を実施した。
講演会
・８月３日（日）　「ちぬの海に生きた古代人」
積山　洋氏（公益財団法人　大阪市博物館協会　大阪文化財研究所）【126名】
・９月７日（日）　「５世紀、河内湖は倭国文明化のセンターだった」
白石太一郎（当館館長）　【123名】
考古学セミナー
・８月31日（日）　「海人の古墳を考える」森本　徹（当館副館長兼学芸課長）　【95名】
オ．展示解説　特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。　【７回・計 139名】
実施日：７月27日（日）、８月２日（土）、８月30日（土）、９月15日（土）
また、こどもむけに、「おおさかの海と古代人のはなし」とした展示解説を実施した。
実施日：８月13日（水）、８月14日（木）、８月15日（金）
カ．音声ガイドによる展示解説　企画展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。
キ．広報　インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたＰＲや

ポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

（３）秋季特別展「箸墓以降－邪馬台国連合から初期ヤマト政権へ－」

【総入館者数21,389名・特展入館者数： 7,831 名・展示室 140名／日】

ア．開催概要　最古の大型前方後円墳である箸墓古墳の出現は、初期ヤマト政権成立の象徴であり、その後の古墳の方向性を定めた大きな画期と考えられます。以後、奈良盆地東南部には倭国王墓と考えられる複数の大型前方後円墳が営まれ、初期ヤマト政権の展開をうかがうことができます。また、それらを含む奈良盆地東南部の複数の古墳群には、政権内部の構成が反映されていると考えられる点で重要です。さらに、同時代の畿内各地の古墳や古墳群からは、首長や有力者集団と初期ヤマト政権とのかかわりあいをみることができます。

今回の展覧会では、古墳時代前期における政権中枢である奈良盆地東南部や、それを取り巻く畿内各地における古墳やその出土品に焦点を当て、初期ヤマト政権の成立と展開について考えたいと思います。

イ．開催期間　平成26年10月４日（土）～12月７日（日）　【会期：56日間】

ウ．特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布　　図録の詳細は９（６）参照

エ．講演会等　開催に際し、展示に即した講演会およびシンポジウムを実施した。

秋季特別展講演会

・11月９日（日）　「ヤマト政権成立過程と畿内の勢力図」
　福永伸哉氏（大阪大学大学院教授）　【250名】

・11月23日（日）　「『古事記』・『日本書紀』とヤマト王権の成立」
　吉村武彦氏（明治大学文学部教授）　【264名】

・11月30日（日）　「邪馬台国連合から初期ヤマト政権へ」
　白石太一郎（当館館長）　【353名】

・12月７日（日）　「山辺の道・上ツ道と王宮・陵墓」
　水野正好氏（奈良大学名誉教授）　【150名】

シンポジウム

・10月26日（日）　『奈良盆地東南部の前期大型前方後円墳を考える』　【202名】
「埴輪からみた奈良盆地東南部における古墳時代前期の大型古墳」
　加藤一郎氏（宮内庁書陵部）
「桜井市域の前期大型前方後円墳」福辻　淳氏（桜井市教育委員会）
「天理市域の前期大型前方後円墳」青木勘時氏（天理市教育委員会）

討論司会／白石太一郎（当館館長）

考古学セミナー

・11月16日（日）　『最近の調査研究成果から探る、淀川水系の前期古墳』　【182名】
「弁天山古墳群と三島地域の前期古墳」
　内田真雄氏（高槻市立今城塚古代歴史館）
「北河内における前期首長墓の動向と王権」
　西田敏秀氏（公益財団法人　枚方市文化財研究調査会）
「向日丘陵古墳群の消長と倭王権」
　梅本康広氏（公益財団法人 向日市埋蔵文化財センター）

オ．展示解説　特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。
実施日：10月５日（日）、10月18日（土）、11月１日（土）、11月15日（土）、
11月29日（土）、12月６日（土）　【６回・計171名】
カ．音声ガイドによる展示解説　特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。
キ．現地見学会　11月２日（日）　「奈良盆地東南部の前期古墳を歩く」　【44名】
11月24日（月　振）　「奈良盆地東南部の前期古墳を歩く」　【24名】
ク．広報　インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたＰＲやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。
ケ．開会式　10月４日（土）　地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し、実施した。

（４）冬季特別展「歴史発掘　おおさか2014－大阪府発掘調査最新情報－」

【総入館者数17,747名・特展入館者数： 4,233 名・展示室85名／日】

ア．開催概要　大阪府には、旧石器時代から近代まで、あらゆる時代の埋蔵文化財が地下に眠っており、毎年、多くの発掘調査が実施されています。こうした最新の発掘調査成果から遺跡を身近に感じとり、また、出土品を通して当時の生活や社会について探り、私たちの街大阪の魅力を再発見していただきたいと思います。

今回、大阪府内の最新発掘調査の成果を府民に広く知ってもらう機会とし、大阪府をはじめ、市町村の協力により、大阪府内の埋蔵文化財の最新情報をご覧いただきたいと思います。

イ．開催期間　平成27年１月24日（土）～３月22日（日）　【会期：50日間】
ウ．特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布　図録の詳細は９（６）参照
エ．講演会　開催に際し、展示に即した講演会、発掘調査報告会を実施した。

冬季特別展講演会
・３月15日（日）　「輝く古代大阪史－新発見文物の華－」
水野正好氏（奈良大学名誉教授）【中止】
・３月22日（日）　「堺市長山古墳の調査の語るもの」白石太一郎（当館館長）　【166名】

特集展示講演会
・２月15日（日）　『三島西部の古墳時代後期首長墓系譜を探る』　【137名】
「青松塚古墳の調査と福井古墳群」吉井秀夫氏（京都大学）
「郡古墳群と南塚古墳・海北塚古墳」清水邦彦氏（茨木市立文化財資料館）

冬季特別展調査報告会
・２月１日（日）　【79名】
「千提寺南遺跡―北摂山地の縄文人の営み」
川瀬貴子氏（公益財団法人大阪府文化財センター）
「長原遺跡の条里水田と古道―古代丹比郡条里と磯歯津（しはつ）道―」
京嶋　覚氏（公益財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所）
「止々呂美城跡―中世山城の縄張りと交通路―」
信田真美世氏（公益財団法人大阪府文化財センター）
・２月22日（日）　【120名】
「河内長野市鳩原遺跡の調査－4400年前のムラ－」
林日佐子氏（大阪府教育委員会）

「長山古墳－百舌鳥古墳群出現直前の風景－」
海邉博史氏（堺市文化財課）
「西浦門前遺跡－後鳥羽上皇ゆかりの水無瀬離宮関連遺跡－」
木村友紀氏（島本町教育委員会）

オ．展示解説　特別展示室において当館学芸員が展示解説を実施した。
1月25日（日）、1月31日（土）、2月8日（日）、3月7日（日）　【4回・計59名】

カ．音声ガイドによる展示解説　特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ．広報　インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたＰＲやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

3　「市町村と連携する博物館」事業

（1）連携展示事業

地元市町村を中心に大阪府内市町村教育委員会の共催・後援の協力を得た。また、冬季特別展では、展示品の情報、解説原稿、報告会の実施の協力を得た。

春季特別展　主催：本館、毎日新聞社
後援：河合町、広陵町、上牧町、上牧町教育委員会、葛城市、御所市、高取町、堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

夏季企画展　主催：本館、堺市
後援：羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、富田林市、富田林市教育委員会、河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

秋季特別展　主催：本館、読売新聞社
後援：天理市、天理市教育委員会、桜井市、向日市、枚方市、太子町、太子町教育委員会、河南町、河南町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

冬季特別展　主催：本館
後援：河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社
デザイン協力：大阪芸術大学芸術学部デザイン学科

（2）スポット展示

大阪府内における主要古墳の調査成果・研究成果を、資料所蔵者の協力のもと、ロビーあるいは常設展示室において公開した。　【3回84日・計9,620名】

・8月16日（土）～8月24日（日）　「峯ケ塚古墳の出土遺物に学ぶ」
【8日・3,017名・377名／日】

・8月30日（土）～9月28日（日）　「茨木市海北塚古墳の出土品」
【26日・2,370名・91名／日】

・１月24日（土）～８月22日（日）　「摂津・三島西部の古墳時代後期首長墓」

【50日・4,233名・85名／日】

（３）広報の強化

近隣市町の協力を得て、広報誌等に当館の案内やコラム等を掲載し、効率的かつ効果的な広報を行った。

４　「府民が参加する博物館」事業

（１）近つ飛鳥常設展示解説（入門講座）・土曜講座（オーサカ発　調査研究最前線）

「入門講座」は、常設展示の各コーナーを対象にした講座をホールにて行い、常設展示の内容をより理解していただく機会を作った。「土曜講座」は最新の発掘調査や研究を知る機会として開催した。

ア．入門講座「もっと知りたい『ちかつ博』」

毎月第２土曜日を基本とし、常設展示室の内容に関わる基礎的な講座を当館学芸員が行った。目標通り計10回を実施した。　【10回・計114名】

・第75回　５月10日（土）　「横穴式石室と渡来文化」
・第76回　６月14日（土）　「古墳づくりのムラを考える」
・第77回　７月11日（土）　「一須賀古墳群の副葬品の特性」
・第78回　８月９日（土）　「円筒埴輪の見方」
・第79回　９月13日（土）　「石棺からみる大阪の古墳」
・第80回　10月11日（土）　「古墳時代の集落を考える」
・第81回　11月８日（土）　「近つ飛鳥と木簡の世界」
・第82回　12月13日（土）　「レーダー探査を知ろう」
・第83回　２月14日（土）　「竪穴式石室の石材と構造」
・第84回　３月14日（土）　「一須賀の須恵器」

イ．土曜講座

毎月第４土曜日を基本とし、目標通り計10回を実施した。　【10回・計441名】

・第65回　５月24日（土）　「馬見古墳群における階層構造」　鈴　千夏（当館学芸員）
・第66回　６月28日（土）　「対外交易からみた葛城氏と大王家」
　森本　徹（当館副館長兼学芸課長）
・第67回　７月26日（土）　「土師器からみた須恵器出現時期遡上の可能性」
　市村慎太郎（当館総括学芸員）
・第68回　８月23日（土）　「海とおおさかの古代人－漁撈具から探る－」
　飯田浩光（当館学芸員）
・第69回　９月27日（土）　「襟付短甲の副葬様相」森本　徹（当館副館長兼学芸課長）
・第70回　10月25日（土）　「特殊壺と二重口縁壺、壺形埴輪」
　市村慎太郎（当館総括学芸員）
・第71回　11月22日（土）　「前期古墳における副葬品配置」鈴　千夏（当館学芸員）
・第72回　１月24日（土）　「石製模造品の地域性」永山はるか（当館学芸員）
・第73回　２月21日（土）　「大阪湾沿岸における漁撈具出土集落の展開について」
　飯田浩光（当館学芸員）

・第74回　３月21日（土）　「渡来系装身具とその技術」廣瀬時習（当館総括学芸員）

（２）風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

５月３日（金　祝）、博物館周辺にひろがる豊かな自然を持つ風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリーをはじめ、勾玉づくり・森の工作・修羅引き体験・古代衣裳着用体験などを開催した。【460名】

（３）古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場に特設ステージを設け、黄泉の塔をバックに地元高校生による音楽会を開催した。親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場をめざし、展示の観覧を促した。地元高校生の軽音楽部、フォークソング部などの発表、他学校との交流の場とした。春季、秋季の計２回開催した。

・４月29日（月　祝）　初芝富田林高校・長野高校・富田林高校・金剛高校・懐風館高校・上宮太子高校　【６校・380名】
・11月３日（月　祝）　初芝富田林高校・長野高校・富田林高校・金剛高校・藤井寺高校・藤井寺工科高校　【６校・339名】

（４）博物館バックヤード探検ツアー

博物館をより親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。

・５月４日（土　祝）　【18名】
・７月20日（日）　【21名】
・８月３日（日）　【39名】
・８月10日（日）　【０名】　台風による臨時休館
・８月16日（土）　【21名】
・８月23日（土）　【11名】

（５）こども近つ飛鳥風土記の丘古墳探検ツアー

小中学生および保護者を対象に、近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

・５月５日（日　祝）【当日雨天】　【参加者９名】

（６）近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、１階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援した。生涯学習の発表の場として、絵画・写真等の展示スペースを提供した。【14回・計：85,157名】

・３月21日（金　祝）～４月13日（日）　「ポスターでたどる近つ飛鳥博物館のあゆみ」展
・４月15日（火）～４月20日（日）　「かなん写真クラブ15写真展」
・４月25日（金）～５月13日（火）　「第６回　ふるさと俳画展」
・５月18日（日）～６月21日（土）　「ダンボールって楽しい！」
・８月２日（土）～８月31日（日）　「2014年夏休み　児童はにわ展」
・９月４日（木）～９月15日（月）　「なないろの故郷　古市古墳群と二上山」
・９月20日（土）～10月13日（月　祝）　「写真展　想いのままに…－昭和から平成へ－」
・９月17日（水）～９月30日（火）　「竹内街道・横大路（大道）

1400年フォトコンテスト入賞作品展」

・10月15日（水）～11月９日（日）　「松岳山古墳復元」
・11月11日（火）～11月16日（日）　「MOA 美術館南河内児童作品展」
・11月18日（火）～11月30日（日）　「よつばの会　油画作品展」
・２月14日（土）～３月８日（日）　「三田崇博　世界遺産写真展～オセアニアの遺産～」
・３月10日（火）～３月29日（日）　「ふくろう散歩　近つの古墳と「南河内・人と自然」」
・３月31日（火）～４月12日（日）　「太子切り絵サークル春の作品展」

（７）ボランティアの活用・募集、観光ボランティアへの支援

継続してボランティアを募集し、講演会・体験学習などの事業への支援活動を行っていただいた。実施内容としては、さくらまつり・こどもファーストデイ・特別展開会式およびボランティア会議・古墳時代まつり・古代衣裳体験・講演会・れきしウォーク・博物館バックヤード探検ツアー・こども工作室などがある。　【登録25名・協力延べ人数99名】

（８）その他の事業

ア．開館20周年事業の実施

３月25日（火）に開館20周年を迎えたことを記念して、講演会、ポスター展を平成25年度から継続して開催した。

記念講演会

・４月13日（日）　【239名】
「三角縁神獣鏡研究、この20年の展開」　福永伸哉氏(大阪大学大学院教授)
「古墳からみたヤマト王権の王統系譜」　白石太一郎（当館館長）

ポスター展

「ポスターでたどる近つ飛鳥博物館のあゆみ」展　【13日間・4,071名（平成26年度）】
会期：３月21日（金・祝）～４月13日（日）　【会期計　22日間・11,149名】

イ．うめまつりの開催

２月27日（金）～３月１日（日）実施。講演会などを開催。

講演会

・２月28日（土）　【445名】
「生きる力」　安藤忠雄氏
・３月１日（日）　【182名】
「梅鉢御陵の一つ　推古天皇陵を考える」　白石太一郎（当館館長）

ウ．さくらまつりの開催

３月28日（土）～３月29日（日）実施。ポスターでペーパーバッグをつくろう【107 名】、古代衣裳着用体験【171名】などを実施。

エ．大手前大学連携講座　「本物に触れる！三角縁神獣鏡最新研究」の開催

・２月７日（土）大手前大学史学研究所と連携し、実物資料の観察とともに、最新の研究成果を紹介する講座を開催した。　【87名】
「三角縁神獣鏡と古代の銅鏡」　森下章司氏（大手前大学　教授）
「三角縁神獣鏡の副葬様相」　森本　徹（当館副館長兼学芸課長）

5　「博物館 in school」事業－博学連携事業

（1）出前授業

小学校、中学校、高等学校に学芸員が出向き、ワークショップ（体験学習）を通じて、古墳・飛鳥文化の理解に努め、館に親しみをもってもらい、また、体験学習で製作した作品を博物館内に展示する機会を設け、来館を促した。　小・中学校【58件・2,507名】　高校・大学【19件・453名】

〈島本町〉第２小学校
〈箕面市〉北小学校
〈吹田市〉山田第３小学校
〈枚方市〉楠葉北小学校、山田小学校
〈大東市〉三箇小学校
〈大阪市〉今川小学校、梅南小学校、柏里小学校、生育小学校、聖賢小学校、巽南小学校、
　　中央小学校、中津小学校、南港光小学校、堀川小学校、三国小学校
〈八尾市〉高見南小学校
〈富田林市〉喜志小学校、伏山台小学校
〈堺市〉黒山小学校、竹城台小学校
〈羽曳野市〉白鳥小学校、駒ヶ谷小学校
〈太子町〉磯長小学校、山田小学校
〈岸和田市〉光明小学校
〈岬町〉多奈川小学校
〈奈良県御所市〉秋津小学校、葛城小学校
〈東大阪市〉弥刀中学校
〈私立〉城南学園中学校、浪速学院浪速中学校、羽衣学園中学、智弁学園奈良カレッジ
〈大阪府立〉松原高校
〈私立〉四条畷学園高校
奈良大学、華頂短期大学

（2）学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用を促す近隣関連施設とも含めたコースの提案もすすめた。

（3）学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。

「近つの楽しみ方・指令書・お魚さがそう・おしゃれな古代人・展示キットで遊ぼう・風土記の丘ラリーカード」　【６種計3,180枚】

（4）大学生博物館学実習および芸術大学実習・高校生学習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。芸術大学の写真学科、映像学科、放送学科等の実習の場として博物館、風土記の丘の利用を支援し、また高校生の研修の場とした。

【17件・計455名】

・４月６日（日）　大阪芸術大学　文芸学科フレッシュマンキャンプ

・５月８日（木）　大阪芸術大学　工芸学科　研修
・５月13日（火）　奈良大学　文学部　文化財学科　植野研究室　研修
・５月17日（土）　大阪教育大学　美術専攻
・５月24日（土）　大阪大谷大学　歴史文化学科新入生研修
・７月16日（水）　大阪産業大学人間環境学部文化コミュニケーション学科　実習
・８月６日（木）　大阪府立今宮高校　夏季集中講座「考古学入門」
・８月７日（金）　奈良大学　通信教育部　博物館実習受入れ
・８月13日（水）～17日（日）　武庫川女子大学、立命館大学、甲南女子大学、広島大学、帝塚山学院大学、大阪大学、同支社大学、大阪芸術大学　博物館実習
・10月５日（日）　奈良大学　博物館学講座
・10月９日（木）　大阪府立大学大学院生命環境科学研究科、緑地環境学科　樹木実習
・10月12日（日）　奈良大学　博物館学講座
・11月20日（金）　奈良女子大学　考古学講座
・11月28日（金）　大阪芸術大学　文芸学科　研修
・12月20日（土）　豊田市社会科自主研修グループ
・１月17日（土）　大阪芸術大学　博物館学レポート
・２月５日（木）　富田林市教育委員会　不適応教室

（５）大学生・高校生・中学生の職場体験学習

高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の職業選択の参考とする体験を支援した。【３件・計20名】

・10月24日（金）　河南中学校　職業体験
・11月５日（水）～７日（金）　太子町立中学校　職業体験
・11月６日（木）～７日（金）　富田林市立喜志中学校　職業体験

（６）教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。教員研修では学校教育での博物館施設の活用連携を深めた。【３件・計16名】

・７月23日（水）　教職員初任者研修
・８月22日（金）・12月25日（木）　教職員自主研修

（７）一日館長の選定

地元住民、特に児童に対して、地元の文化財や大阪府の古墳飛鳥文化の理解に努める一環として、児童による一日館長を任命した。博物館に親しみをもってもらい、利用活用を促す機会とした。太子町立磯長小学校、山田小学校の６年生徒２名を選定。８月10日に就任式をはじめ、白石館長講演会の開会挨拶、児童はにわ展表彰式の記念品贈呈、博物館探検ツアー隊長などの業務に従事の予定であったが、台風による臨時休館のため中止となった。夏休み終了後、各校において就任式を行い、児童はにわ展の表彰を行った。

（８）地元大学との連携

大阪芸術大学のポスターデザイン作品発表の場として博物館を活用してもらった。

冬季特別展ポスター・チラシ・リーフレットは、大阪芸術大学芸術学部デザイン学科３回生が制作した。

（９）2014夏休み児童はにわ展

夏休み期間の近つ飛鳥ギャラリーで、出前授業で行った14校の埴輪づくりの作品展を実施した（８月２日～８月31日）。優秀作品に「館長賞」「古墳の埴輪賞」「平成の埴輪賞」「ホッとユーモア賞」を選定し、８月10日に表彰式を行う予定であったが、台風による臨時休館のため中止となった。表彰は、はにわ展終了後、各校において行った。【8,200名】

〈大阪市〉今川小学校、柏里小学校、生育小学校、南港光小学校、三国小学校
〈堺市〉黒山小学校、竹城台小学校
〈富田林市〉喜志小学校
〈太子町〉磯長小学校
〈私立〉智弁学園奈良カレッジ

６　「どこでも博物館」事業

（１）れきしウォーク

各市町と連携して学芸員が実地での遺跡見学会を実施し、大阪の歴史を学び、来館の機会を促した。各特別展関連行事に加え、定例行事として古墳めぐりを開催。

- ４月20日（日）　「近つ飛鳥の終末期古墳をめぐる①」　【参加人数：25名】
- ６月１日（日）　「南葛城の古墳と遺跡」　【参加人数：57名】
- ６月21日（土）　「南葛城の古墳と遺跡」第２回　【参加人数：40名】
- ９月21日（日）　「東大阪の古墳をめぐる①」　【参加人数：22名】
- 11月２日（日）　「奈良盆地東南部の前期古墳を歩く」　【参加人数：44名】
- 11月24日（月・振）「奈良盆地東南部の前期古墳を歩く」第２回　【参加人数：24名】
- 12月14日（日）「葛城山東麓の古墳をめぐる」　【参加人数：21名】
- ３月８日（日）「京都太秦の古墳をめぐる」　【参加人数：24名】

（２）出張講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、成人の生涯学習を支援した。また、来館の機会を促した。

①　出張講座（当館学芸員）

- ６月７日（土）　八尾市立しおんじやま古墳学習館　しおんじやま学び場
  「土器の研究から見える八尾の古墳時代」市村慎太郎　【25名】
- ６月28日（土）　弥生文化博物館　考古学セミナー
  「岩手県での発掘調査」廣瀬時習　【169名】
- ７月12日（土）　奈良大学　オープンキャンパス講演会
  「古墳時代の渡来人と墓制の変革」　森本　徹　【450名】
- ７月25日（土）　岩手県埋蔵文化財センター　職員研修会
  「岩手県での発掘調査」廣瀬時習　【53名】
- ８月２日（土）　本の学校（米子市）　むきばんだ弥生塾

「古墳の儀礼からみた山陰と近畿」　森本　徹　【38名】
・８月22日（金）　堺市立女性センター　堺自由の泉大学
「群集墳の出現と渡来人」　森本　徹　【73名】
・８月29日（金）　堺市立女性センター　堺自由の泉大学
「群集墳の終焉と古代国家の成立」　森本　徹　【73名】
・11月１日（土）　よみうり伊丹文化センター
「土器から見た前期古墳とヤマト王権」　市村慎太郎　【４名】
・11月２日（日）　紀伊風土記の丘資料館　特別展シンポジウム
「須恵器誕生」　森本　徹　【107名】
・11月９日（日）　いづみ健老大学　市民公開講座
「古市古墳群を歩く」　森本　徹　【20名】
・11月21日（金）　韓国文化院　なみはや歴史講座
「井戸と渡来人の集落」　森本　徹　【20名】
・11月22日（土）　伊丹生涯学習センター　伊丹ロマン事業地域歴史講座
「古墳時代のムラと人々の暮らし」　森本　徹　【68名】
・12月16日（火）　奈良女子大学　考古学講演会
「奈良時代火葬墓出現の歴史的意義」　森本　徹　【14名】
・12月21日（日）　枚方市立佐陀生涯学習市民センター　枚方古代史友会12月度研修会
「喪葬儀礼からみた高松塚古墳の被葬者像」　森本　徹　【25名】
・２月21日（土）　栄中日文化センター　４世紀の倭のゆくえ
「古墳文化の形成」　森本　徹　【44名】

②　出張ワークショップ（公的機関・組織）　【９団体・計685名】
・９月12日（金）　大阪府立藤井寺高等学校文化祭　PTA　古代衣裳着用体験　【45名】
・９月13日（土）　道明寺天満宮　埴輪づくり　【22名】
・10月４日（土）　島本町放課後こども教室「勾玉づくり」　【67名】
・11月１日（土）　兵庫県立考古博物館「古代体験フェスティバル」
和同開珎のストラップをつくろう　【282名】
・11月８日（土）　川上小学校ふれあい祭り「勾玉づくり」　【16名】
・２月７日（日）　一津屋子供会「埴輪づくり」　【30名】
・２月11日（水　祝）　島本町人権文化センター「勾玉づくり」　【54名】
・３月15日（日）　はびきの市民大学　こども考古学講座～ねん土でつくる埴輪編～　【56名】
・３月26日（水）　弥生フェスティバル「マーブリング勾玉をつくろう」　【113名】

③　出張ワークショップ（民間）
・８月９日（土）　あべのハルカス　まなぼスタジオ「はにわ貯金箱」　【17名】
・８月12日（土）　阪急西宮　コトコトステージ「勾玉づくり」　【30名】
・11月１日（土）　あべのハルカス「キッズ・チャレンジ考古学　鏡パズル」　【３名】

④　でかける博物館講演会in りそな銀行本店　【491名】
・９月14日（日）　『邪馬台国から初期ヤマト政権へ』

「古代史からみた初期ヤマト王権」　鈴木靖民氏（横浜市歴史博物館館長）
「考古学からみた邪馬台国から初期ヤマト王権」　白石太一郎（当館館長）
座談会　司会：関口和哉氏（読売新聞大阪本社編集委員）

⑤　でかける博物館講座『考古学からみる古代の生活２』（近鉄文化サロン共催）
・７月17日（木）　「盾持ち人埴輪にせまる！」　鈴　千夏（当館学芸員）　【52名】
・９月18日（木）　「古墳時代のアクセサリーと埴輪表現」
廣瀬時習（当館総括学芸員）　【61名】
・10月16日（木）　「人物埴輪群像は何をものがたるのか」　白石太一郎（当館館長）　【88名】
・12月18日（木）　「埴輪づくりのムラと土師氏」　森本　徹（当館副館長兼学芸課長）【88名】
・１月15日（木）　「円筒埴輪の成立にみる地域間交流と古墳祭祀」
市村慎太郎（当館総括学芸員）　【76名】

（３）出張展示

実物資料や写真パネル等、館外での出張ミニ展示を行った。また、歴史教育の一助とするとともに、当館の認知度アップにもつなげた。　【３件・計51,167名】

・４月26日（土）～５月25日（日）　大阪府立狭山池博物館
「南河内の渡来人－一須賀古墳群における喪葬風俗とその変容－」【12,145名】
・６月28日（土）　「近つ飛鳥博物館 in　LIC はびきの」　【46名】
・11月５日（水）～１月29日（木）　高石市立図書館「高石の古墳と埴輪の魅力を探る」
【38,976名】

（４）地元市町村との連携

地元市町村や自治会等の文化祭、遺跡発掘現地説明会などの催しへ積極的に参加した。

・５月３日（土　祝）　道明寺合戦まつり　世界遺産銅鏡パズル　【100名】
・６月22日（日）　かなんフェスティバル　勾玉づくり　【129名】
・10月12日（日）　大宝まつり（勾玉講習会）　【100名】
・11月２・３日（日・月）　河南町　秋の文化祭典　【2,500名】
・３月27・28日（金・土）　「関西の歴史遺産展－タイムトリップ KANSAI －」パズル　【50名】

（５）ホームページの充実

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内などを、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。

学芸員の活動等はブログで即時的に発信し、内容の充実に努めた。

【ＨＰ更新202回　アクセス数116,544】

７　「体験する博物館」事業

（１）校外学習受入れ・体験学習

校外学習を積極的に受入れ、展示物の見学だけではなく、ペーパークラフト・勾玉工房等のワークショップおよび当館展示品の修羅（古墳時代の運搬具）の復原模造品を使った体験学習、風土記の丘のウ

ォークラリー（古墳めぐり）を実施した。古墳飛鳥文化に親しみをもってもらい、また、展示物の理解を助けた。【28校・2,008名】

〈吹田市〉山田東小学校
〈枚方市〉山田小学校、山田東小学校
〈大阪市〉巽小学校、巽南小学校
〈富田林〉喜志小学校
〈柏原市〉堅下小学校
〈松原市〉布忍小学校、松原東小学校
〈堺市〉黒山小学校、美木多小学校
〈和泉市〉北池田小学校
〈岸和田市〉光明小学校
〈太子町〉山田小学校
〈河南町〉白木小学校、中村小学校
〈千早赤阪村〉赤坂小学校
〈奈良県斑鳩町〉斑鳩小学校
〈奈良県御所市〉葛城小学校
〈奈良県五條市〉野原小学校
〈和歌山県海南市〉亀川小学校
〈大阪市〉聴覚特別支援中学
〈堺市〉堺支援学校
〈松原市〉松原第2中学
〈私立〉関西大倉中学
〈大阪府立〉八尾支援学校、富田林支援学校
〈石川県金沢市〉金沢二水高校

（2）海の日工作室　帆船「かわち丸」をつくろう！

夏季企画展の内容に関連し、リサイクル品などを用いて船を工作し、臨時に設置したプールを航行させる体験学習を開催した。

・７月21日（月　祝）【49名】

（3）夏休み子ども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、古墳時代にかかわるものを、リサイクル品などさまざまな素材を用いて作る工作室を開催した。

・８月17日（日）【157名】

（4）こども勾玉つくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行った。

・７月27日（日）【37名】
・８月２日（日）【38名】
・８月24日（日）【31名】

（５）古代衣裳着用体験

文化庁の平成22年度地域伝統文化総合活性化事業において作製した古墳時代・古代の復元衣裳を活用し、来館者および出張展示で着用体験していただいた。

・５月３日（金　祝）　古墳時代まつり　当館　【55名】
・５月５日（日　祝）　当館　【48名】
・９月12日（金）　大阪府立藤井寺高等学校文化祭 PTA　【45名】
・11月24日（月　祝）　当館　【37名】
・12月14日（日）　当館　【６名】
・２月１日（日）　当館　【27名】
・３月28日（土）　当館　【116名】
・３月29日（日）　当館　【55名】

（６）こどもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第３土曜日に実施した。家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援した。展示品に関わるものの製作や、風土記の丘の木の実や枝等を利用した工作指導を実施した。　【12回・527名】

・４月19日（土）　ゆらゆらガイコツ
・５月17日（土）　ダンボールでいろいろ作って遊ぼう！
・６月21日（土）　エスエル出発進行！
・７月19日（土）　ペットボトルでけん玉作ろう！
・８月17日（日）　夏休みこども工作室
・９月20日（土）　傘袋で飛行機つくろう！
・10月18日（土）　輪ゴムでロケットを飛ばそう
・11月15日（土）　鳥形メモフォルダを作ろう！
・12月20日（土）　輪ゴムで動く牛乳パック自動車を作ろう！
・１月17日（土）　カタカタひつじ
・２月21日（土）　ペットボトル弓矢
・３月21日（土）　パタパタボックス６面相

８　企業との連携事業

（１）展示・広報・イベント等での協働

近鉄文化サロン等の近鉄グループと連携を通して、講座等を共同で実施し、広報や企画に関して民間の視点から協力を得た。またりそな銀行本店より会場をお借りして講演会を実施した。６（２）④参照。

（２）遺跡見学ツアー

旅行会社と連携し、遠方へのツアーを共同企画した。

・12月３日（水）～５日（金）　国際交流サービス　北部九州（豊前・豊後）考古の旅　【31名】

９　広報普及研究事業

（１）機関紙「アスカディア・古墳の森」（博物館だより）の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るＰＲ誌を年２回発行した。

博物館だより Vol. 41　９月30日発行　　4000部
博物館だより Vol. 42　３月31日発行　　4000部

（２）近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

博物館事業についての提言や館のテーマに沿った研究報告、年間事業記録などを掲載する館報を刊行した。下記（６）参照。

（３）催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。
３か月単位のミュージアムカレンダーを作成・配布した。

（４）マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。鉄道会社にはポスター掲示をし、広くＰＲした。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて実施した。

【報道提供25回・新聞雑誌広報等掲載回数167回】

（５）広報の強化

インターネットでの博物館情報サイト等の活用や共同運営をおこなう近鉄ビルサービス株式会社のグループとの連携により、関連施設での広報展示、パンフレットへの掲載など、より効果的な広報活動を展開した。

（６）出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行・配布した。

- 『ヤマト王権と葛城氏』　大阪府立近つ飛鳥博物館図録63
  ４月26日発行　1,000冊
- 『出土品が語る海と「おおさか」』　７月19日発行　1,400冊
- 『箸墓以降－邪馬台国連合から初期ヤマト政権へ－』　大阪府立近つ飛鳥博物館図録64
  10月４日発行　1,000冊
- 『歴史発掘おおさか2014』　大阪府立近つ飛鳥博物館図録65
  １月24日発行　1,000冊
- 『大阪府立近つ飛鳥博物館　館報18』　３月31日発行　800冊

10　研究事業

（1）他博物館などと連携した研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業（河内長野市におけるシンポジウム）の開催など、相互協力した事業を進めた。

また、学会・研究会等と連携した活動も努めた。

（2）国内・海外の研究者との学術交流

国内大学等研究者	【128名】
韓国研究者	【21名】

（3）研究成果の発表

近つ飛鳥博物館「館報」や土曜講座、外部依頼の講座において、研究成果を掲載し、発表した。

（4）客員学芸員の任命

学芸機能の充実のため、外部より客員学芸員２名を任命し、特別展企画展事業への指導・助言、図録の原稿執筆、講演会事業などでの助力を得た。

11　資料調査収集製作事業

（1）図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を計画的に購入した。

（2）館蔵資料の資料管理、学術的整理

重要文化財「修羅」、紫金山古墳、南塚古墳出土品など、定期的な点検を実施した。また、館蔵資料の観察記録作成などの資料整理を行った。

12　サービス事業

（1）特別開館日の設定

来館者の多い、春のゴールデンウィーク中日に当たる休館日（４月28日）と８月の盆休暇中の月曜日（８月11日）を臨時開館して利用者への便宜を図った。

（2）マーケットリサーチ、満足度調査の実施

アンケート等を通して、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。

（3）ミュージアムスタッフの人材育成研修

来館者に対する応対マナーの研修（外部講師を招聘）を実施した。12月１日（月）。

（4）設備の更新

空調の間欠運転により、省エネに対処した。

特別収蔵庫系統パッケージエアコンガス漏れの調査作業、ならびに修繕を行った。
消防点検不良箇所（感知器など）の改修工事を行った。
耐用期限が経過した消火器を入れ替え、使用説明版の設置を行った。
ACU－１吸気ファン（ロビー系統）モーター取替工事を実施した。
風土記の丘汚水処理施設内余剰水の引き抜き処理を実施した。
地形模型の竹内街道など表示装置の改修（ＬＥＤによる点灯）を行った。
６面マルチ映像機器の修理（DVDコントローラー電源基盤取替）を行った。

13　自主事業

当館にふさわしい魅力あるグッズの販売に努め、新規取扱商品を増やした。図録を販売した。

14　入館者数及び入館料一覧表

（平成26年度）

区　分	入館者数（名）					入館料（円・税込）	開館日数（日）
	展示室入館者数			普及ゾーン	博物館		
	有　料	無　料	合　計	利用者数	総入館者数		
常　設　展	2,422	1,838	4,260	16,912	21,172	583,400	85日間
割合％	13.5	11.8	12.7	22.7	19.6	9.0	
25年度冬季企画展（1/25 ～ 4/6）歴史発掘おおさか2013	428	373	801	3,270	4,071	186,800	６日間
割合％	19.7	18.1	18.9	24.2	22.9	21.4	
春季特別展（4/26 ～ 6/29）ヤマト王権と葛城氏	5,785	5,287	11,072	17,330	28,402	2,236,520	57日間
割合％	32.1	34.1	33.0	23.2	26.3	34.6	
夏季特別展（7/19 ～ 9/15）大阪平野はむかし海だった	3,104	2,218	5,322	9,948	15,270	958,200	52日間
割合％	17.2	14.3	15．9	13.3	14.1	14.8	
秋季特別展（10/4 ～ 12/7）箸墓以降	4,092	3,739	7,831	13,567	21,398	1,620,220	56日間
割合％	22.7	24．1	23.4	18.2	19.8	25.1	
冬季企画展（1/24 ～ 3/22）歴史発掘おおさか2014	2,175	2,058	4,233	13,514	17,747	874,420	50日間
割合％	12.1	13.3	12.6	18.1	16.4	13.5	
合　　計	18,006	15,513	33,519	74,541	108,060	6,459,560	306日間
割合％	100	100	100	100	100	100	

〈年度比較〉

平成25年度実績	16,787	13,961	30,748	71,961	102,709	6,264,240	305 日間
平成24年度実績	16,637	18,099	34,736	81,687	116,423	5,973,240	305 日間
平成23年度実績	17,651	14,625	32,276	67,171	99,447	6,467,360	304 日間

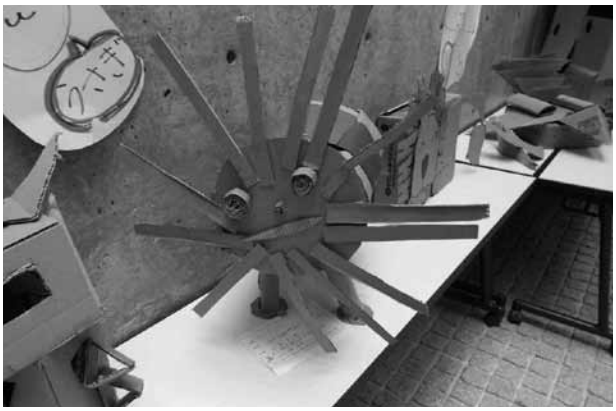
春季特別展講演会

夏季企画展ワークショップ（河内丸を作ろう）

秋季特別展現地見学会

冬季特別展（歴史おおさか 2014）

スポット展示（峯ヶ塚古墳を学ぶ）



近つ飛鳥ギャラリー（ダンボールって楽しい！）

夏休みこども工作室

古墳の森コンサート in Spring

Ⅶ　日本民家集落博物館事業

1　展示事業

（1）常設展示

①　第一ブロック：国指定文化財を中心とするエリア
国指定重要文化財＝摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、日向椎葉の民家
国指定重要有形民俗文化財＝飛騨白川の民家
大阪府指定有形文化財＝奄美大島の高倉
未指定＝河内布施の長屋門、堂島の米蔵
その他＝戦国期の五輪塔、地蔵を展示公開している。
また、「セミナーハウス」を設置している。

②　第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするエリア
大阪府指定有形文化財＝大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家
大阪府指定有形民俗文化財＝小豆島の農村歌舞伎舞台
未指定＝北河内の茶室、刳舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を展示公開。

③　「むかしのくらし展示」
稲作に関係する民具を展示するとともに、「昭和の部屋」として昭和30年代の一部屋を再現している。石臼体験コーナーを併設。

（2）市民展示

①「春のてまり展」
ア．内　　容　　日本手まりの会「都てまり」製作による色鮮やかな手まり作品展。
イ．開催期間　　平成26年４月６日（日）～４月20日（日）

②　「紙すき工房どんぶり作品展」
ア．内　　容　　「紙すき工房どんぶり」による、紙すき作品展。
イ．開催期間　　平成26年８月23日（土）～９月５日（金）

③　「能面の世界展」
ア．内　　容　　能面制作工房「遊創工房」の会員による能面作品展。
イ．開催期間　　平成26年11月１日（土）～16日（日）

④　「第20回　游心会展」
ア．内　　容　　書道グループ「游心会」の会員による書道作品展。
イ．開催期間　　平成26年11月22日（土）～30日（日）

⑤　「民家集落ペン画展」Ⅲ
ア．内　　容　　豊中市在住の作家による、民家集落の民家を描いたペン画作品展。
イ．開催期間　　平成27年３月14日（土）～29日（日）

（3）企画展「越中五箇山茅葺きの技写真展」

ア．開催概要　越中五箇山の茅葺き民家と屋根の葺き替えの様子を記録した写真展を行った。
イ．開催期間　平成26年10月11日（土）～11月24日（月　祝）

ウ．場　　所　セミナーハウス

2　各種催し開催事業

来館者に親しんでもらえる博物館活動の一環として次の事業を行った。

（1）季節行事

日本に伝わる四季折々の行事に親しんでもらうため、民家を活用して形、下記の催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備　考
こいのぼりと五月人形飾り	4月16日(水)～5月18日(日)	大和十津川の民家前庭 奄美大島の高倉前	
ようか日	5月1日（木）～5月6日（火）	摂津能勢の民家	
七夕かざり	体　験：6月29日（日） かざり：7月1日（火）～7月6日（日）	大和十津川の民家縁側	体験参加者 16名
お盆飾り	8月12日（火）～8月16日（土）	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
正月飾り	1月6日（日）～1月18日（日）	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1月11日（日）	飛騨白川の民家	雑煮販売 95食
桃の節句・雛飾り	2月14日（土）～3月22日（日）	越前敦賀の民家	

（２）参加体験型事業

来館者自らが体験できる催しを、民家等を会場に下記の通り実施した。

体験教室名	開 催 期 間	開催場所	指導者 参加者
親子たけのこ掘り	４月13日（日）	館内竹林	博物館スタッフ 93名
むかしの遊び （万華鏡、折り紙、 コマ作り）	５月３日（土）・４日（日）・ ５日（日　祝）	日向椎葉の民家	竹山慶次 他 約145名
麦の脱穀と麦茶作り	６月７日（土）	長屋門前広場横畑	大坪章他７名
葉っぱのスタンプで あそぼうよ	６月22日（日）	大和十津川の民家	Cise15名
親子でお手玉作り	７月26日（土）	セミナーハウス	博物館スタッフ ３名
土とあそぼう	７月26日（土）	大和十津川の民家	Cise40名
子ども民家探検	７月27日（土）	飛騨白川の民家他	博物館スタッフ ５名
養蚕体験糸つむぎ	８月24日（日）	日向椎葉の民家	博物館スタッフ 45名
紙すき体験	８月23日（土）	飛騨白川の民家	紙すき工房 どんぶり40名
木とあそぼう	８月30日（土）、31日（日）	大和十津川の民家	Cise40名
親子芋ほり体験	10月19日（土）	飛騨白川の民家前畑	久保田栄他19名
はたおり体験	10月24日（金）、25日（土）、26日（日）	南部の曲家	セントポプリ19名
つくって、あそんで！ 木の粘土	12月14日（日）	大和十津川の民家	Cise30名
みんかの餅つき	２月１日（日）	日向椎葉の民家前庭	久保田栄他55名
色色色あそび	３月22日（日）	大和十津川の民家	Cise30名
コマ遊び	４月５日～７月５日・ ９月６日～12月６日・ ２月21日～３月28日の各土曜日 29回実施	日向椎葉の 民家前広場	川島正雄 他873名
石臼体験	４月６日～６月15日・９月 ７日～３月15日の各日曜日 27回実施	石臼コーナー	大坪　章 他376名

（３）展示民家を活用しての催し

民家を会場として、音楽、古典芸能、昔話、茶会などの催しを行った。

文化活動団体に会場を提供することで、民家により親しんでもらうための活用を図った。

① 木管五重奏コンサート

ア．内　容　　「センチュリー・ユースオーケストラ」有志による演奏会。

イ．実施日　　４月20日（日）

ウ．場　所　　日向椎葉の民家

② フォークコンサート

ア．内　容　　フォークソング愛好会「バガボンズ」による演奏会。

イ．実施日　　４月27日（日）・11月９日（日）

ウ．場　所　　日向椎葉の民家

③ みんか朗読会

ア．内　容　　「グループ雲」による昔話や時代物の朗読会。

イ．実施日　　４月29日（火・祝）・10月12日（日）

ウ．場　所　　大和十津川の民家

④ 絵物語とマジック

ア．内　容　　「ＳＡ豊中・観覧車」による紙芝居とマジック。

イ．実施日　　５月24日（日）

ウ．場　所　　日向椎葉の民家

⑤ むかし話を聞きましょう

ア．内　容　　「豊中子ども文庫」による日本の昔話の語りと紙芝居。

イ．実施日　　６月１日（日）・11月１日（土）・３月21日（土　祝）

ウ．場　所　　日向椎葉の民家

⑥ 朗読会　心に届くお話

ア．内　容　　「でくの工房」による童話と詩の朗読。津軽三味線の演奏会。

イ．実施日　　６月７日（土）・８日（日）

ウ．場　所　　南部の曲家

⑦ 宮澤賢治の童話がたり～朗読とチェロの夕べ～

ア．内　容　　岩手県大阪事務所の協力による童話語りとチェロ演奏。

イ．実施日　　９月20日（土）

ウ．場　所　　日向椎葉の民家

⑧ 落語で笑ろうて民家

ア．内　容　　「大阪百楽の会」による落語会。

イ．実施日　　10月19日（土）

ウ．場　所　　大和十津川の民家

⑨ こみんか・ゆるりカフェ

ア．内　容　　能勢の民家を会場にしての一日 cafe。

イ．実施日　　11月２日（日）・16日（日）

ウ．場　所　　摂津能勢の民家

⑩ 詩の朗読会

ア．内　容　　弓削緋紗子氏による詩の朗読会。

イ．実施日　　11月23日（日）

ウ．場　所　　日向椎葉の民家

⑪　お茶会

ア．内　容　　ボランティアの協力を得て茶室を公開し、茶会を開催。

イ．実施日　　４月５日（土）・19日、５月３日・17日、６月７日・21日、７月５日・19日、
９月６日・20日、10月４日・18日、11月１日・15日、12月６日・20日、
１月24日、２月28日、３月28日　　計19回

ウ．場　所　　北河内の茶室

⑫　その他有料貸部屋利用

ア．内　容　　民家の貸部屋を行い、俳句会、撮影会等の目的での利用を促した。
年間利用件数105件。

イ．場　所　　大和十津川の民家他

（４）特別企画事業

①　「民家集落わくわくワークまつり」

ア．内　容　「服部緑地10月祭」に協賛し、親しめる博物館としてＰＲするため、ワークショップ、茅屋根葺き体験、民家のふるさと物産展、模擬店、アカペラコンサート等を実施した。　（当日入館者数　1,175名　内、大人500名）

イ．実施日　10月25日（土）

②春の敬老フェア＆民家で甘酒

ア．内　容　毎月15日に実施しているアクティブシニアの日（65歳以上入館料半額）を３日間に拡大するとともに、ボランティアの協力を得て、越前敦賀の民家の囲炉裏端で甘酒のサービスを行った。　（期間中シニア入館者97名、甘酒配布数140）

イ．実施日　平成27年３月13日（金）～３月15日（日）　（甘酒の提供は14、15日のみ実施）

３　普及啓発事業

（１）民家解説等の開催

①　民家解説

ア．内　容　当館の20名のボランティアが、館内のいずれかの民家において、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

イ．期　間　通年（開館日毎日）

②　民家特別公開

ア．内　容　安全面への配慮から、通常未公開としている箇所を、ボランティアの協力を得て、特別公開した。

イ．期　間　通年（毎週火曜日午後）

ウ．場　所　北河内の茶室

（２）囲炉裏体験

ア．内　容　28名のボランティアが、囲炉裏・竈に火を入れ、来館者へ囲炉裏体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。

イ．期　間　通年（開館日毎日）

ウ．場　所　日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、南部の曲家、越前敦賀の民家

（3）連続講座

「民家集落セミナー」と題して、民家や町並み、日本の暮らしについて考えを深める講演会を開催した。

第一回　「石塀と屋敷林の分布からみた日本の住まい」
講　師：森　隆男（関西大学教授）
開催日：平成26年５月10日（土）

第二回　「資料の現地保存の歴史とこれから」
講　師：瀧端真理子（追手門学院大学教授）
開催日：平成26年５月25日（日）

第三回　「変わりゆく環境と人間生活」
講　師：杉本尚次（国立民族学博物館名誉教授）
開催日：平成26年６月29日（日）

第四回　「京都丹後地方の集落と民家」
講　師：大場　修（京都府立大学教授）
開催日：平成26年７月５日（土）

（4）企画展関連講座

企画展「越中五箇山茅葺きの技写真展」に関連する講座を開催した。

「ドイツ・オランダ・イギリス茅葺き見聞録」
講師：相良育弥（淡河かやぶき屋根保存会くさかんむり）
開催日　平成26年11月３日（月　祝）

（5）民俗芸能公演「奄美の島唄と踊り」

ア．内　　容　鹿児島県奄美大島に伝わる郷土芸能の公演を行った。
出　演／－奄美沖縄島唄ユイゆい－
イ．開 催 日　平成26年11月16日（日）
ウ．場　　所　奄美大島の高倉、小豆島の農村歌舞伎舞台
エ．観 覧 者　130名

（6）グリーンロハスフェスタ

ア．内　容　服部緑地５月祭事業に参加し、「グリーンロハスフェスタ」のワークショップブースに出展し、コマ作り・コマ遊びワークショップを実施した。
イ．開催日　平成26年５月18日（日）
ウ．場　所　服部緑地西中央広場

（7）北大阪ミュージアムメッセ

ア．内　容　北大阪ミュージアムネットワークの会員として、みんぱくで開催された北大阪ミュージアムメッセに参加し、パネル展示等を通して博物館の紹介に努めた。
イ．開催日　平成26年11月15日（土）～16日（日）

ウ．場　所　国立民族学博物館

（８）ジュニア自然大学「こどもゆめくらぶ」

ア．内　容　ＮＰＯ法人シニア自然大学校が主催するジュニア自然大学を当館を会場に開講し、子どもたちに自然環境学習の場を提供した。

イ．開催日　平成26年４月19日（土）～12月13日（土）　全26回

ウ．場　所　当館全域

（９）ONCC 公開文化講座「日本文化の再発見」

ア．内　容　ＮＰＯ法人大阪シニアカレッジ（ONCC）が主催する文化講座を博物館を会場に開講し、生涯学習の場を提供した。２月５日（日）は、当館学芸員による民家にまつわる講座も開催した。

イ．開催日　平成26年６月５日（木）～平成27年２月５日（日）　全９回

ウ．場　所　セミナーハウス他

４　学校教育連携事業

（１）大学博物館実習

ア．内　容　奈良大学通信教育部と関西学院大学の博物館実習生を受け入れ、博物館学芸員の実務について指導した。

イ．期　間　平成26年８月９日（土）、10月25日（土）、11月16日（日）

ウ．受入人数　47名

（２）中学生の職場体験学習

ア．内　容　豊中市立第17中学校２年生の職場体験実習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

イ．期　間　平成26年10月28日（火）～30日（木）

ウ．受入人数　２名

（３）こども囲碁クラブ

ア．内　容　小学生を対象に「大和十津川の民家」を会場として開催し、ボランティア14名が指導にあたった。

イ．期　間　平成26年４月13日（土）～平成27年３月28日（土）
８月中及び、毎月第一週を除く土曜日　34回実施

ウ．生徒数　49名

（４）むかしのくらし体験学習

ア．内　容　小学３年生社会科「昔のくらし」・４年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、民家や民具を活用した独自の体験学習プログラムを実施した。

イ．実施日　平成26年10月３日（金）他　計17日

ウ．受　入　大阪市立北恩加島小学校３年生52名他　計16校1,085名

（５） 豊中マチカネ先生塾

ア．内　容　豊中市教育委員会主催の教員を目指す大学生を対象とした研修講座の「校外学習・体験学習」演習を博物館を会場に実施。学芸員が指導した。

イ．期　間　平成26年11月８日（土）

ウ．参加数　18名

5　ボランティア受入活動事業

ボランティアを募集し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。26年度は、58名が活動した（内３名が新規登録者）。

6　施設整備事業

（１）国指定重要有形民俗文化財白川の合掌造り保存修理工事

ア．内　容　各所の経年劣化が進行している合掌造り民家について、前年度に引き続き、耐震補強工事、建具補修工事、仏間の壁紙張替え工事・電気設備工事・防虫防蟻処理工事を実施した。

イ．工事期間　平成26年４月１日（月）～平成27年３月31日（火）

（２）民家周辺排水溝等の整備

ア．内　容　越前敦賀の民家周辺の排水溝、椎葉の民家前広場の排水溝を整備した。また、前年度、台風で破損していた外周柵の補修工事を行った。

イ．工事期間　平成26年４月23日（水）～５月１日（木）、
11月３日（月　祝）～12月２日（火）、
平成26年12月11日（木）～平成27年１月28日（水）

（３）危険木の伐採

ア．内　容　倒木による建物への被害及び入館者への危険性があった北河内の茶室横の、アベマキ、十津川の民家横のクスノキを伐採した。また、池田土木事務所の協力を得て、大和十津川の民家横の松の枯れ木を伐採した。

イ．工事期間　平成27年２月１日（日）～12日（木）、
２月15日（日）～３月５日（木）

7　広報事業

（１）広報リーフレットの作成

「催し案内」を定期的に作成し、関係機関・団体に配布し広報に努めた。

項　　目	発　行　月	部　　数
秋・冬の催し案内　９月～３月	８月	15,000部
春・夏の催し案内　４月～ ９月	３月	15,000部

（２）外国人向けＤＶＤ及びパンフレットの作成

外国人向けのプロモーションビデオ（ＤＶＤ）と英語、中国語、韓国語表記のパンフレットを製作し府下の各施設に配布した。

（３）インターネットによる広報

センターＨＰや大阪府・豊中市広報と連携し、当館の概要や催し案内の、インターネットによる広報に努めた。また、当館のホームページの更新を適時図り、「催し案内」や「花だより」などは最新の情報が掲載されるよう充実に努めた。

（４）ＤＶＤ・ビデオによる広報

「堂島の米蔵」に、博物館紹介のＤＶＤ・ビデオの視聴コーナーを設けた。

また、学校等にＤＶＤ・ビデオの貸出を行い広報に努めた。

（５）諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ・FM ラジオ、ミニコミ紙、北大阪急電鉄、緑地公園管理事務所および服部緑地「みどり・文化・地域」を育てる協議会と連携し、効果的な広報に努めた。また、阪急友の会、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報も実施した。

（６）資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗（上・下巻）」を頒布した。（実績・・民家の案内 156 冊、民俗 7 冊）また、小中学生向け案内マップ及び英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップを作成し配布した。

８　資料収集・研究事業

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集を行った。

９　入館者数及び入館料収入一覧表

（平成26年度）

月	入館者数 （人）	入館料収入 （円）	開館日数 （日）
４月	4,661	1,744,6..	26
５月	4,841	1,294,300	27
６月	2,253	564,400	25
７月	1,525	396,050	27
８月	1,515	371,450	26
９月	2,616	818,300	25
10月	5,269	1,142,650	26
11月	3,781	1,074,800	26
12月	1,314	296,800	22
１月	1,762	444,200	23
２月	3,018	666,650	24
３月	2,965	885,450	26
合　　計	35,507	9,699,650	303

※入館料は消費税込みで表示

＜年度比較＞

	入館者数	入館料収入	開館日数
平成25年度	34,962人	8,721,650円	304日
平成24年度	39,123人	9,682,350円	305日
平成23年度	34,505人	9,511,750円	305日

むかしのくらし体験学習（石臼）

中学生職業体験

茅葺き体験

奄美・沖縄の島唄と踊り

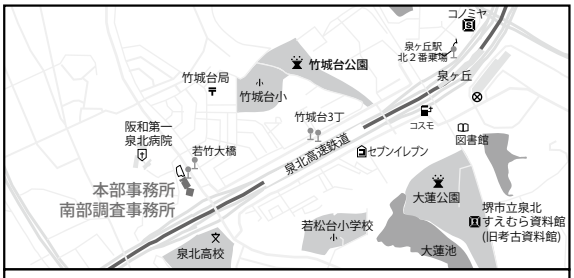
白川の合掌造り民家保存修理工事

白川の合掌造り民家保存修理工事（１階床）

かいこの飼育

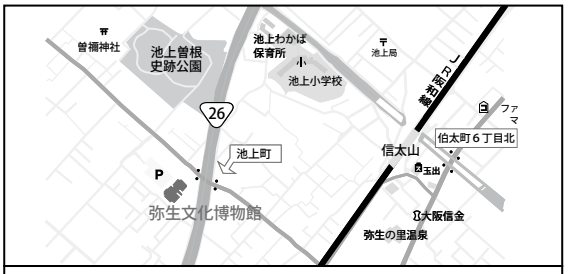
宮沢賢治の童話がたり

事業所一覧



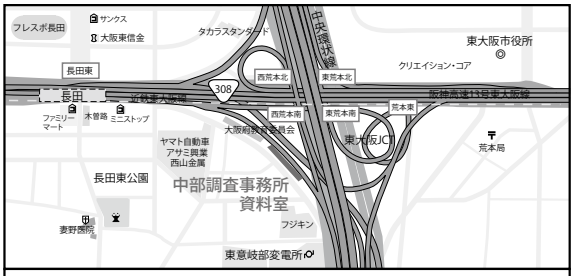
本部事務所　〒590-0105 堺市南区竹城台３丁21-４
TEL.072-299-8791　FAX.072-299-8905

南部調査事務所　TEL.072-284-2233　FAX.072-284-2234



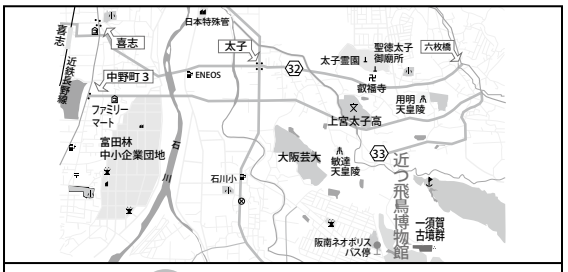
大阪府立弥生文化博物館

〒594-0083 和泉市池上町４丁目８-27
TEL.0725-46-2162（代）　FAX.0725-46-2165
http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/



中部調査事務所　〒577-0012 東大阪市長田東１丁目９-16
TEL.06-6785-3921　FAX.06-6785-3515

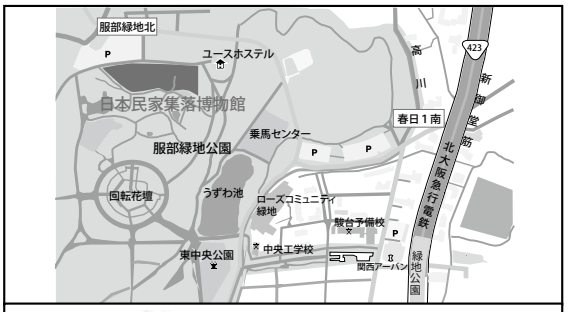
資料室　TEL.06-6785-4531　FAX.06-6785-5431



● アスカディア・古墳の森

大阪府立近つ飛鳥博物館

〒585-0001 南河内郡河南町大字東山299
TEL.0721-93-8321（代）　FAX.0721-93-8325
http://www.chikatsu-asuka.jp/



むかしのおうちのはくぶつかん

日本民家集落博物館

〒561-0873 豊中市服部緑地１-２
TEL.06-6862-3137（代）　FAX.06-6862-3147
http://www.occh.or.jp/minka/

公益財団法人　大阪府文化財センター
年　　報

平成26年度

発行日　　平成28年６月30日　発行
発　行　　公益財団法人大阪府文化財センター
〒590-0105　大阪府堺市南区竹城台３丁21番４号
TEL.　072‐299‐8791　FAX.　072‐299‐8905
印　刷　　株式会社　近畿印刷センター